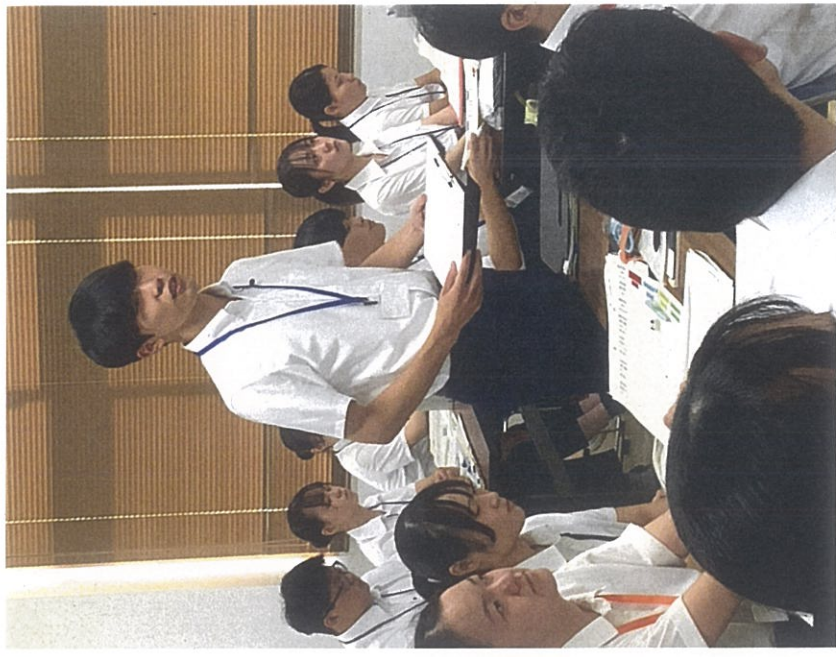




R7. 9. 1 本実習オリエンテーション

ファーストペンギン

最初に発言をすることは、誰にとっても不安なもの。リスクを恐れず、自分を信じ、勇敢な気持ちで、挑戦をする姿は、みんなに勇気を与える。



すぐに繋がる

「口火を切る」は素晴らしい。

しかし、なかなか勇気ある一歩は難しいものです。

すぐに2番手、3番手…と繋がることも、行動力と勇気が必要！

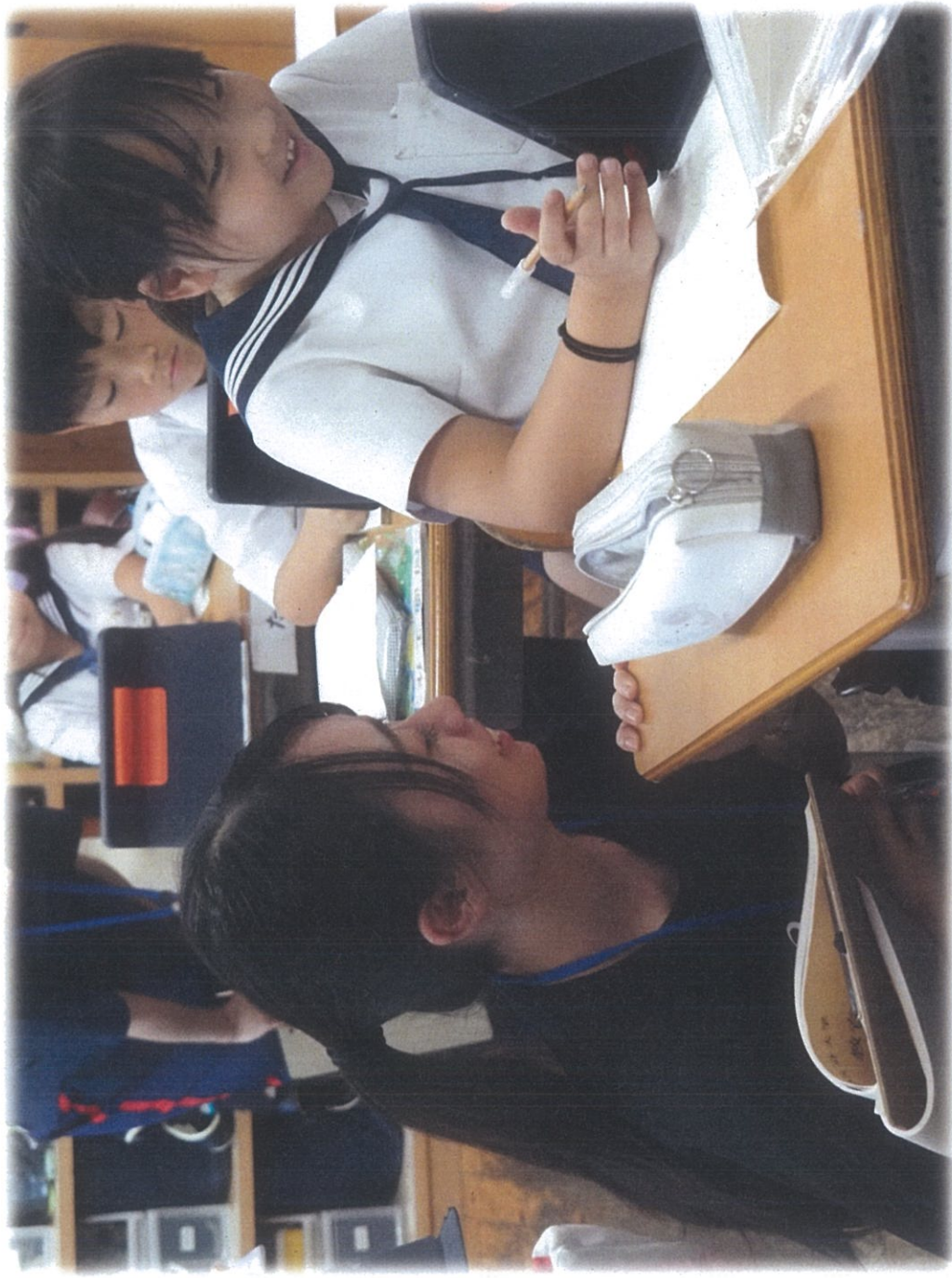
チーム力アップのためには、実はこのような『セカンドトップ』の存在が重要なのです！



R7. 9. 1 3年生授業の様子

掲示物に注目

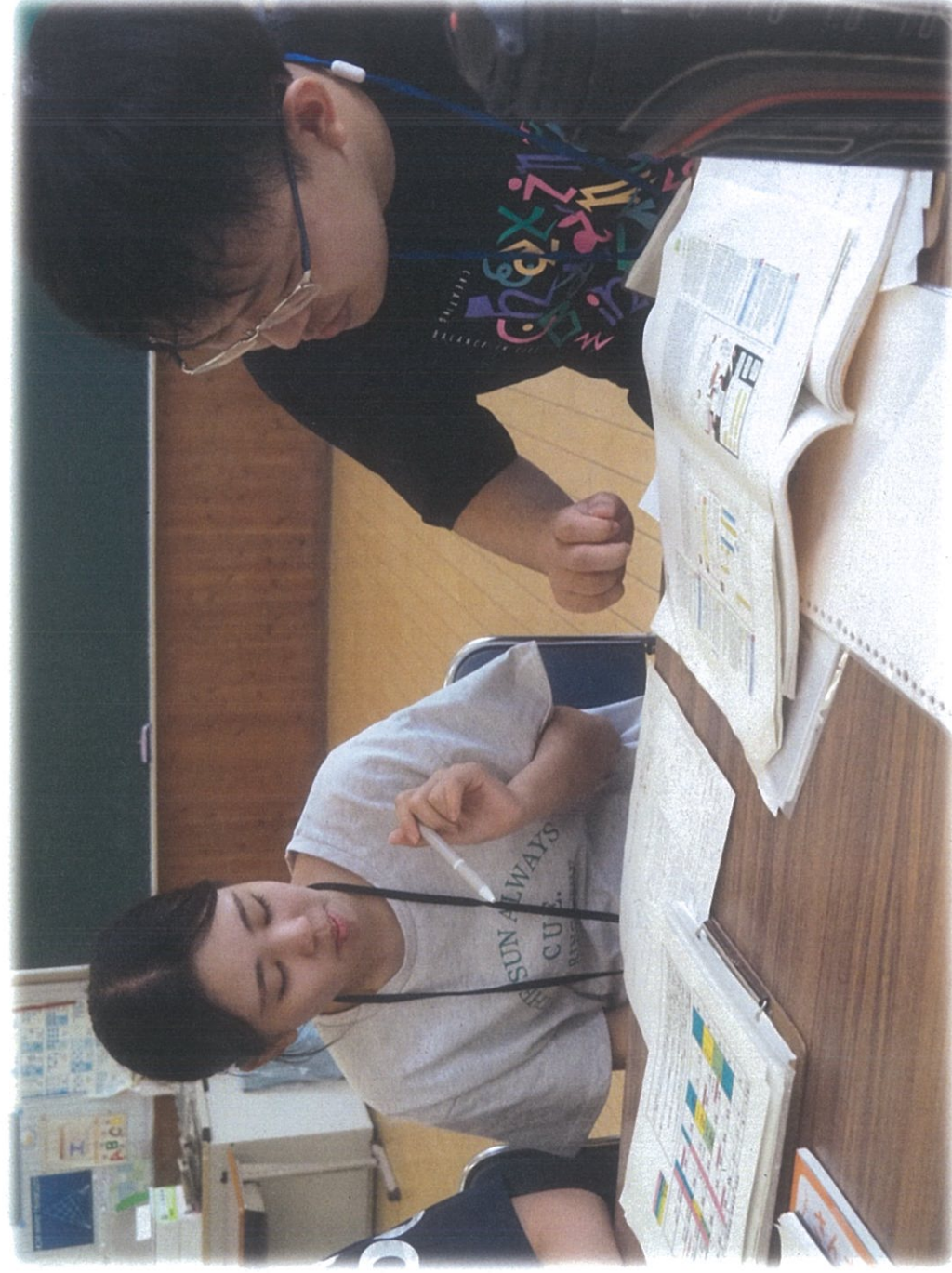
教室内外の掲示物、一つ一つに意味がある。「何のため?」「誰のため?」「どんなよさが?」貼られているものに注目して考えることが、学級経営の学びに繋がる。



R7. 9. 1 3年生授業の様子

見取る、聴き取る、感じ取る

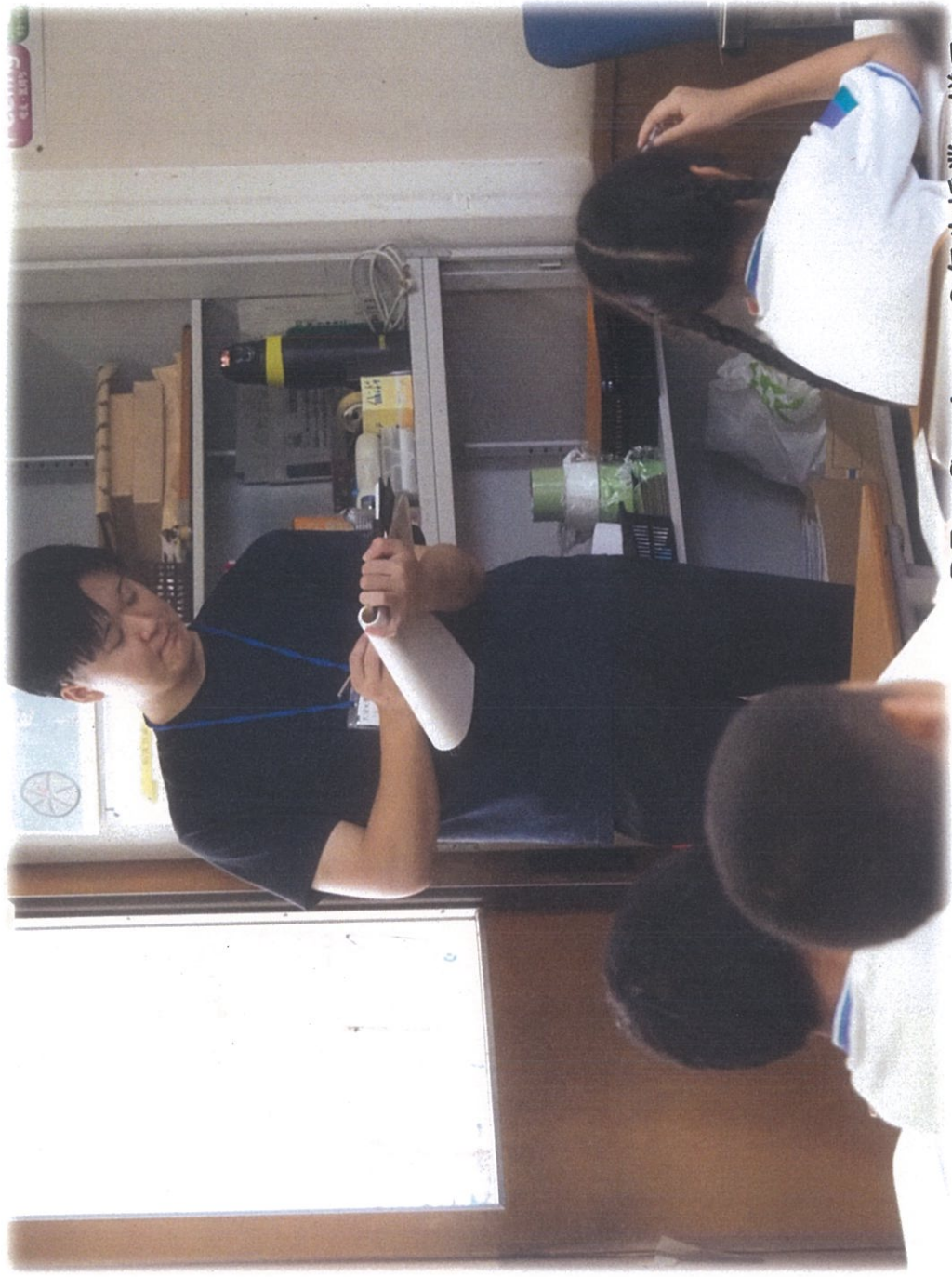
俯瞰して眺めるだけでなく、子供の側に寄って、姿を見取ったり、つぶやきを聴き取ったりして、子供の考えていることや思いを感じ取る。児童の理解の第一歩。



R7. 9. 1 | 1年部教材研究

仲間と協働

指導案づくりは、一人で抱え込まずに、仲間とどんどん相談し合おう。違う視点からアドバイスをし合うことは、高め合うこと。学級の仲間との対話を大切に。



R7. 9. 1 3年生授業の様子

見取り名人

教室の後ろからだけでなく、前からも観察をする。子供の表情や活動の様子がよく見えます。同じ所からだけでなく、子供をよく見取れる位置を考えてみよう。



R7. 9. 1 2年生学年会の様子

単元構想力を磨く

学年授業研に向けて、図工の単元構想をする。子供たちに付けたい力は何か？どうすれば付くのか？単元のゴールに向けての道筋を協力して考える。



R7. 9. 1 4年部学年部会

相手意識

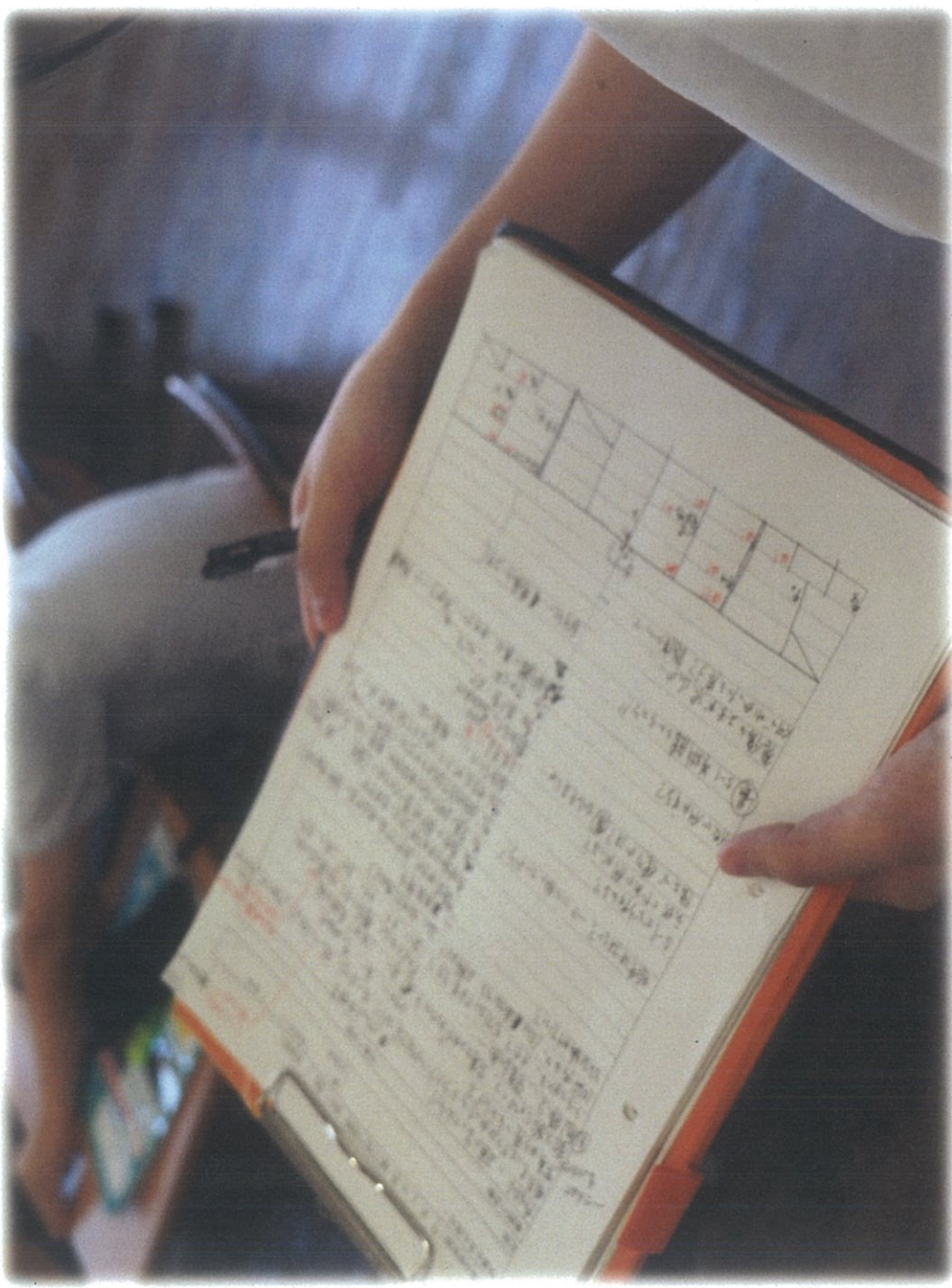
相手を決めて、伝える内容を考えるだけではまだまだ。伝えた後「相手にどんな言動をして欲しいか」まで考えることこそ本当の相手意識。



R7. 9. 1 | 1年部学年研の様子

目標を飾りにしない

自分の個人目標で立てたことが、できていたかどうかをしっかりと振り返る。目標を立てて終わりにせず、できたかを確認し、生かそうとする大切な姿です。



R7. 9. 1 5年生授業の様子

記録の神

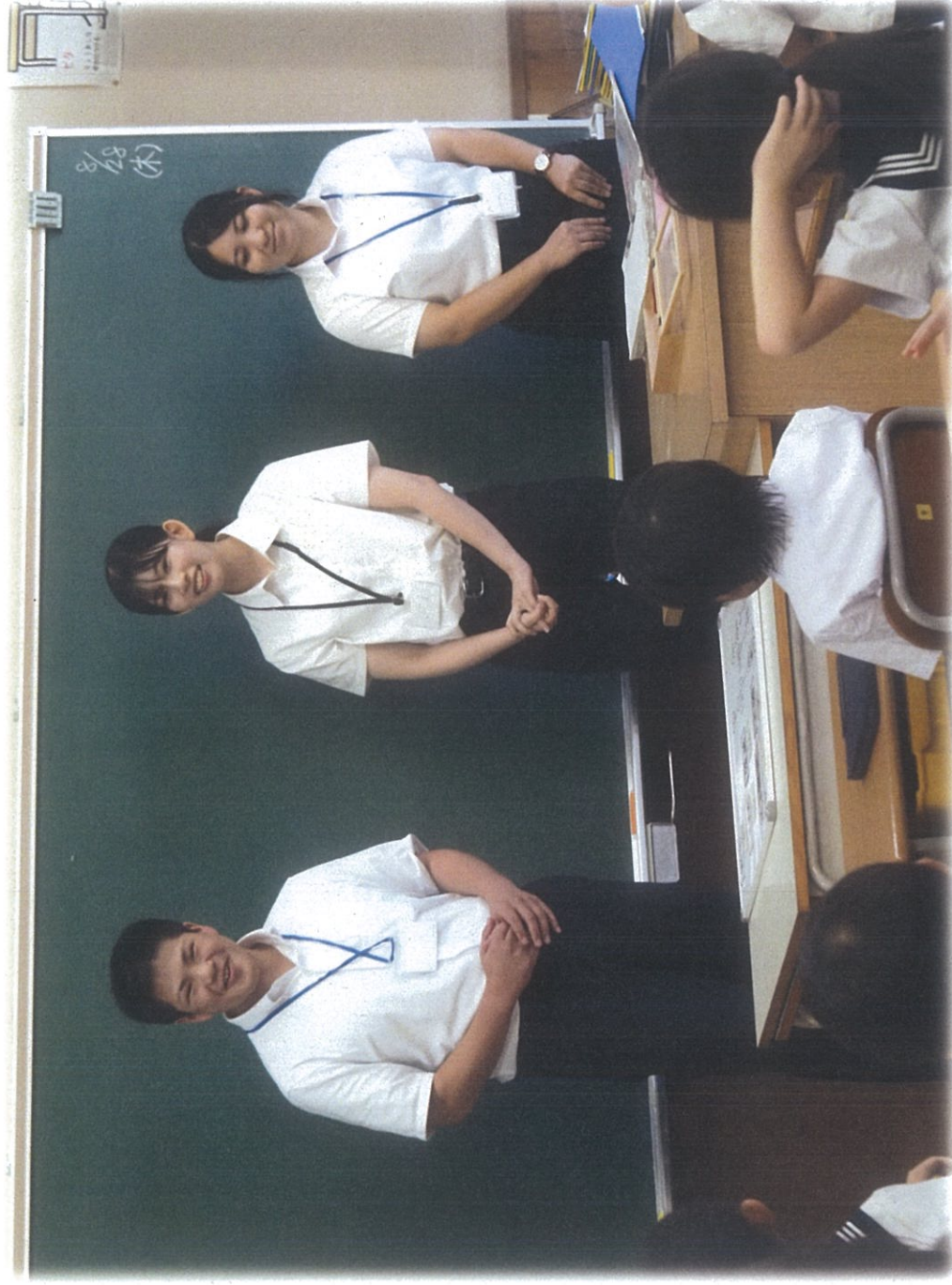
子供の姿を授業記録に残す。記録すること、子供を見る目が鍛えられ、授業力や児童理解の力のアップにつながる。現場での評価にも役立つ。記録の神になれ！



R7. 9. 1 本実習オリエンテーション

リストアート

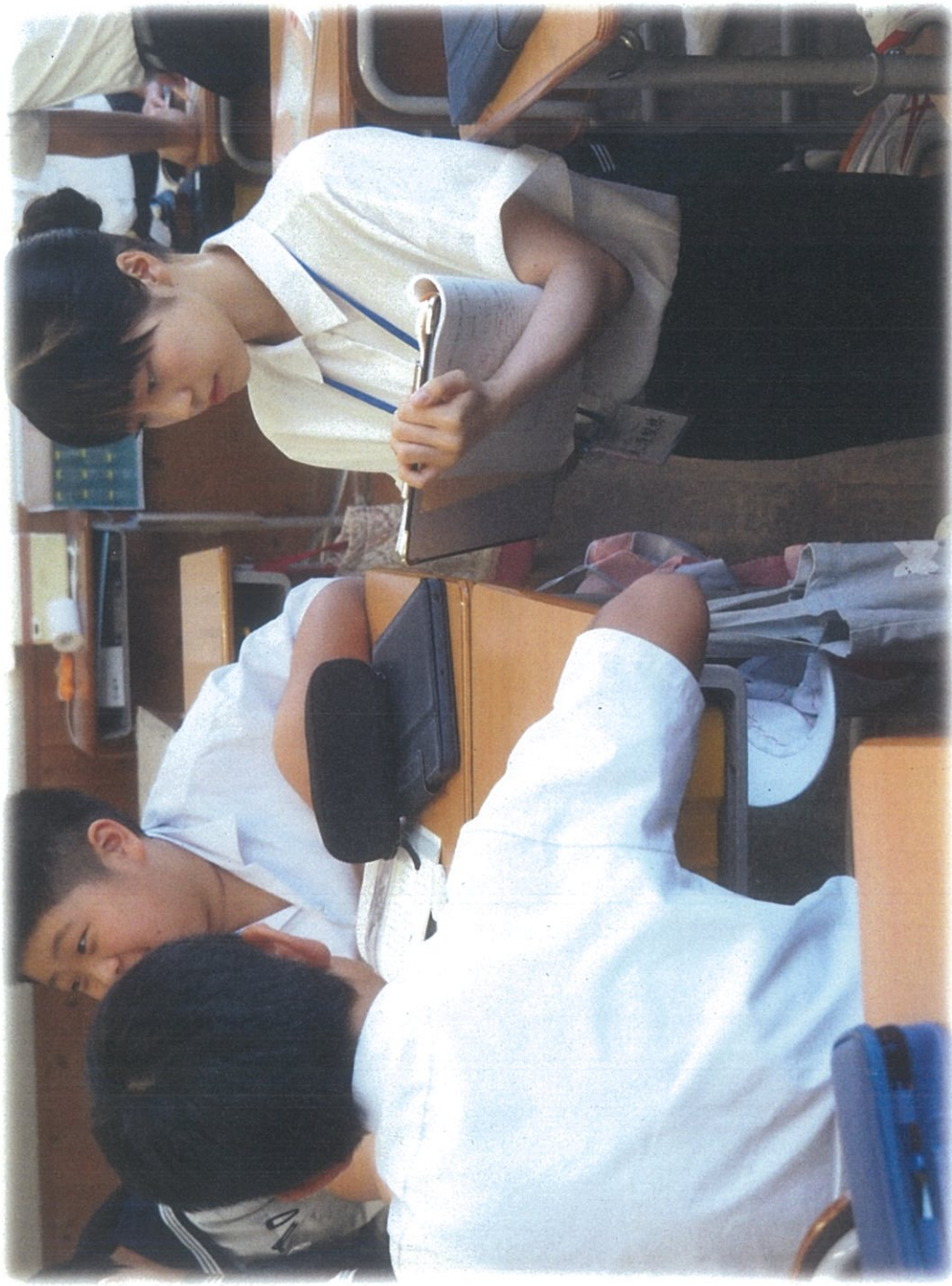
いよいよ本実習スタート。もう一度、自分の実習での目標を確認して、何をすべきか考える姿にやる気を感じます。3週間、日々実践を積み上げていきましょう。



R7. 9. 1 2年部の様子

再会の喜び

久しぶりの子供たちとの再会。子供たちも実習生も笑顔いっぱいであれしそう。さあ、子供たちとの3週間。楽しく実りあるものにするためにどうする!?



R7. 9. 1 6年生授業の様子

膝をついて聴く

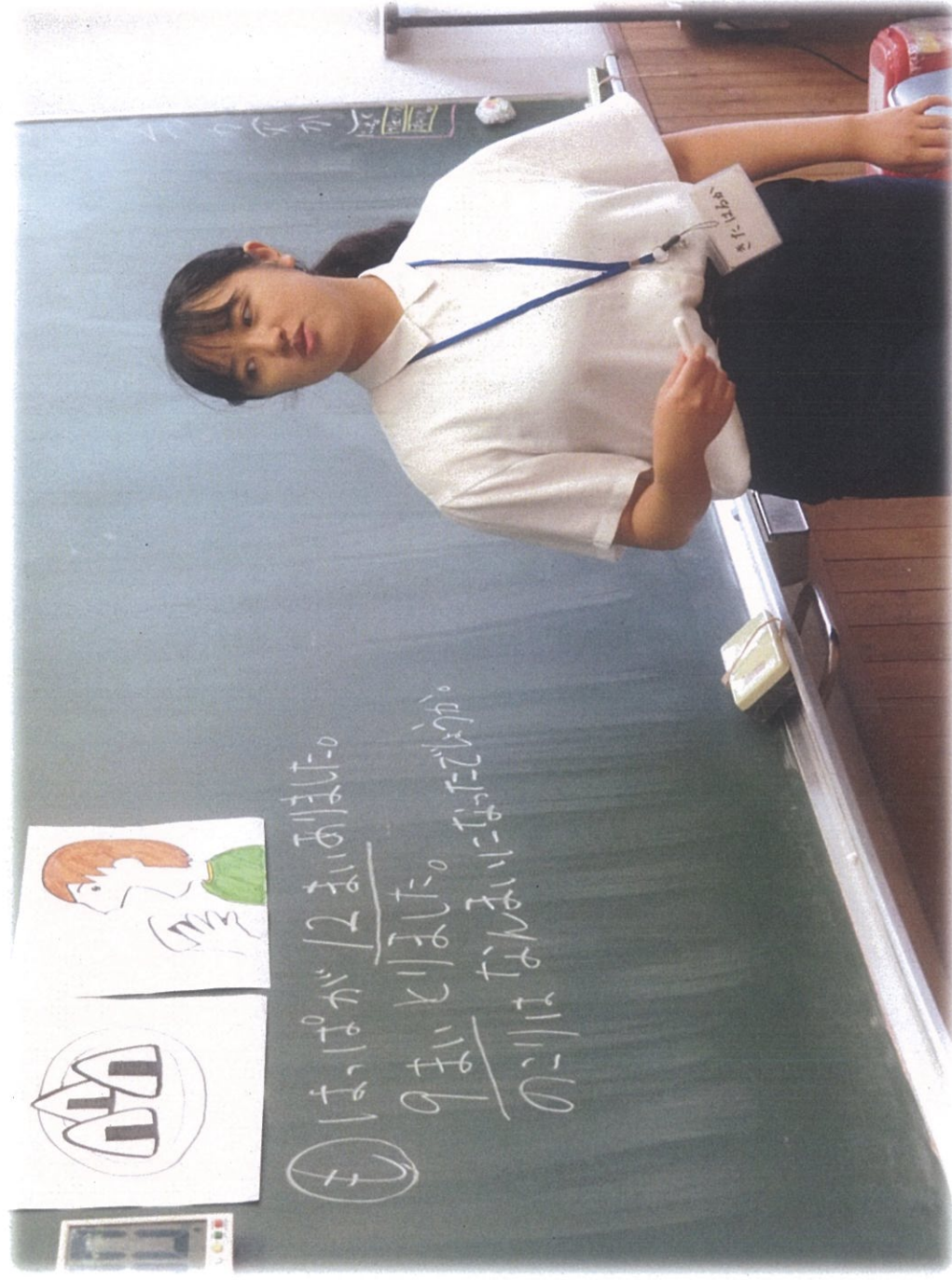
膝をついて、目線を下げ、子供の話に耳を傾ける。一人一人の声を聴く姿に、子供たちを大切にしてい、ていないに授業に取り組もうとする気持ちを感じます。



R7. 9. 2 登校後の様子

さわやかな一日のスタート

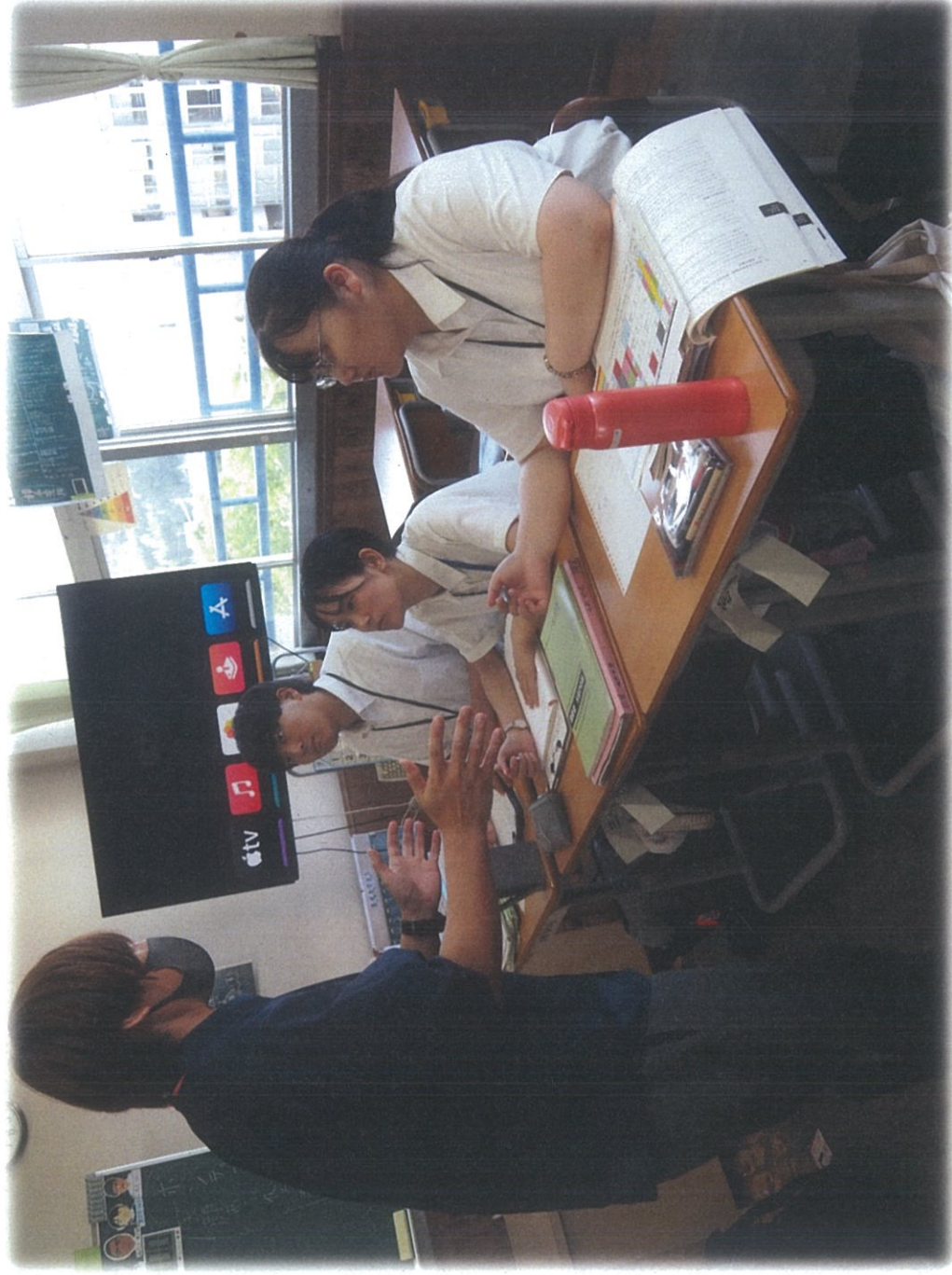
朝一番、登校してから、子供たちとの対話を
を楽しむ。子供も実習生もお互い笑顔で
過ごすこういう時間が大切。さわやかな
一日のスタート！



R7. 9. 2 1年生授業の様子

果敢にチャレンジ

夏休み中に作成した指導案をもとに授業をする。子供たちを前にした久しぶりの授業に緊張はあるけれど、果敢にチャレンジしたことが、全て自分たちの学びに。



R7. 9. 2 6年部学年研の様子

情熱も感じ取る

学年研での担当教師からの指導。実際に現場の教師の話を直接聴く機会は少ない。授業についてだけでなく、子供に対する情熱も感じ取り、吸収しよう！



R7. 9. 2 2年部学年研の様子

評価を意識

各授業では「知・技」「思・判・表」「主体」の何をどこで評価するのかを考える。単元構想をする上では、評価について考えておくことも大切。

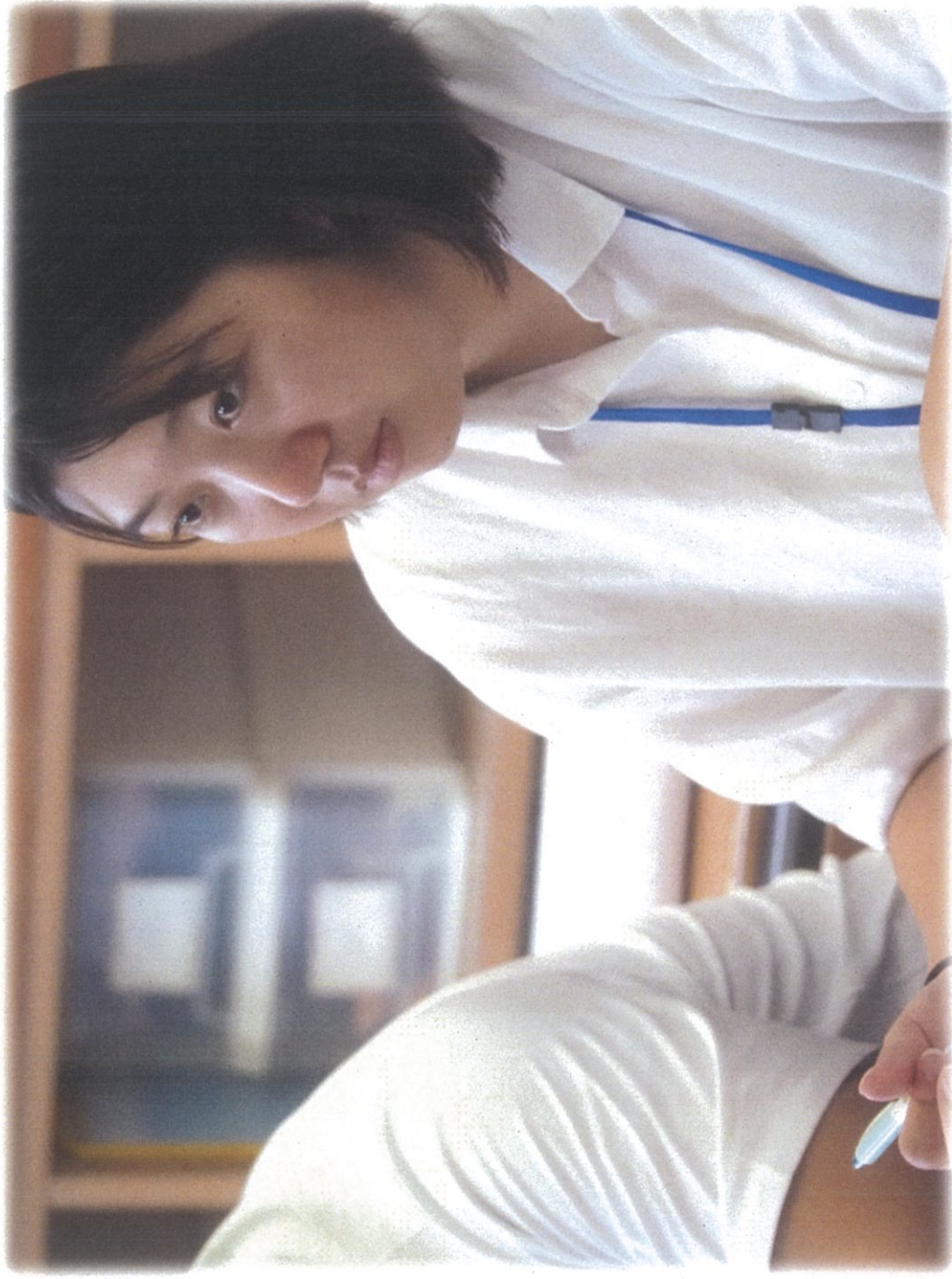


R7. 9. 2

あいさつ運動

率先垂範

先生、自らがあいさつ運動に参加して、子供たちにあいさつのお手本を示す。何事も、先生の進んで取り組んでいる姿が、子供たちの心に響きます。



R7. 9. 2 5年部学年部会

食い入るように

担当の先生の話を一と言も聴きもらすま
いと真剣な表情で聴く。その意欲が、自分
の授業や学級経営の力をアップすること
に直結している。



R7. 9. 2 3年生授業の様子

活動の意義を学ぶ

係活動をしている子供の姿を見取り、どんな思いや願いを持って活動をしているのかを学ぶ。活動の意義を知ることも実習でしかできないこと。



R7. 9. 2 6年部休み時間の様子

チャンスを逃さない

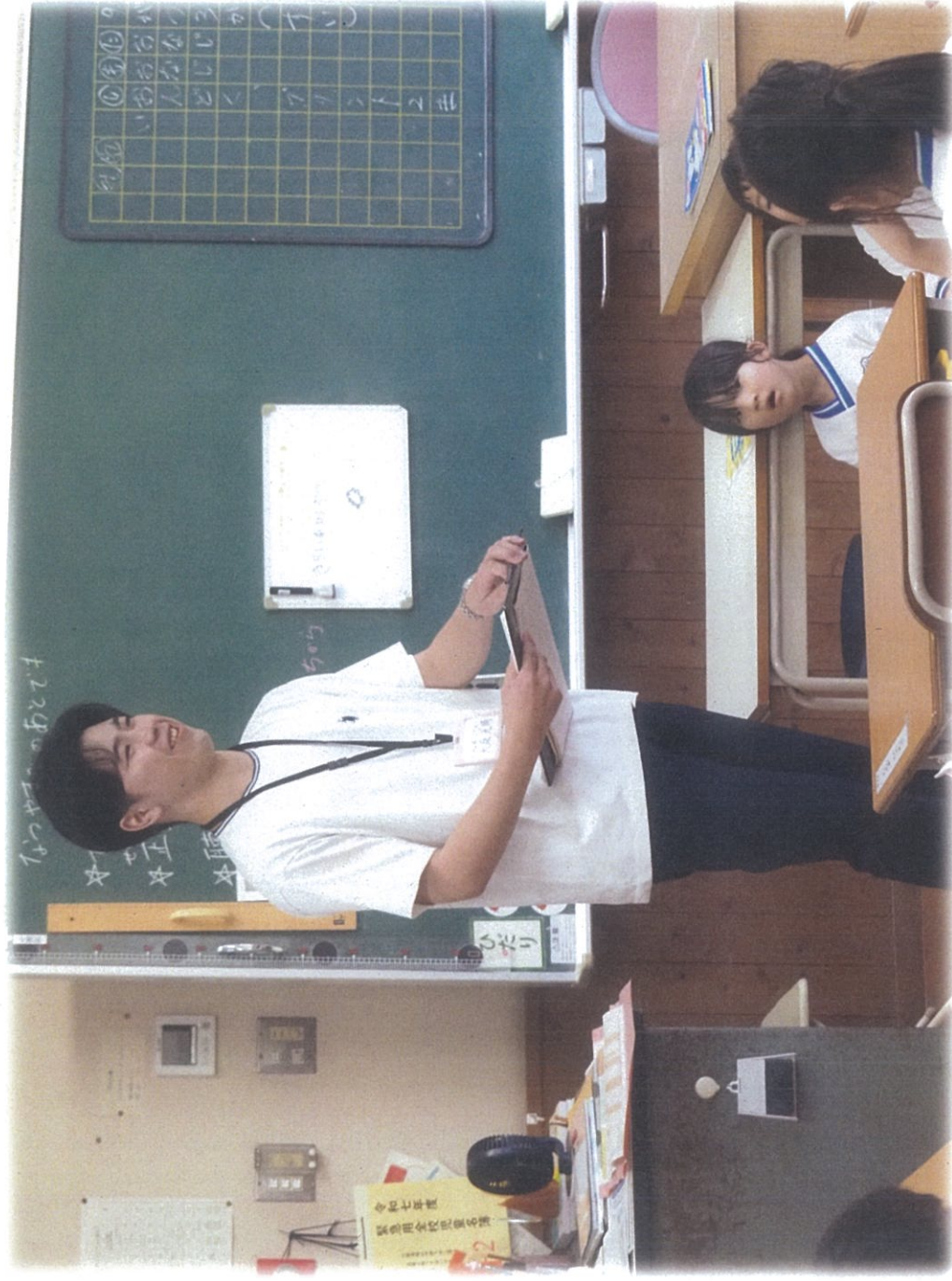
休み時間に6年生が運動会に向けて、実行委員会をしている様子を観察。実習でしか学べない大切なこと。学びのチャンスを逃さない姿が素晴らしい！



R7. 9. 2 下校指導の様子

愛のある指導

子供の安全に関わることなど大切なことが出来てない時は躊躇無く指導する。気が付いてもほっておくことは優しさではない。声をかけることこそ本当の優しさ。



R7. 9. 2 1年生フリートーク

自分を語る

フリートークのお題について、自分のエピソードを語る。子供たちも楽しみにしてるし、コミュニケーションのきっかけにもなります。思い切ってチャレンジ！



R7. 9. 2 | 1 年部学年研の様子

でぎるまで

朝のあいさつ。元気がない声だったらどうするか？そのまま？もう一度？自分が、どんなあいさつを子供たちとしていたいか考えて、子供に声かけをする。



R7. 9. 3 3年生朝の会の様子

可視化

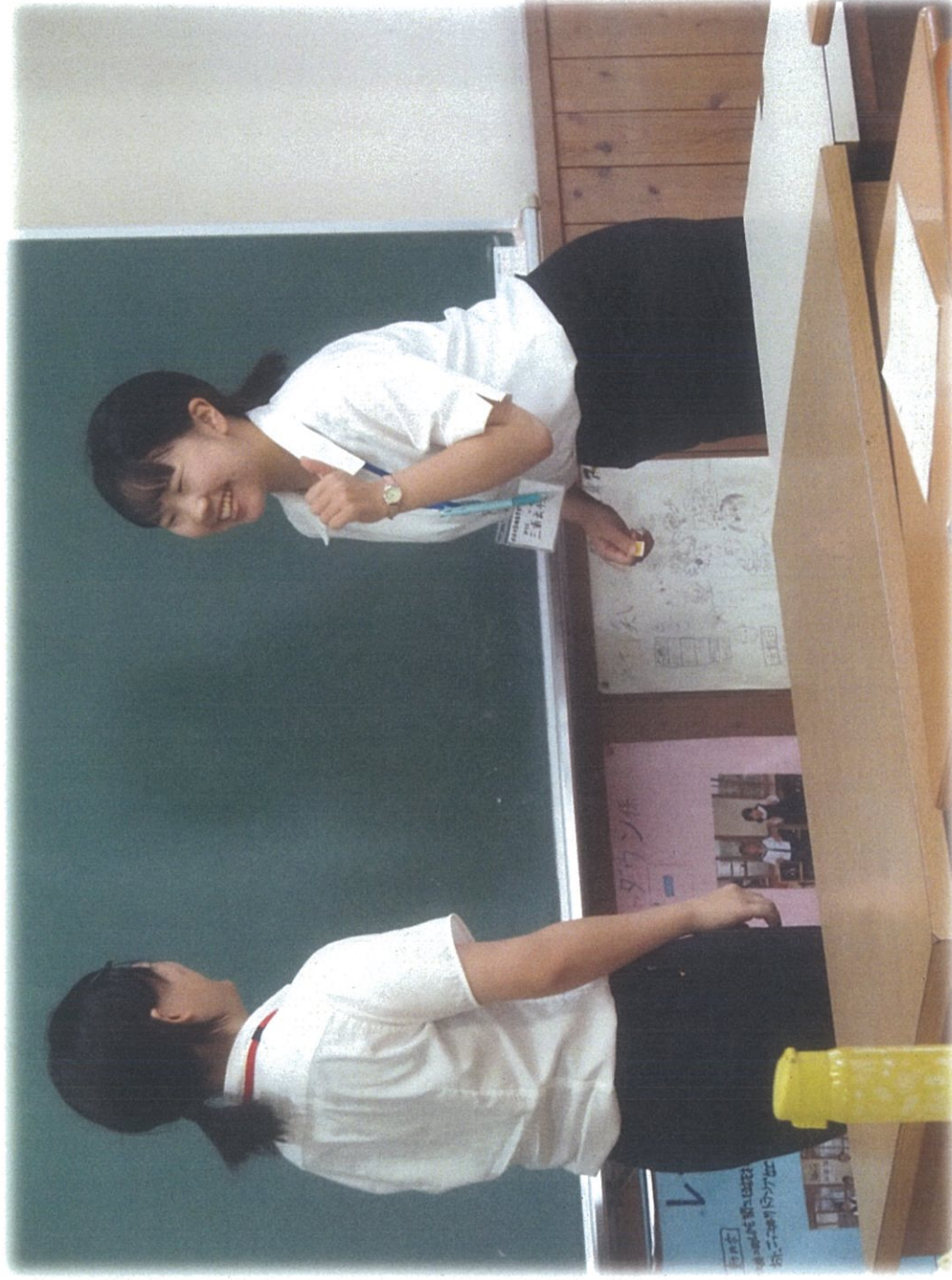
フリートークの様子を見取り、子供たちに広めたい姿を写真に撮って紹介する。可視化することで、具体的に取組を振り返り、今後に生かすことができる。



R7. 9. 3 キラキラ掃除の様子

確認を怠らない

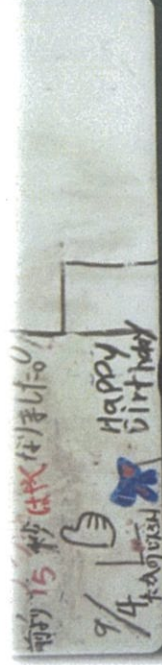
掃除をする子供たちの姿を見取るだけでなく、ゴミなどがなく、きれいにできているかも確認する。がんばりや課題を見つけて、次の指導につなげていく。



R7. 9. 3 4年部学年研の様子

パフォーマンス力

外国語活動でのモデル動画。英語を使ってやり取りする様子を撮影する。子供たちに「やってみたい!」と思わせるために演技力を発揮することは重要です。

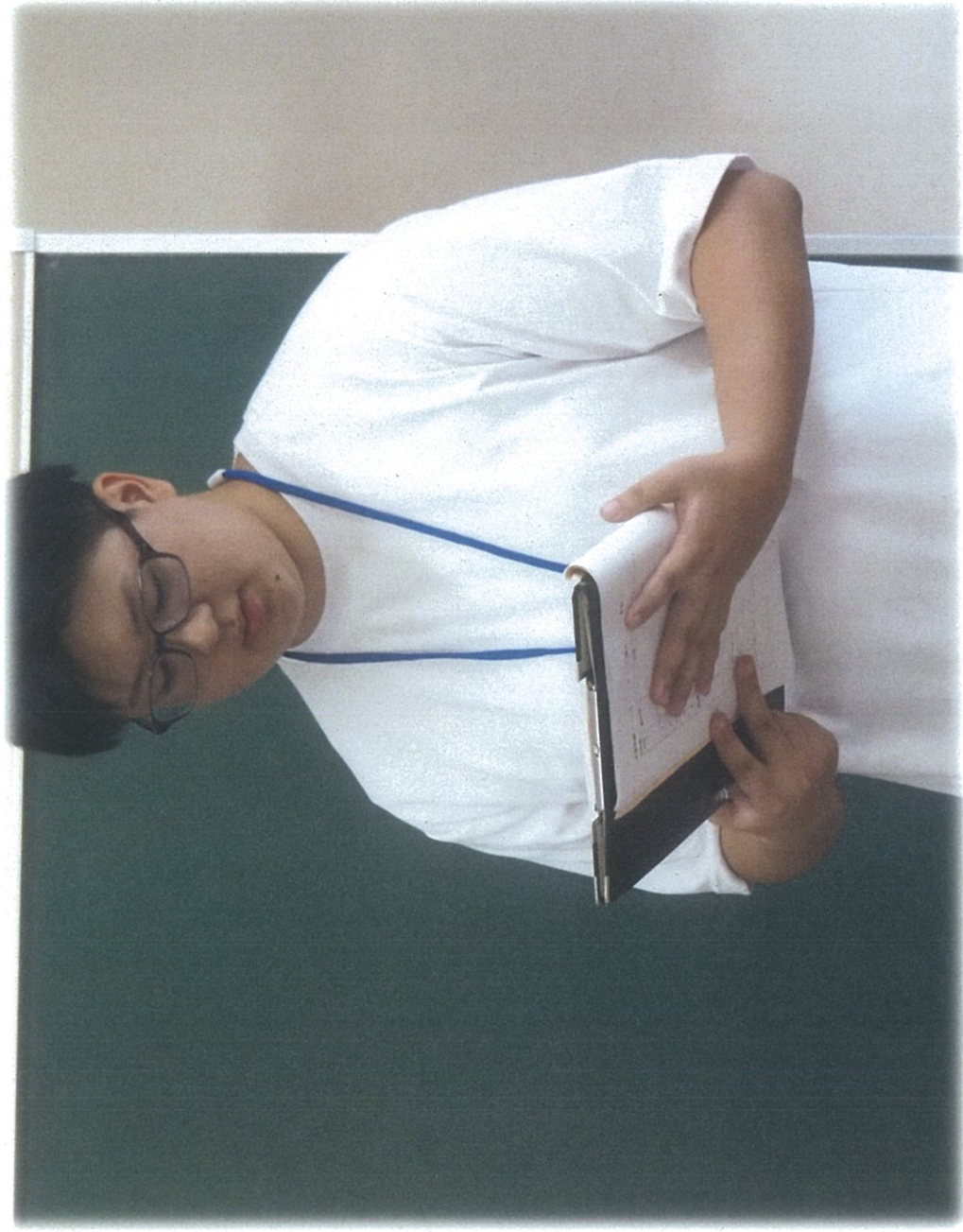


動が、
も、
ける

R7. 9. 3 5年生授業の様子

ほめる＝認める

小さなことでも子供のがんばりやよさに
気付いたら「ほめる」。ほめることは、子
供を認めること。自分から、たくさん見
けにいき、声をかけよう！



R7. 9. 3 キラキラ掃除の様子

吸収力

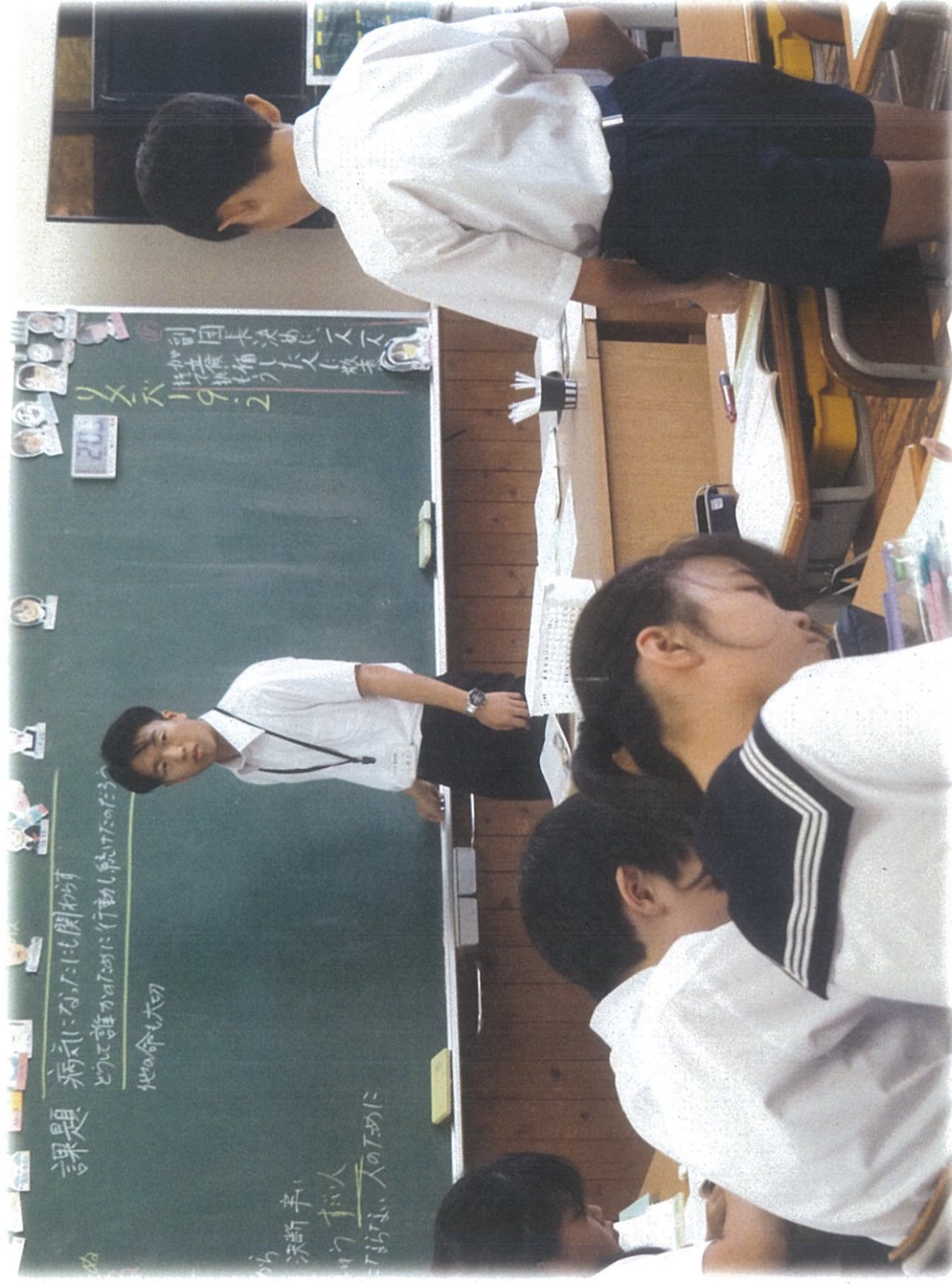
前日のアドバイスを早速、次の日の掃除の振り返りでやってみる。聴くだけでなく、すぐに実行することこそ、本当の力を身に付ける近道。どんどん吸収。



R7. 9. 3 あいさつ運動

自分のこだわり

毎朝、あいさつ運動に参加する。実習中は、あいさつを大切にしようとして自分で決めたから、ひたすら取り組む。一つこだわりの持って挑戦する姿が美しい。



R7. 9. 3 6年部授業の様子

問いかけとうなずき

「みんなどう？」等の子供への問いかけや子供の話をうなずきながら聴く姿。授業を教師だけで進めるのではなく、子供と進めることを意識する。



R7. 9. 3 6年生授業の様子

立場を明らかにして

道徳の教材で「自分ならどうするのか？」
と、自分の立場を明らかにしながら道徳
的価値に迫っていく。自分事として教材
内容を考えるための有効な手立て。



R7. 9. 3 2年生授業の様子

雰囲気をつくる

さわやかな笑顔、ハキハキとした話し方、子供たちが楽しく学びたくなる雰囲気をつくる。授業は、教師のものではなく、子供たちのものという意識を持っている。

子どもたちで

目覚めない

目覚める

あーあ
こわい

いっしょに
あーあ

ともだち

ほくの気

② どうして



R7. 9. 3

2年生授業の様子

スケールを活用

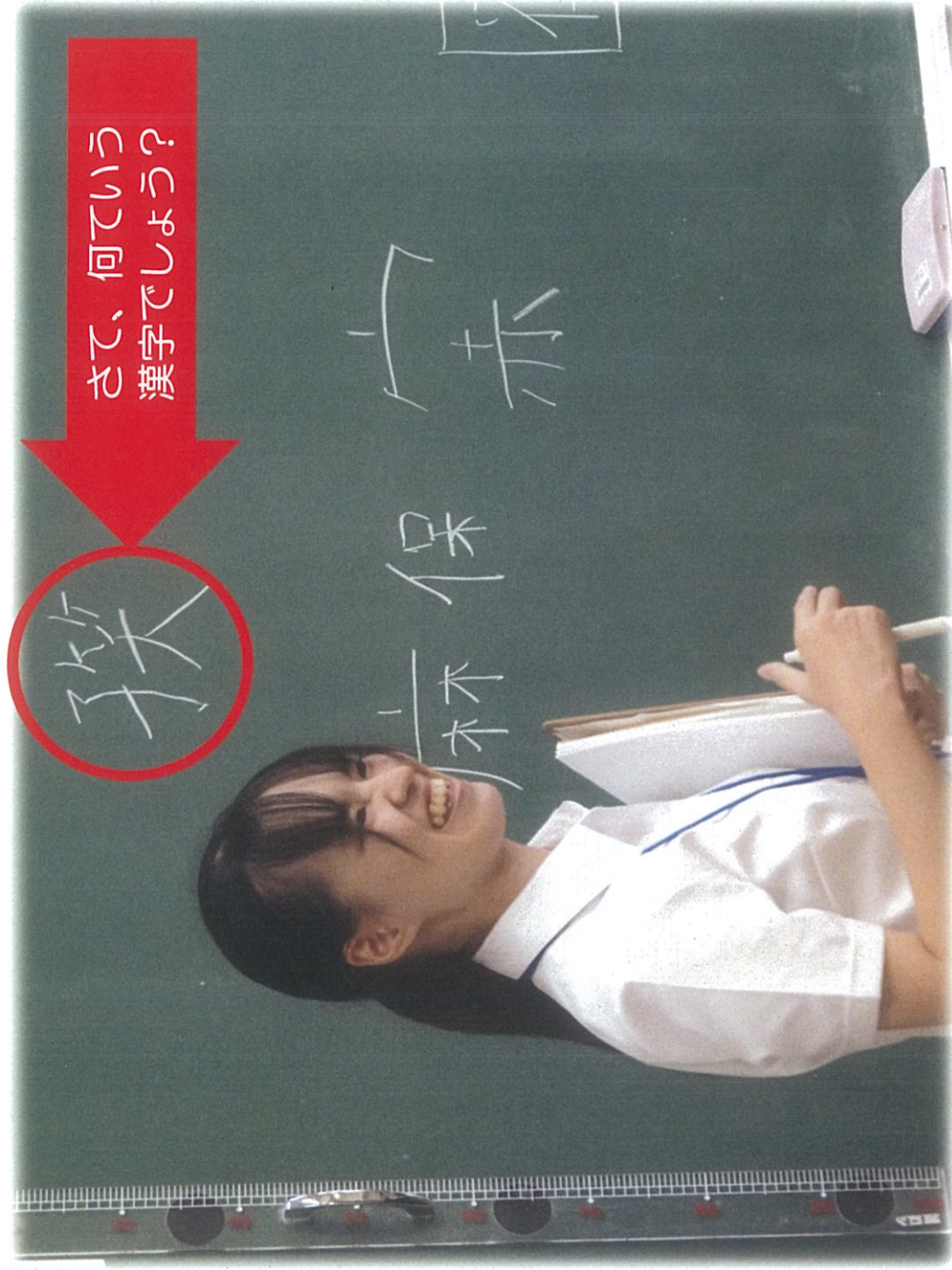
道徳で子供たちの気持ちの様子を各自に
掴ませるためにスケールを活用する。自
分の思いがどこにあるのかが分かりやす
く、すっきり整理することができる。



R7. 9. 4 2年生授業の様子

ステキな深掘り

オリジナルの詩について「どういうところから思いついたの？」と子供の考えを深掘りする。表面的でなく子供の深い思いを引き出すステキな問いでした。



R7. 9. 4 3年生朝の会の様子

子供チャリンジ

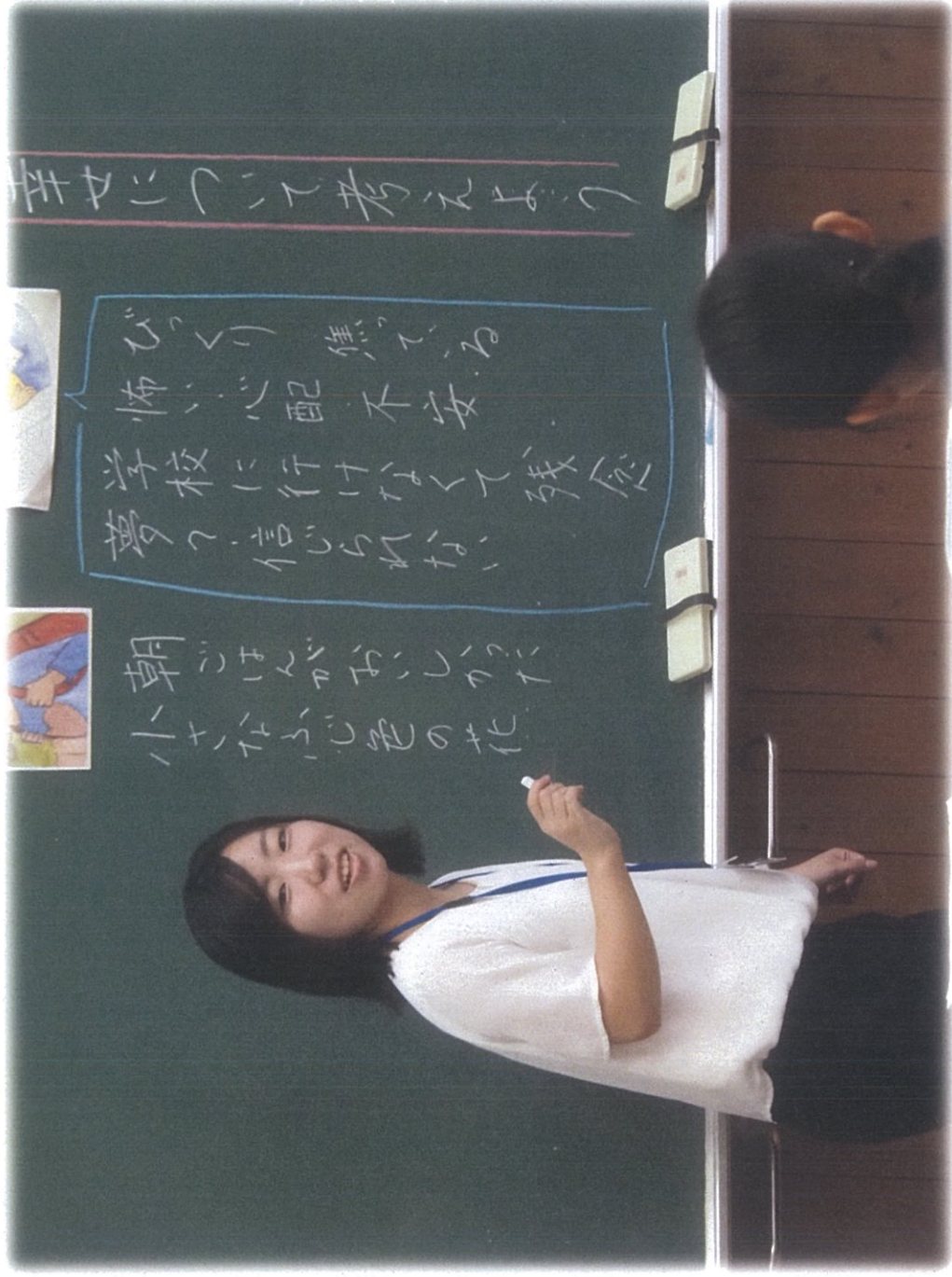
フリートークのお題は、「新しい漢字を作るとしたら」。子供たちと一緒に自分も作って話す。子供たちと同じことをやってみることで、グンと心の距離が縮まる。



R7. 9. 4 4年生授業の様子

ムードメイカー

誰もが「楽しい授業をしたい」と思っている。そのためには、まず教師が授業を笑顔で楽しそうにすること。すると子供たちもきっと笑顔になる。



R7. 9. 4 4年生授業の様子

教材で「学ぶ」

道徳の授業は、教材の読み取りでなく、教材と自分の生活をつないで考えることが大切。「教材を学ぶ」ではなく、「教材で学ぶ」意識で実生活につなぐ発問をする。



子供の言葉で

「何が？」「何のために」と、
授業で学習したキーワードを、
子供の言葉から引き出して、ま
とめを作っていました。
おいしいところは子供に！

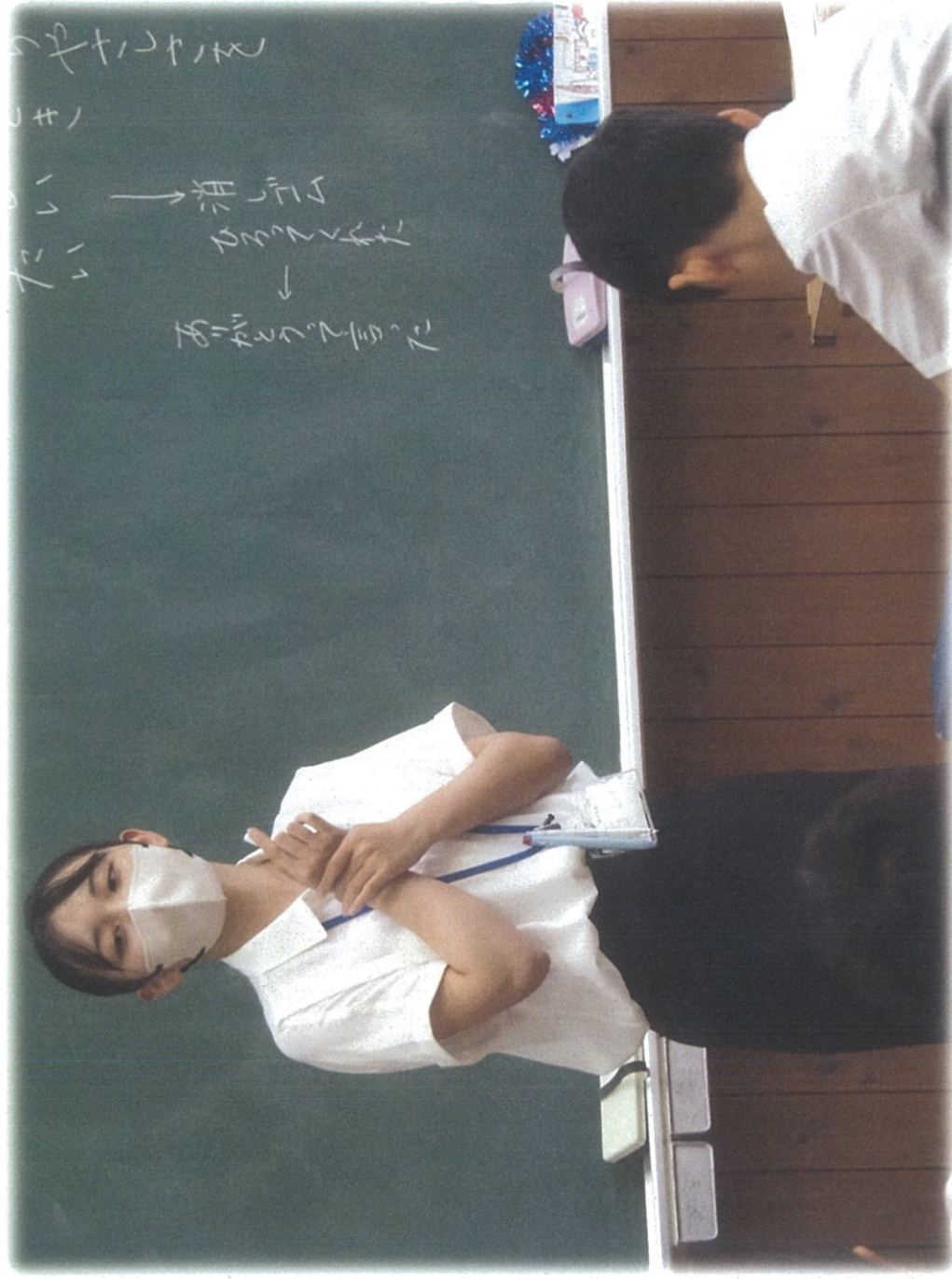


子供の言葉こそ記録

子供の姿や言葉からしか、授業の成果や課題は語れません。

教師の言葉に意識が向きがちな本実習1週目…。子供の言葉や姿こそ

しっかり見とって記録してい毅、**子供**
が主役の授業を作っていきましょう。



R7. 9. 4 4年生授業の様子

目々全力

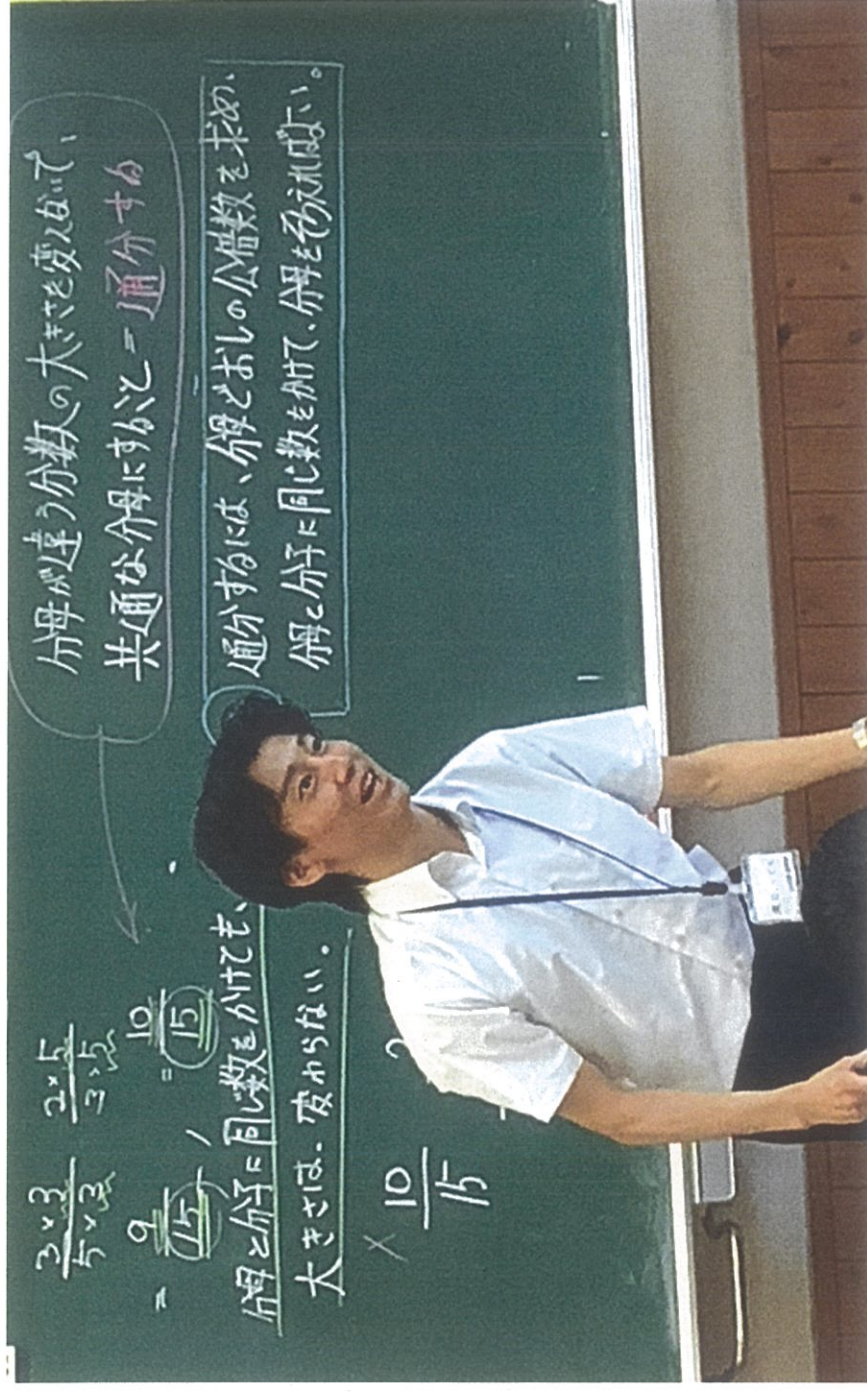
子供たちと真剣に向きあって授業に取り組む。うまくいったこといかなかったこと、全力で挑戦した経験は、全て次に繋がりがり、必ず自分の力になります。



R7. 9. 4 朝の登校の様子

真の考動力

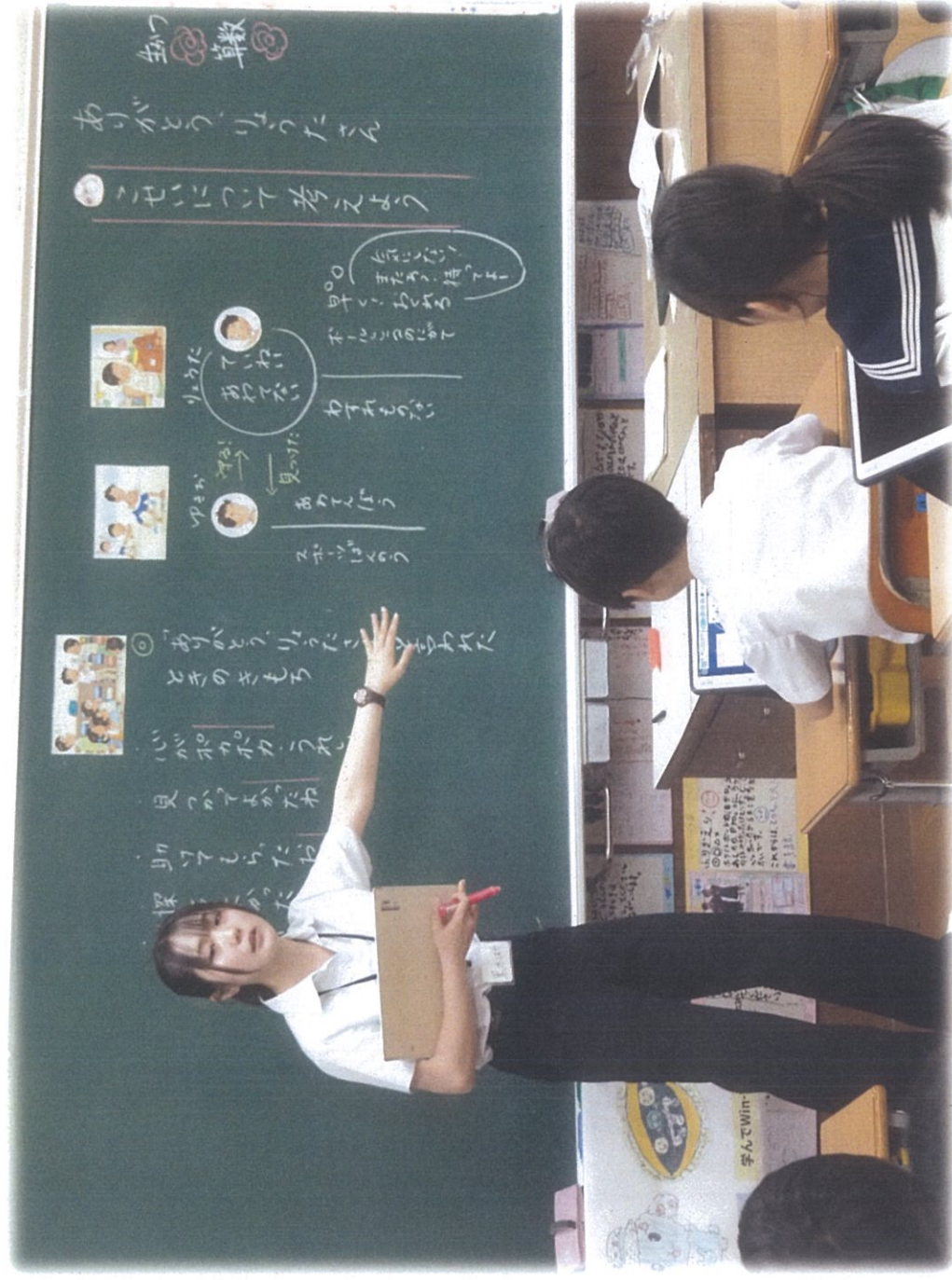
朝、昇降口が開くまでの間、子供たちに向
けて、あいさつ運動を自主的にする。今、
自分たちに行えることは何かを考えて実
行する。これぞ真の考動力！



決定権は子供に

子供を「**主役**にしよう」と思えば、決定権を子供に委ねようとする言葉が増えてきます。

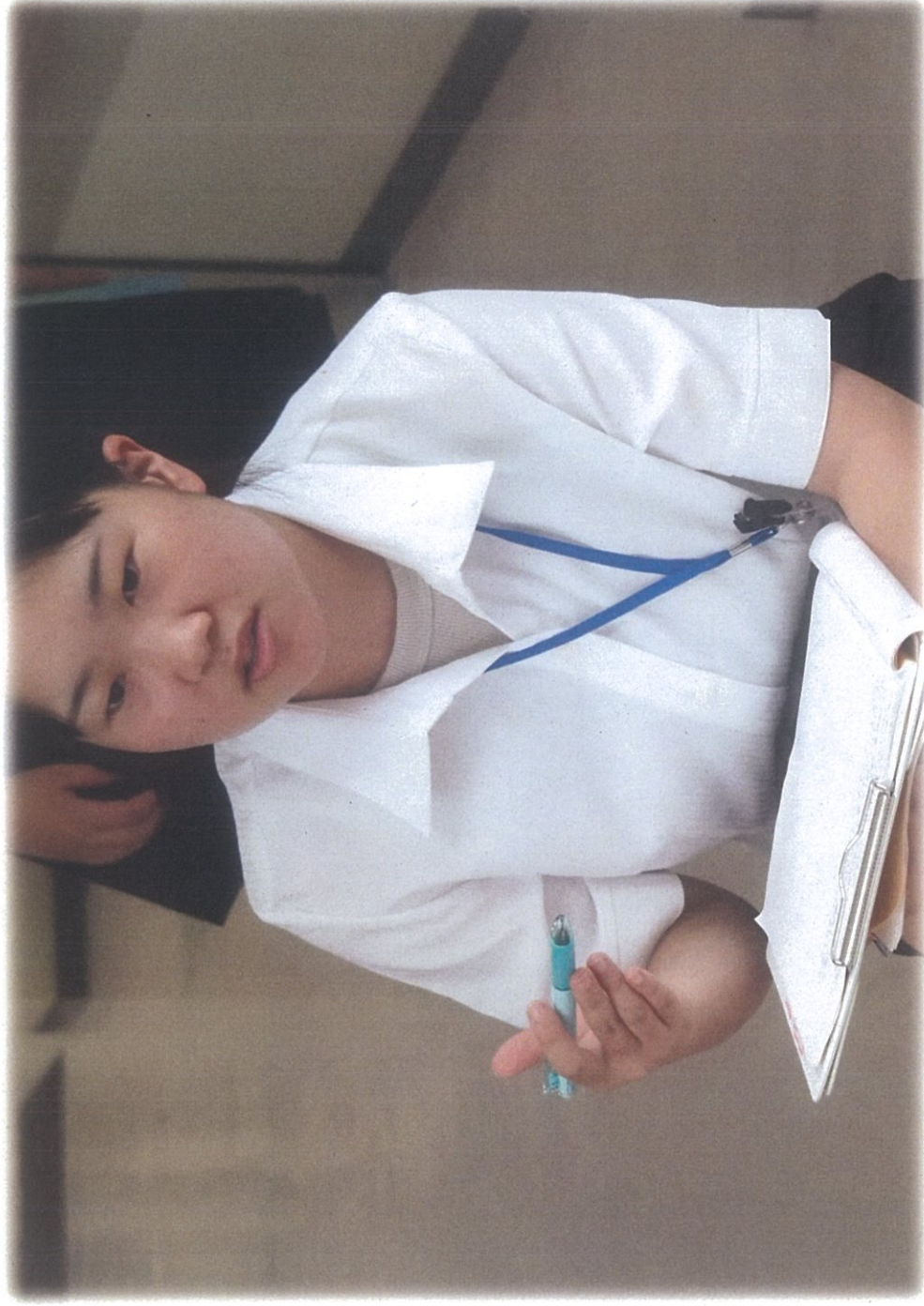
「どう?」「良さそう?」「いい?」と、答えを先生が出すのではなく、子供達が納得しながら進められるように声掛けする姿、素晴らしいです。



R7. 9. 4 2年生授業の様子

一歩一歩

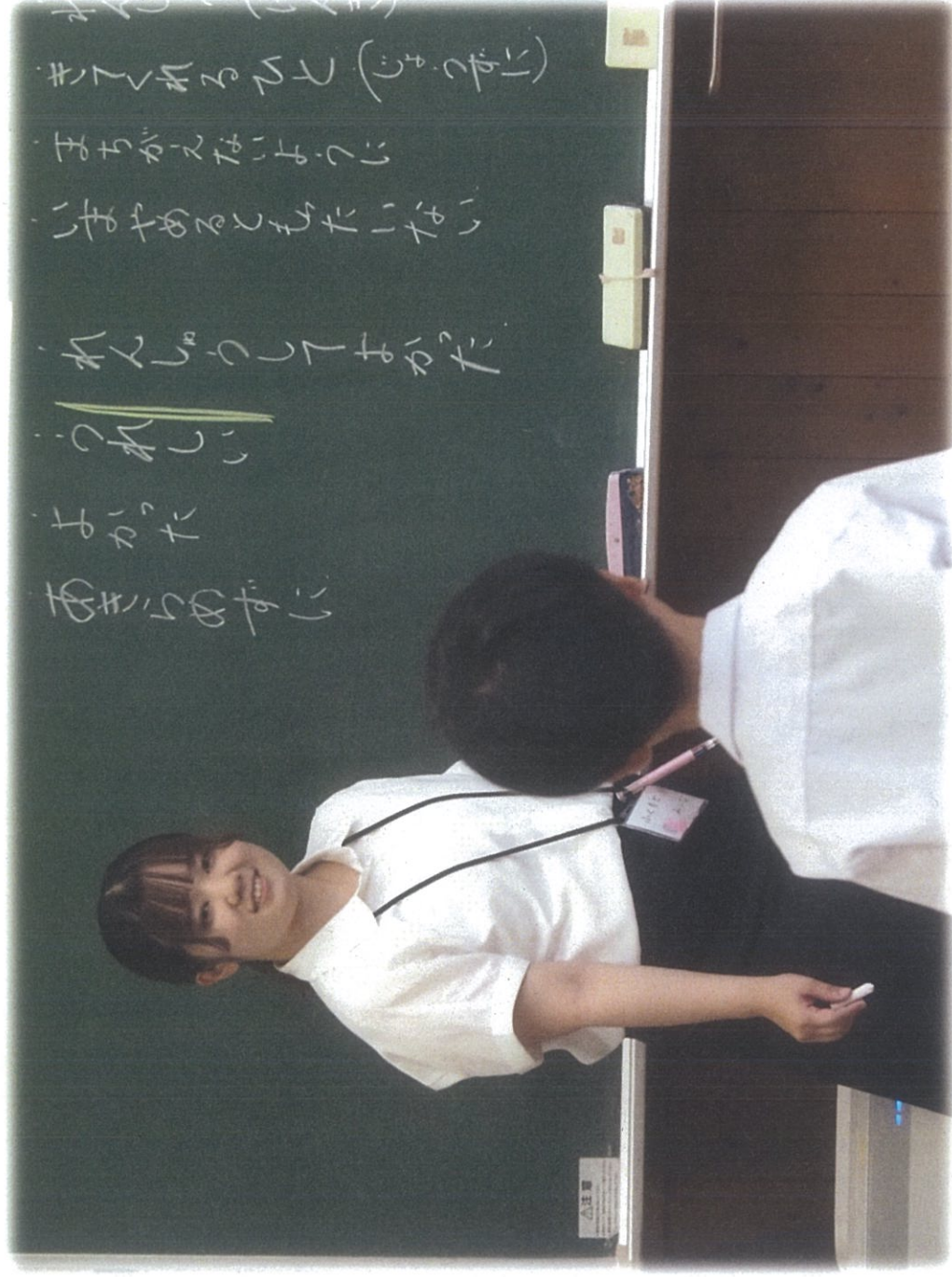
チャレンジ授業と比べてどうだったかを振り返る。きっと成長した所があるはずです。焦らず一歩一歩着実に行くことが大切です。必ず前に進むのだから。



R7. 9. 4 キラキラ掃除

課題を一つ

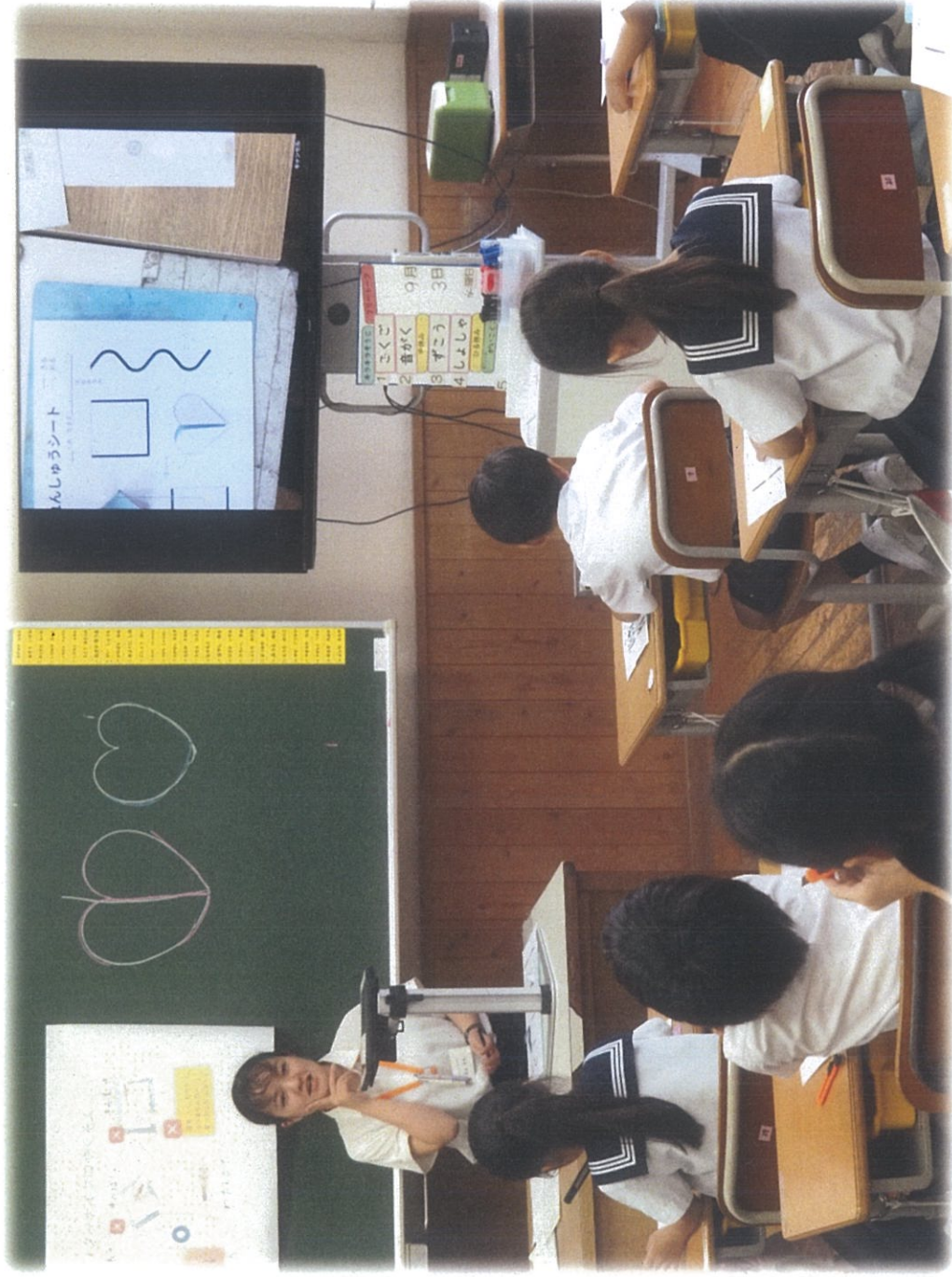
掃除の振り返り指導。よかった姿を価値づけることにプラスして、課題を一つ伝えていました。さらなる掃除のレベルアップに向けた指導でした。



R7. 9. 4 | 1年生授業の様子

つなぐ意識

「友達の意見を聴いて、自分も同じやな
あと思った人？」と問い返していく。子供
の考えや子供同士を授業の中でつないで
いく。忘れてならない大切な発問でした。



R7. 9. 4 2年生授業の様子

教具の活用

学校には授業に役立てられる便利な教具があります。いろいろな教具を試しに利用してみることも実習で授業をする上での経験になります。



R7. 9. 4 6年生授業の様子

多様な考えをもとに

三字熟語の分類。発想力豊かな子供たちの多様な意見のおもしろさ。「これをどうまとめるか？」難しいけれど、子供たちと話し合い、まとめる手立てを探ろう。



R7. 9. 5 | 1 年部学年研の様子

自己省察

授業について振り返る。結果だけでなく、「なぜうまくいったのか？いかなかったのか？」原因を授業方法・内容、取組姿勢まで追究し、次はどうするのか考える。



R7. 9. 5 5年生学年研

白熱の授業づくり

子供に一番考えさせたいことを検討する。「何をどう考えさせていくのか」みんなで意見を出し合う。思いを語り合う姿に授業づくりへの真剣さが伝わります。



鯉魚心肝
何如

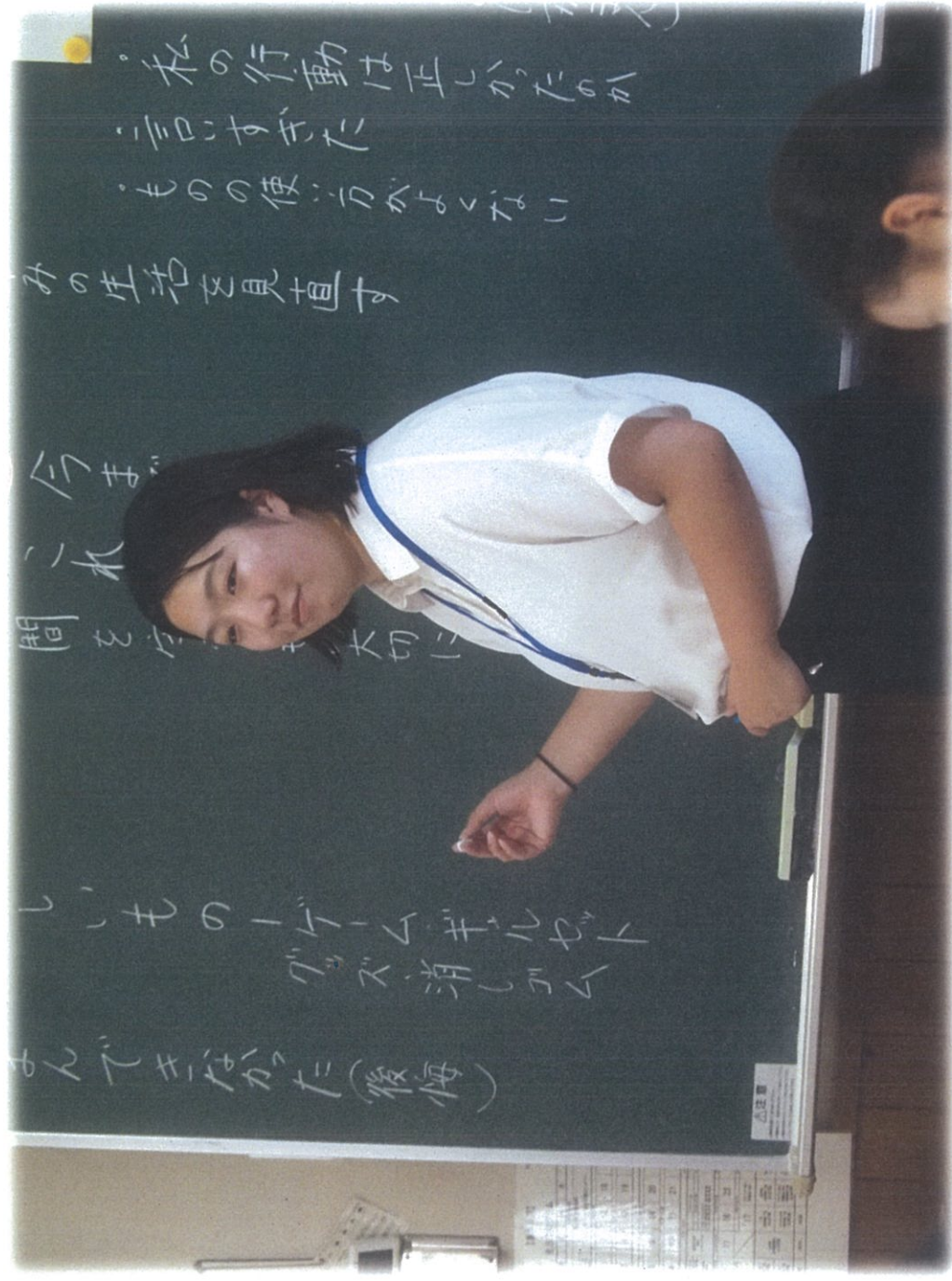
図エでカッターの正しい使い方をマスター
一できるように有効な手立てを考える。
単元の導入で、ここを大事にすることが、
後々の授業でのケガの防止につながる。



R7. 9. 5 3年生授業の様子

目的ある机間指導

何のために机間指導をするのか？「どんな話をしているの？」と耳を傾けたり「どんなことを書いたの？」と目を向けたりして分かったことを授業展開に生かす。



R7. 9. 5 5年生授業の様子

Be a Challenger

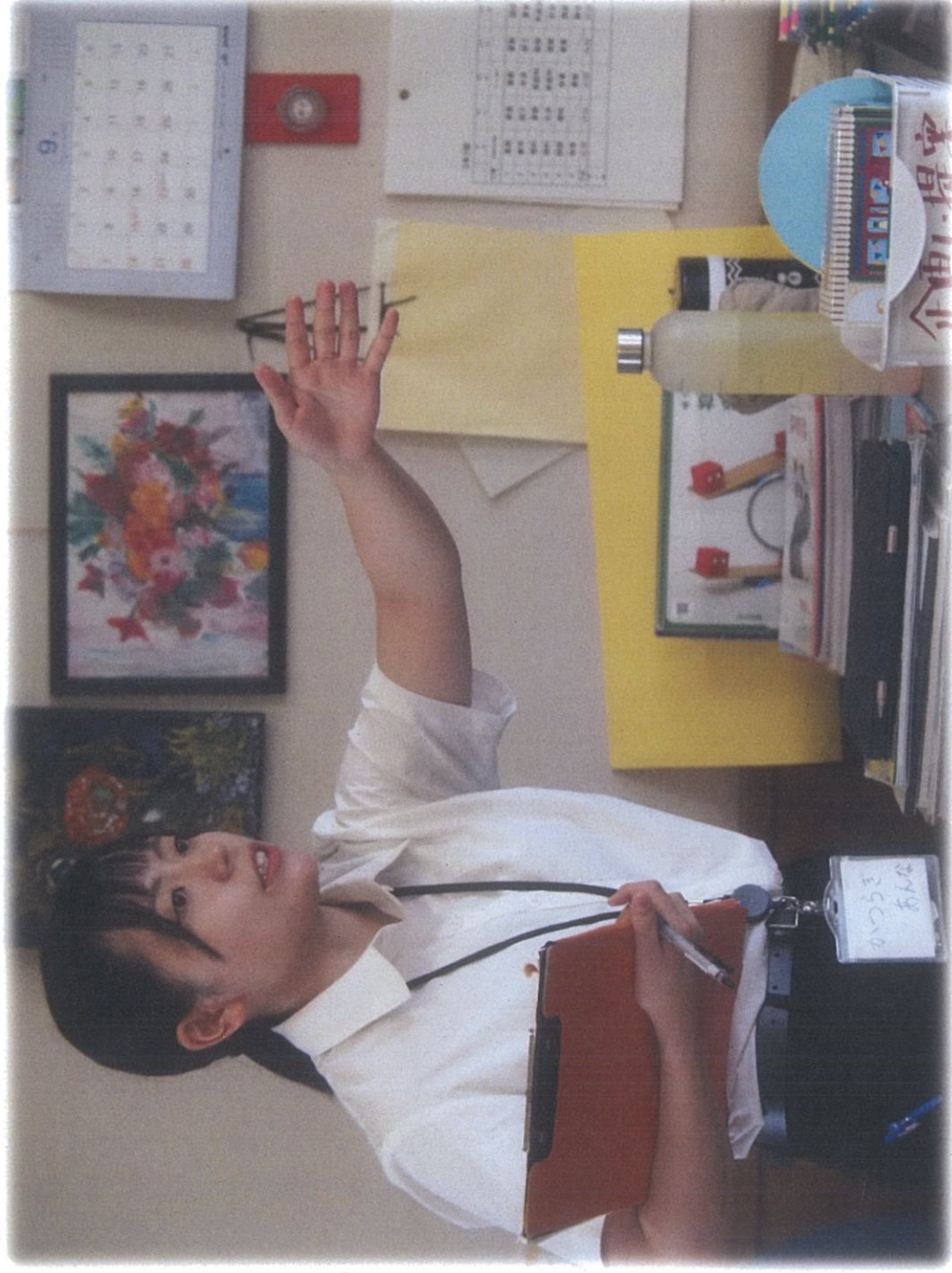
全力で挑んだことに無駄は一つもない。
今日の経験の全てが学びになり、次に生
かされる。自信を持って前に踏み出して
いこう！常に挑戦者であれ！



R7. 9. 5 3年生授業後の様子

飽くなき向上心

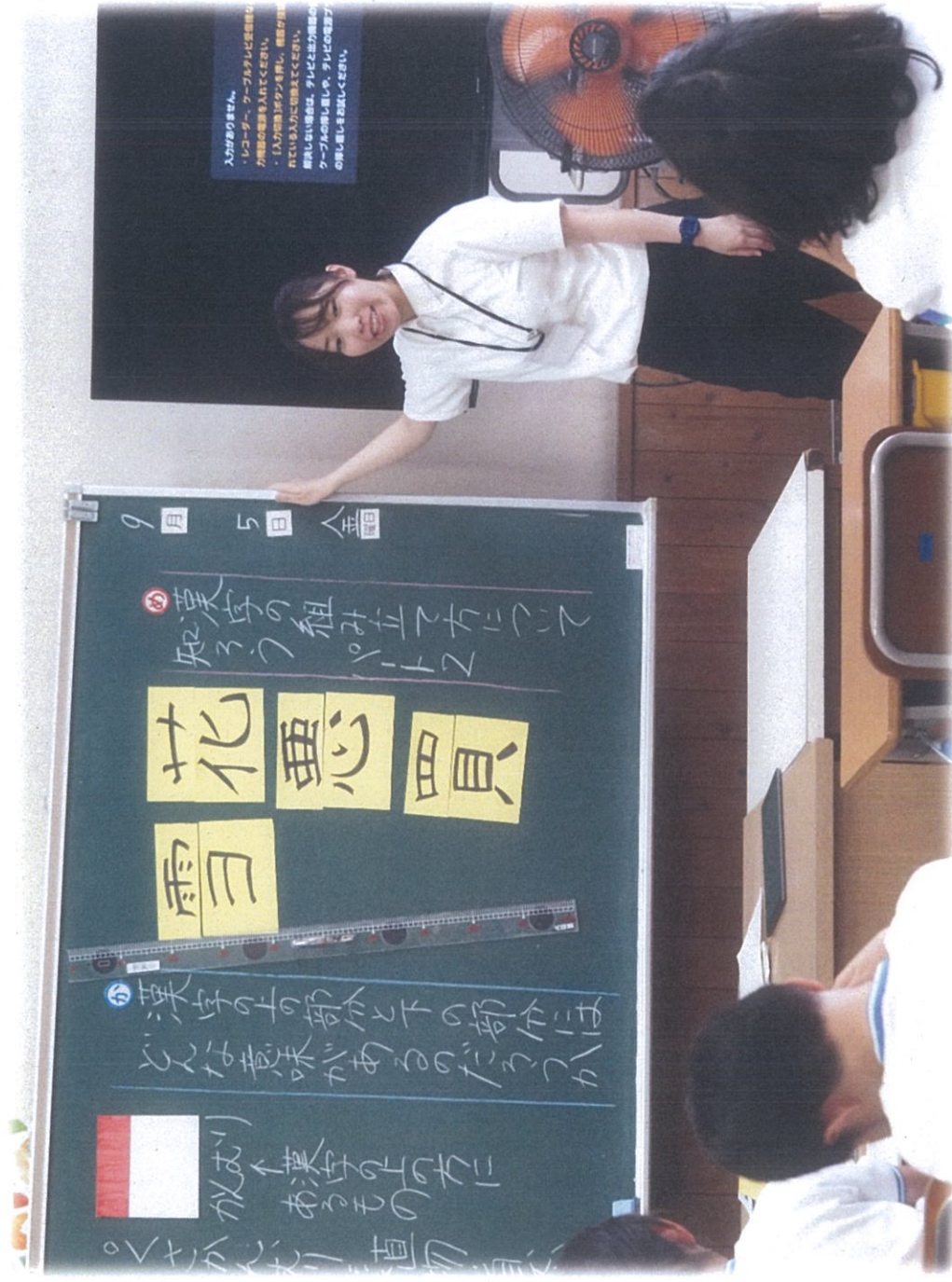
自分の授業がどうだったのか、積極的に
アドバイスをもらいに来て、記録に残す。
自己の成長のために多くのことを吸収し
ようとする飽くなき向上心。



R7. 9. 5 キラキラ掃除の様子

一人一人を見取る

掃除での一人一人の姿を見取り、記録に残す。子供を大事にしているからこそ、振り返りの価値付けで、個人の名前を出しながら、具体的に話すことができる。



R7. 9. 5 3年生の授業の様子

めあてと連動した振り返り

「めあて」と「振り返り」には、呼応関係があることを意識する。振り返りをする時にめあてに触れて話をするこことで、子供たちも一時間の学びを見直せる。



R7. 9. 5 6年生授業の様子

補助発問

道徳の授業では、子供の実生活と結びつけながら思考できるようにすることが大事。そのために子供の本音や経験を引き出す補助発問を考えて準備をしておく。



R7. 9. 5 | 1年生授業の様子

アクティブな見取り

じっと後ろから見ているのではなく、前や横から子供の様子を見たり、子供の側に行って座って見たりする。アクティブな見取りができるのが教育実習の醍醐味。



R7. 9. 5 6年生フリートークの様子

学びの材料は目の前に

学ぶ材料は目の前にある。それに気づけるかどうか？特に学級経営や児童との関わりについては、本校の先生方の姿から得ることはとても大きい。



R7. 9. 5 5年生の授業の様子

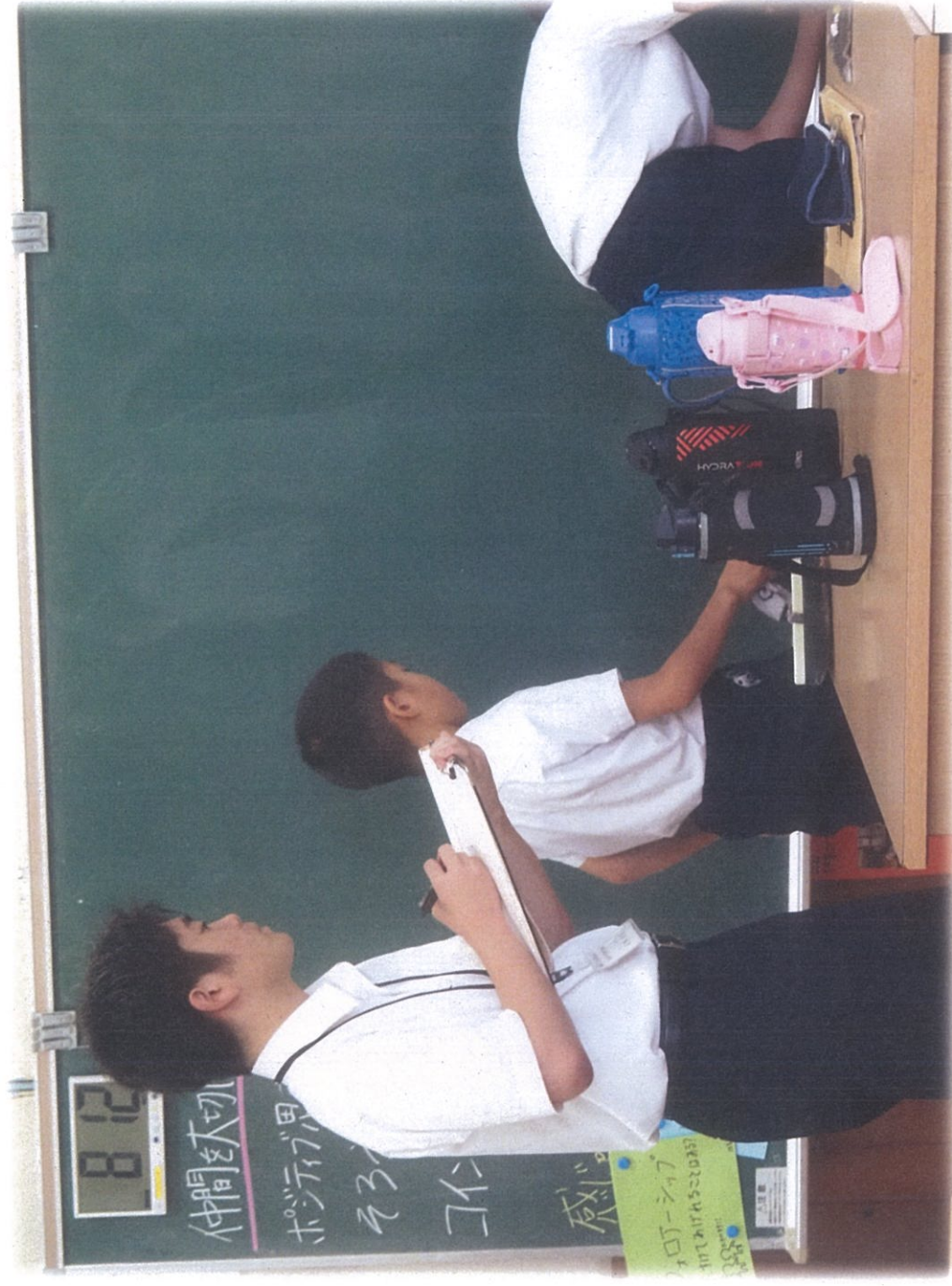
まねる⇒まねぶ⇒まなぶ

担当の先生の授業を見て、自分の授業を

改善していく。よいものはまねして、どん

どん吸収することが自分の成長への近道

になっています。



R7. 9. 5 キラキラ掃除の様子

見つけに行く

積極的に子供のがんばりを見つけに行
く。「今日も、子供のがんばりをたくさん
見つけるぞ!」という雰囲気朝から伝
わってきました。



R7. 9. 5 5年生授業の様子

自治的活動を学ぶ

子供たちが自発的・自治的に進める学級会を参観。子供たちが自らの学級をよりよくするために、どのように話し合い、決めていくのかを知る貴重な機会。

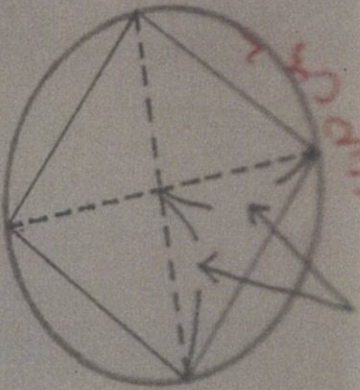


R7. 9. 5 2年生教材研究の様子

モデル

どんな作品を作るのかを子供たちがつかめるようにモデルを準備する。実際に見て、子供たちのイメージは大きくふくらみ、意欲も倍増。教材研究の成果。

見当もつて... どのくらい... 面積... 半径10cmの円の面積が...
正多角形をかいたものから、半径10cmの円の面積が...
円の内側と外側に正多角形をかいたもの...
あるんやけど、これを使得て、それをやの下...
面積も考えよう。圓を印刷してまたから、これに...
シートに見合ったりに考えて、開いて、圓の内側に正...
円より小さい...
三角形2つを重...
→ 正多角形が2...
圓の面積...
より大きい...
200cm²...



10cmの円が... 今...
色んな形の面積を...
思っやけど、今日からは...
...に...
...
...
...

R7. 9. 8 6年生板書指導案

書き込む

授業準備を丁寧にする。板書指導案に自分の発言の予定等を色ペンで書き込んだり、展開を予想した細案を作ったりすると自分がねらうことが明確になる。



R7. 9. 8

3年生の授業の様子

日々努力

授業の準備と実践、振り返りを繰り返す。
 日々努力を積み上げていくことで、自分の力は確実に上がっていきます。努力は無駄にはなりませんね。



R7. 9. 8 2年生授業の様子

Side by Side

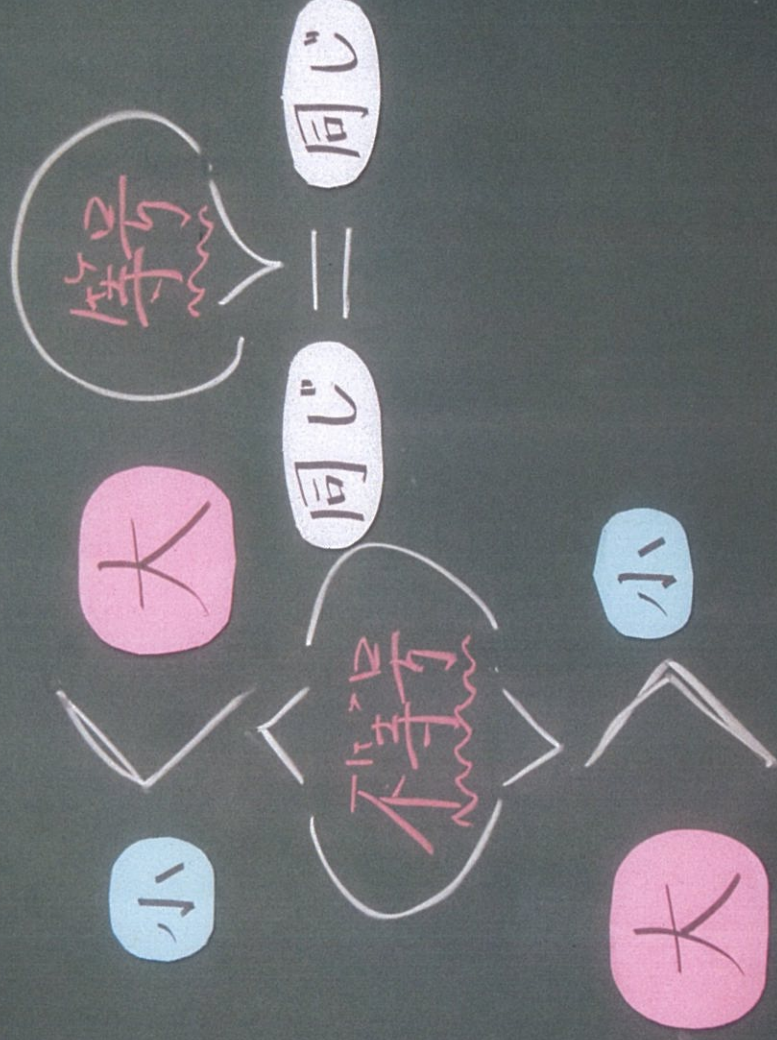
常に子供に寄り添う姿勢。優しい眼差しに子供を大切にしようとする思いが伝わってきます。授業中も休み時間も、いつも忘れてはいけないマインドです。



R7. 9. 8 2年部学年研の様子

可能性を探る

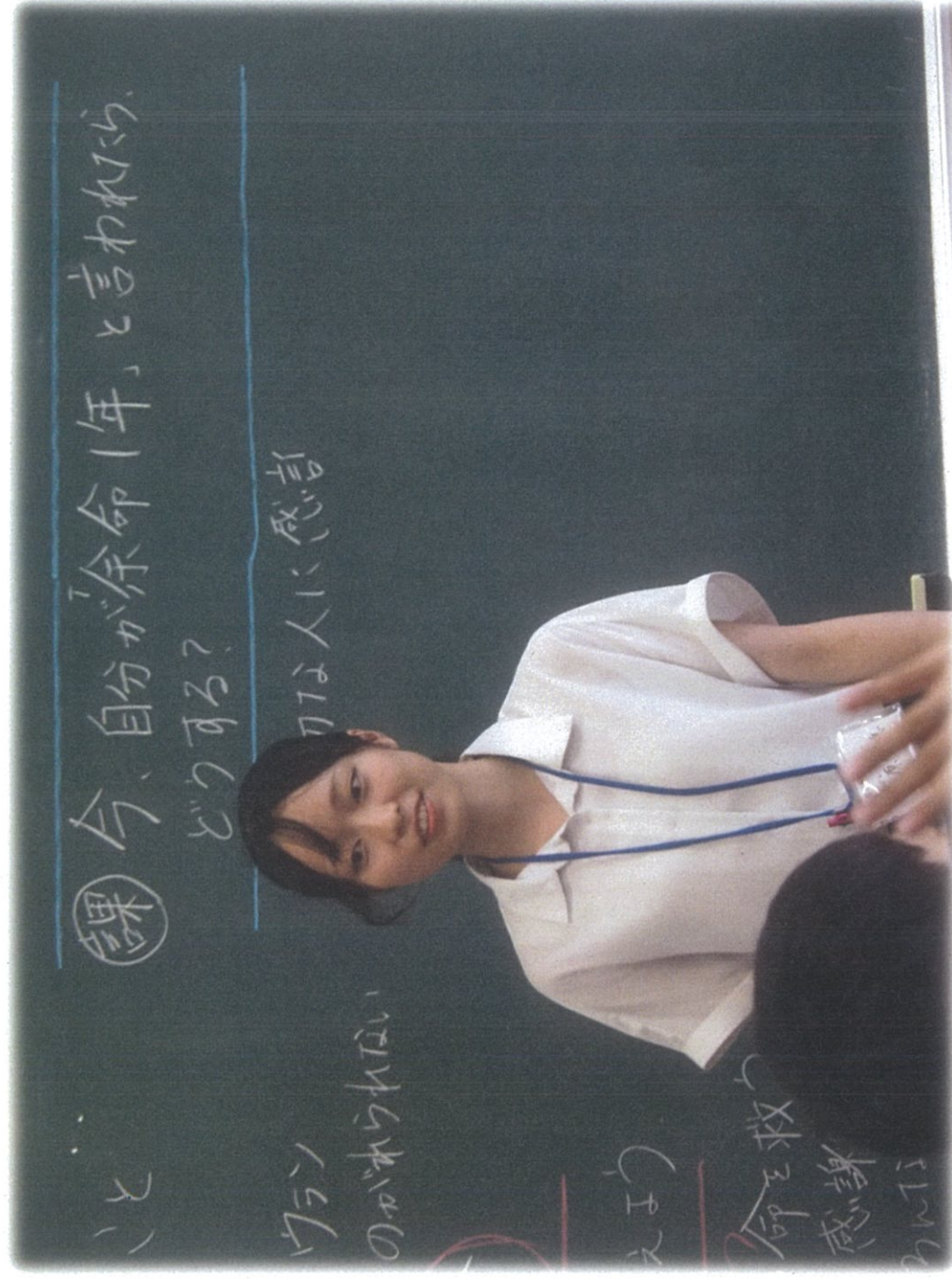
子供たちのアイディアを実現するための方法を考える。「難しい＝できない」ではなく「どうすればできるか」を探る。子供たちの思いを大切にしたい授業づくり。



R7. 9. 8 3年生授業の様子

分かりやすさを意識した教具

カードの大きさを变えることで、不等号の意味が一目瞭然捉えられる。分かりやすさを考えた教具を準備することは、子供を大切にした授業をめざしている姿。



R7. 9. 8 6年生授業の様子

自分事として

自分と登場人物を比べたり置き換えたりすること、自分事として課題を引き受けることができるようにする。教材と自分をつなぐ手立ての一つ。



R7. 9. 8 | 年生授業の様子

発達段階を見取る

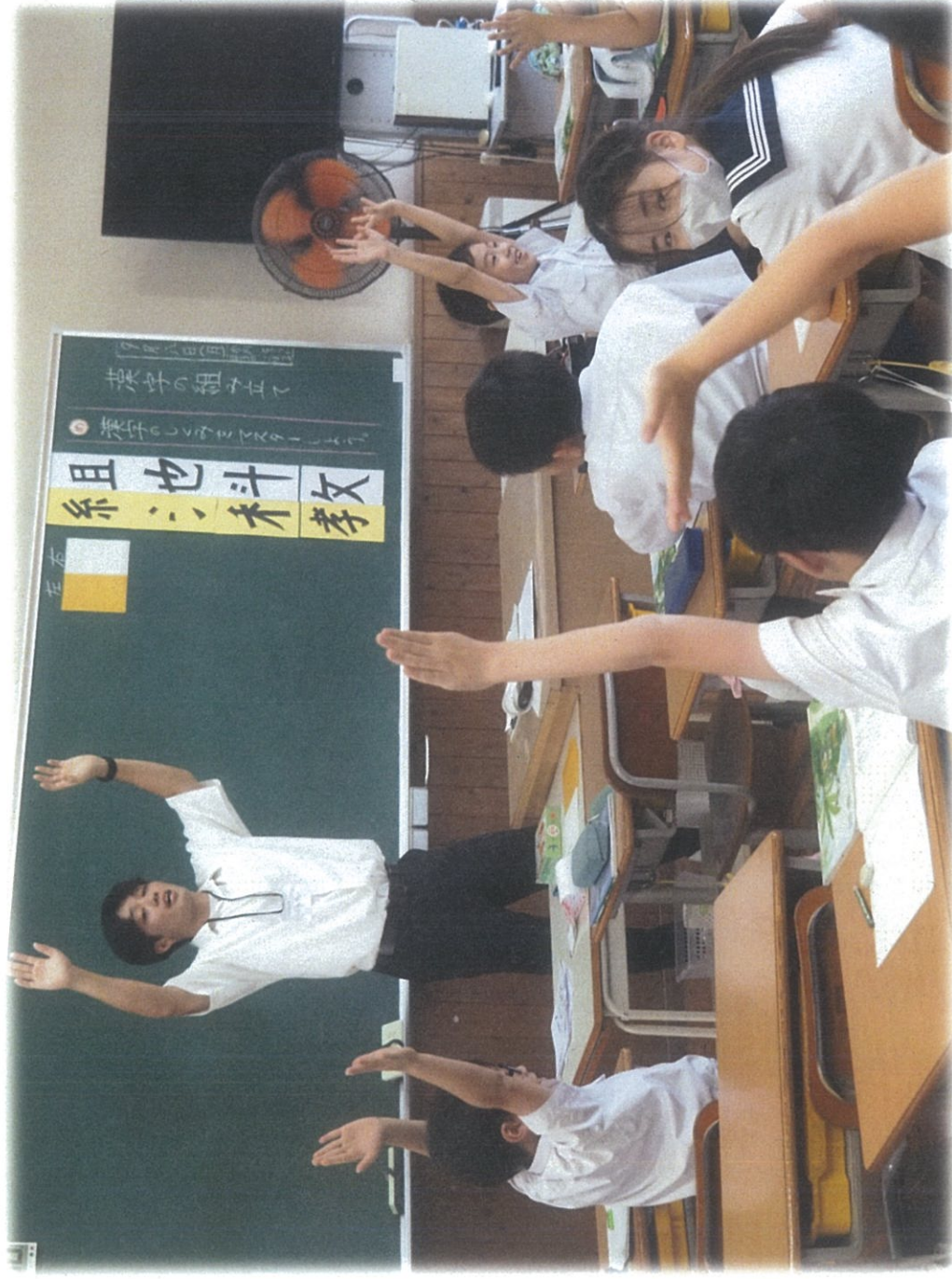
他学年の授業を観察する。担当学年の子供との違いや同じところを見取る。また、授業の系統性にも気付くかもしれません。発達段階を見取る貴重なチャンス。



R7. 9. 8 2年生授業の様子

きめ細やかに

一人一人の様子を机間指導しながら見取
っていく。きめ細やかでない指導
を心がけている。個に応じた指導につな
がっていく姿。



R7. 9. 8 3年生授業の様子

やり取りを楽しむ

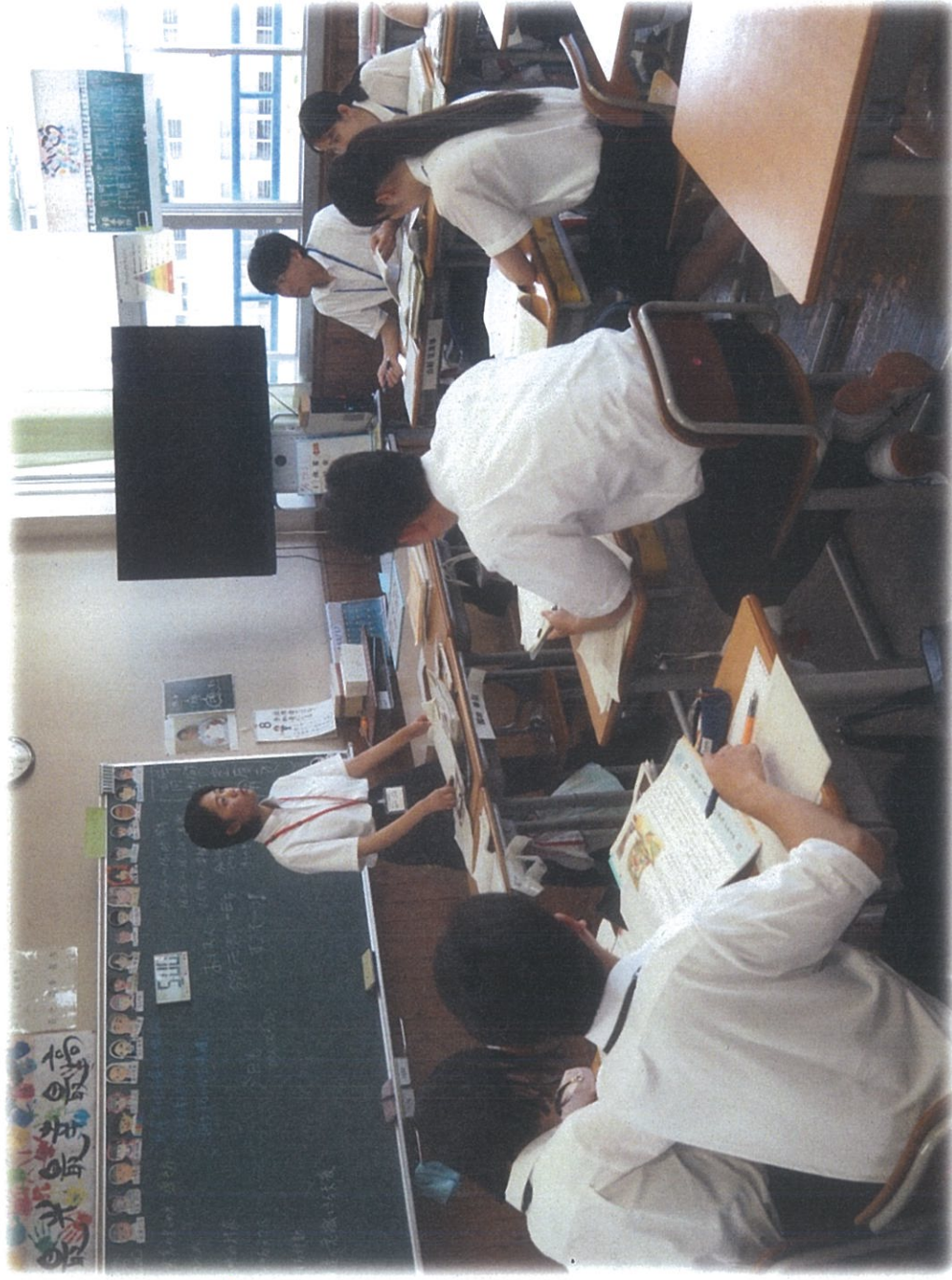
子供とのやり取りを楽しむ。一方的に話すのではなく会話を多くして授業を進める。時にはユーモアを交えることで、子供たちも楽しく取り組んでいた。



R7. 9. 8 中間集会の様子

気遣いのできる人に

朝、言われなくても自分の椅子だけでなく、仲間の分も協力して並べる。自分たちで必要なことを考えて動く、気遣いができる。社会人として、大切な力ですね。



R7. 9. 8 6年生学年研の様子

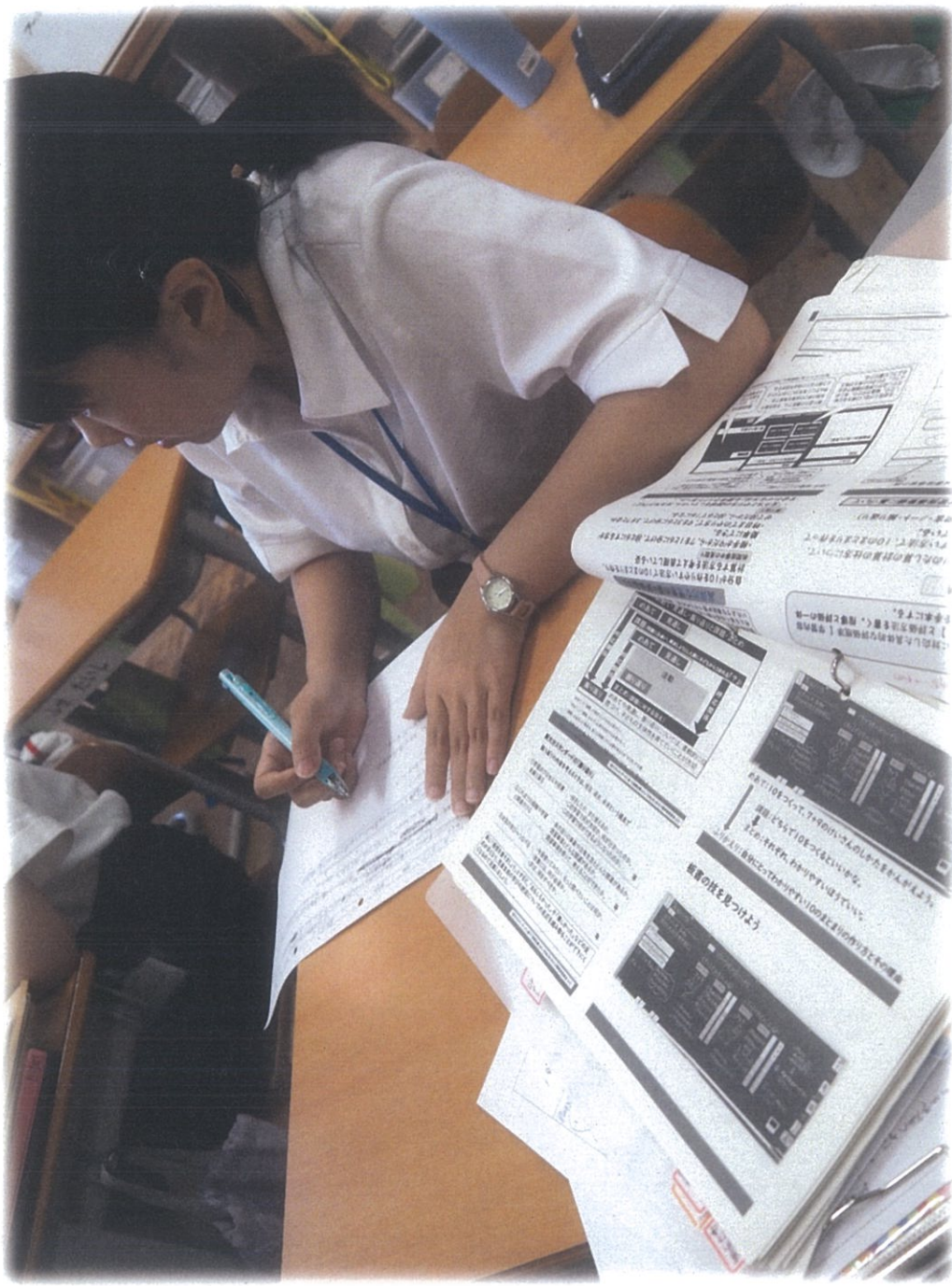
産みの苦しみ

学年授業研の道德の授業を学年部のメンバーで考える。どんな展開なら子供たちが、ねらいに近付いていけるのか？難しくて苦しいけれど大切な時間。



FINITON

真剣に子供たちに向きあい、授業をする
姿が輝いている。一生懸命に挑戦するこ
とに限界はない。たくさんの経験をする
ことが、実習でしかできない学びに。



R7. 9. 8 4年生学年研の様子

素直な心は成長への近道

教材研究で、事前研修や講義でもらった資料を読み返す。朝の中間集会で話題にしたことを早速やってみる。素直な心は成長への近道。



R7. 9. 9 朝の会の様子

短期目標の提示

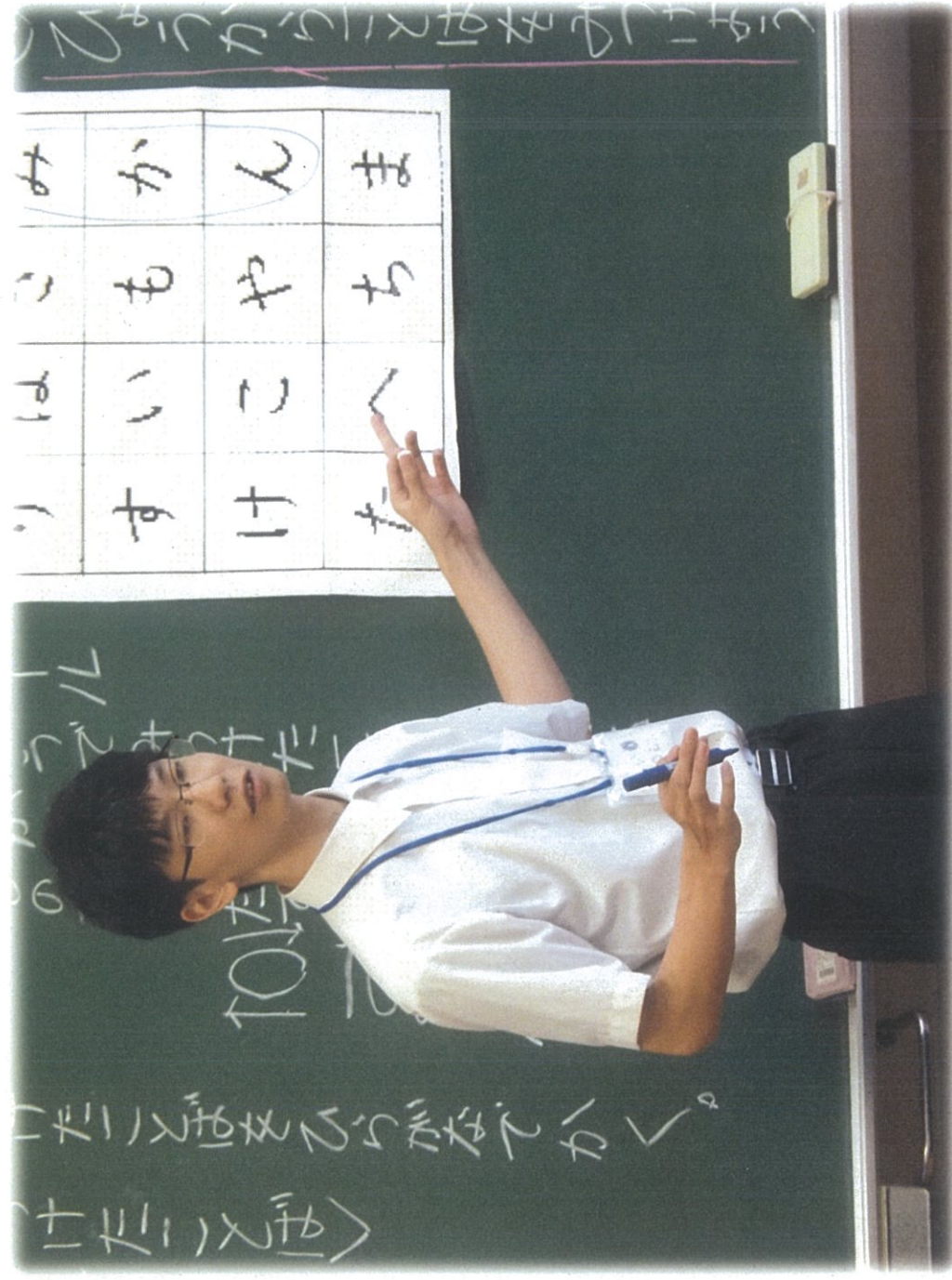
前日の学年集会や朝の会の様子から、今日の課題を子供たちに提示する。朝、子供たちの実態を踏まえて何か一つ、今日のがんばるポイントを伝える。



R7. 9. 9 5分休みの様子

時間を有効に

教育実習の時間には限りがある。だからこそ時間を最大限有効に活用し、積極的に子供たちとのコミュニケーションを図り、自分から楽しい時間にしていく。



R7. 9. 9 | 年生授業の様子

確かな一歩

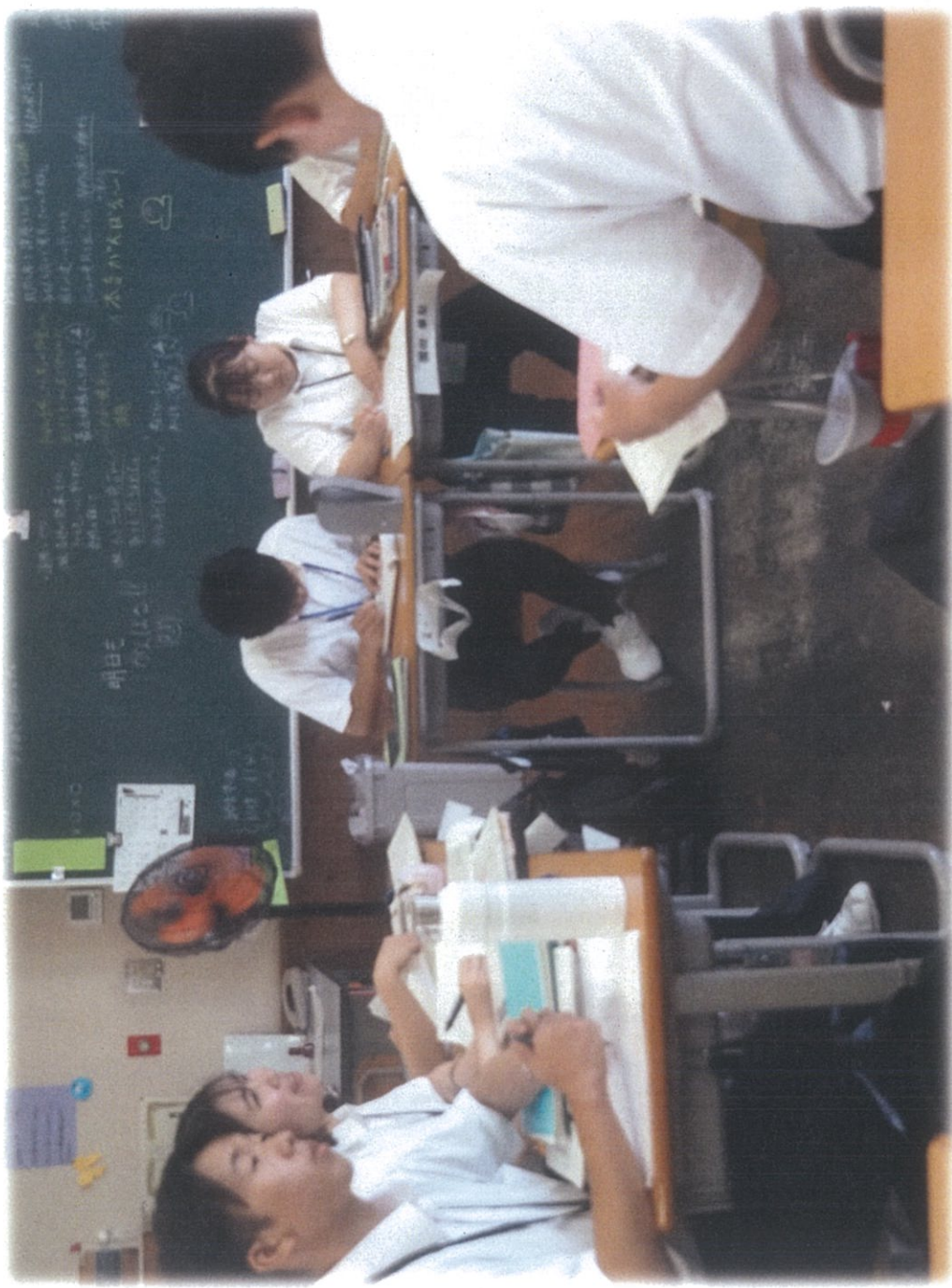
授業を繰り返す中で、自分の課題を見つけて、次の授業に生かす。一生懸命にやった経験の積み重ねが、確かな一歩につながっていますね。



R7. 9. 9 | 年生授業の様子

本気の見取り

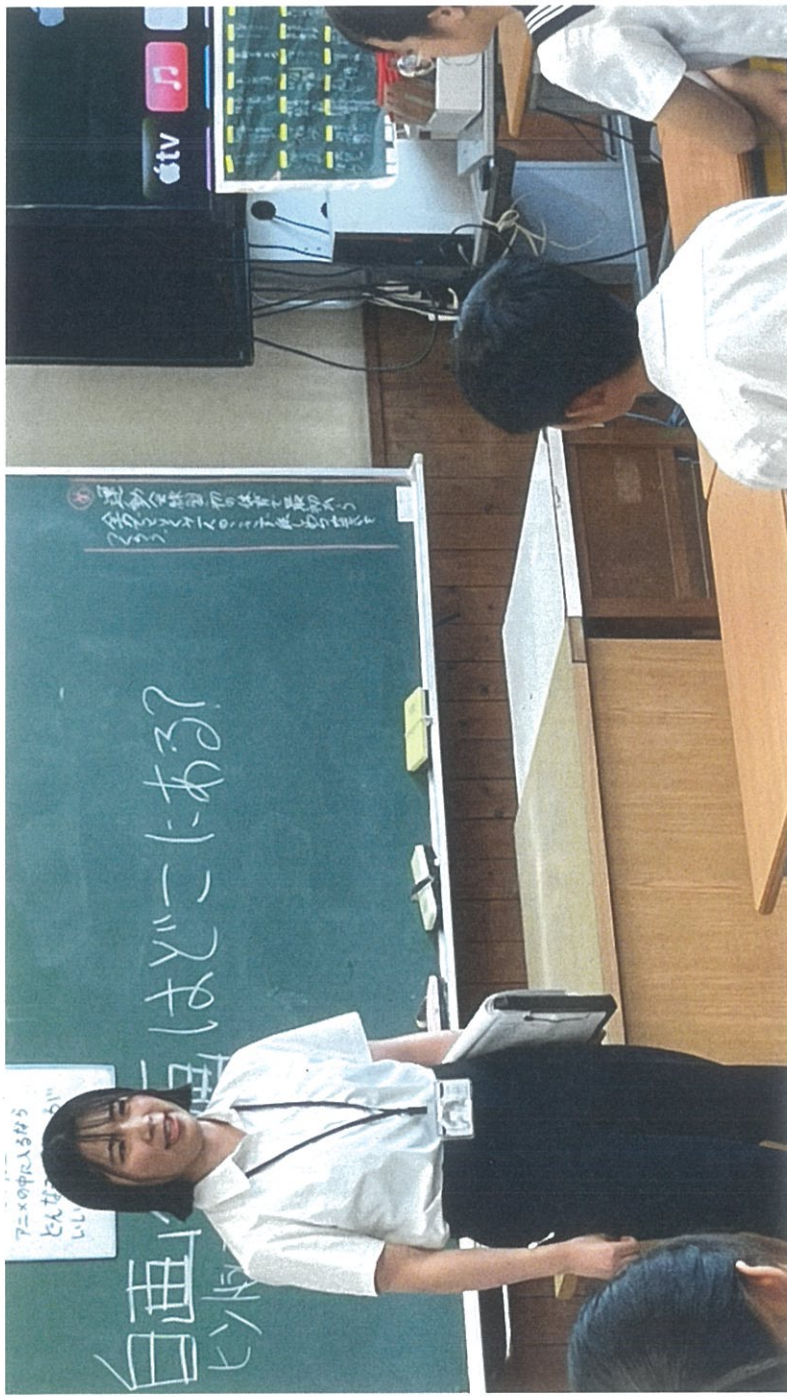
子供たちの言動を真剣に見取ろうと思っ
たら、自然と子供の側に寄って、目線も下
がるものです。本気で見取れば、新たな気
付きが生まれるでしょう。



R7. 9. 9 6年部学年研の様子

学びの伴走者

教師がやりたいことで「教え導く」のではなく、子供の「学びを支える」。「**学びのフ**
アシリテーター」として授業を進める意識。これからの教師に必要なマインド。



日常に繋ぐ

「意識を持つだけではいけない」

「日頃の行動が大切」

等、児童の名前や言葉を生かしながら、大切にしてもらいたいことを朝の会で語っています。

朝の少ない時間に、短くメッセージやめあてを伝えてスタートする姿勢、素晴らしいです。



事実でほめる

事実（＝姿） でほめると、説得力が増します。ほめられた児童も、周りの児童も「そういう行動がいいんだ！」と次の行動に繋ぐことができます。しっかりと見取って、

事実（＝姿） でほめましょう！



エピソードを語る

予告なし避難訓練の振り返りの際に、児童の実態を価値づけるだけでなく、自分の経験（熊本地震）を語ることで、児童の関心を惹きつけていました。**子供たちは先生のエピソード好きですよ。**



R7. 9. 9

給食指導の様子

気配り、目配り

移動教室や給食を取りに行く時は、時々後ろを振り返って歩く。子どもたちの安全に気配り、目配りをして、声をかけして確認する安全配慮が必要。



R7. 9. 9 3年生学年研の様子

練る 練る 練る

授業に向けて、仲間と相談をしながら、何
度も指導案を作り直す。指導案はベテラ
ンの教師でも何度も書き直すものです。
練って、練って、練り上げてください。



R7. 9. 9 4年生授業の様子

元気ハツラツ

よく通る声でハキハキとしやべる。明るく元気いっぱい子供たちに接する姿勢は、気持ちのよいものです。子供たちが授業に取り組む意欲にも関わってきます。



R7. 9. 9 5年生授業後の様子

学び合う

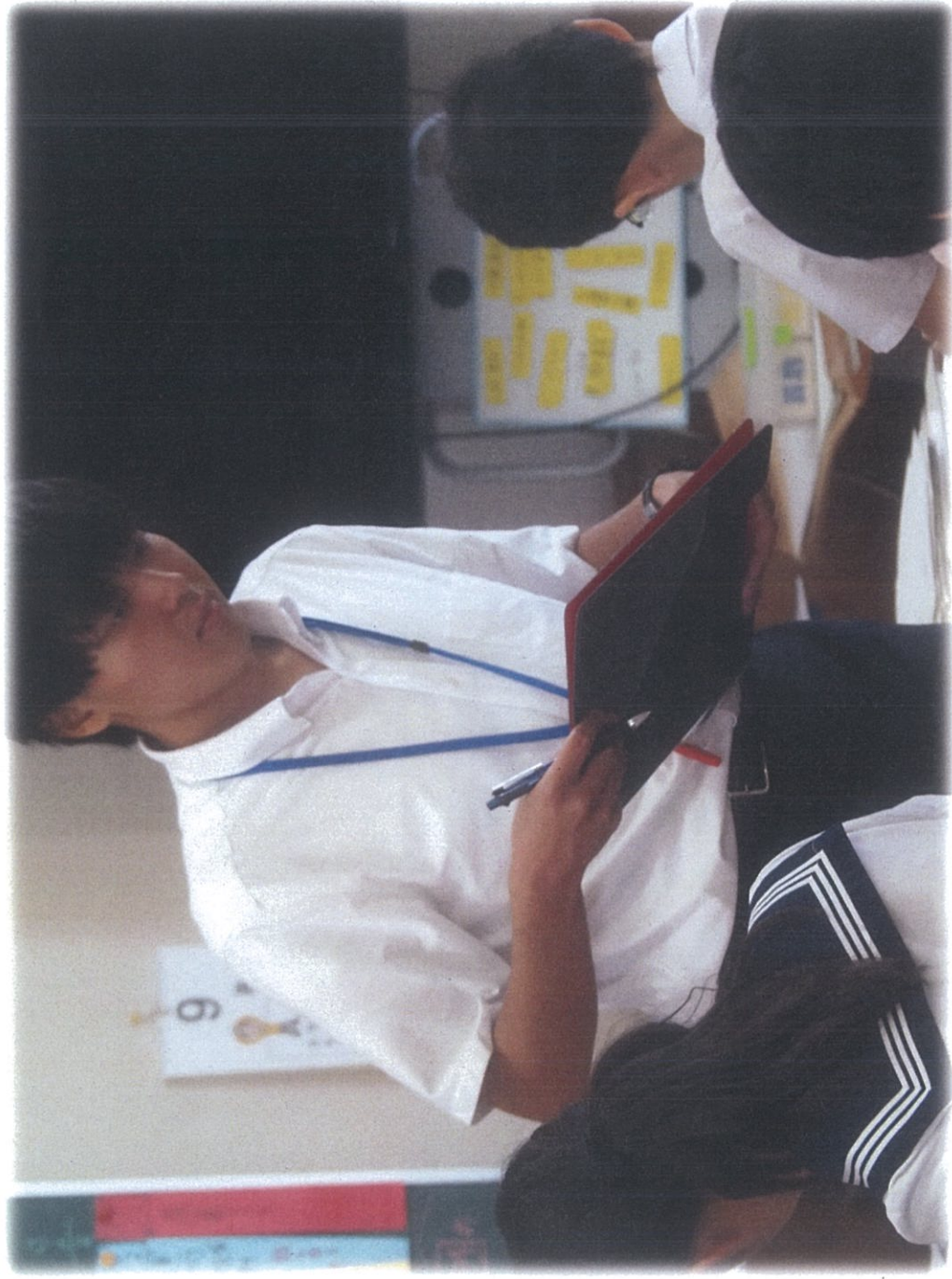
他学年の授業参観をした後、授業内容や児童の様子について、授業学年部の実習生に質問をする。強い好奇心で学ぼうとする意欲の高さを感じる。



R7. 9. 9 中休みの様子

大人気なく遊ぶ

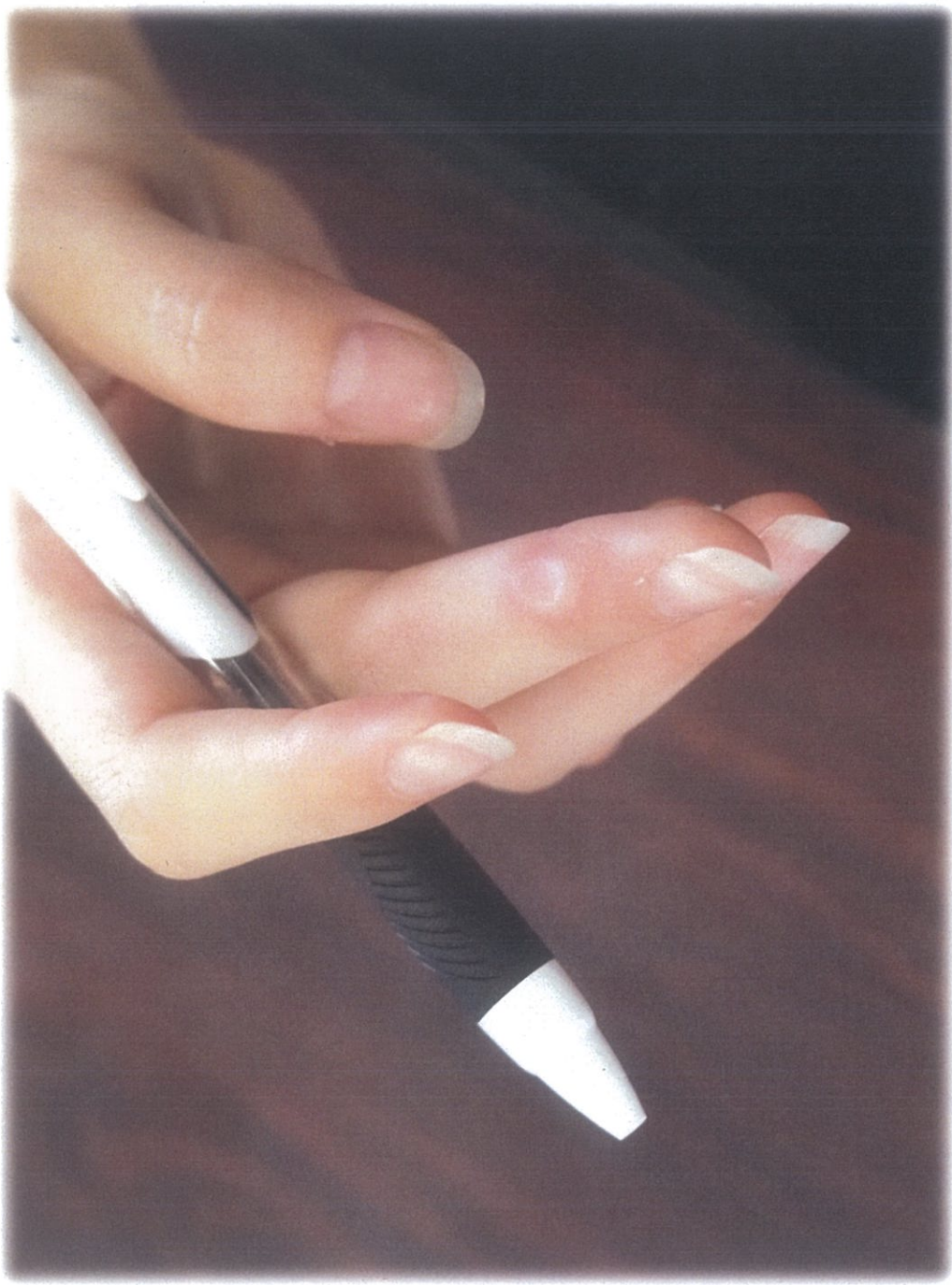
子供は一緒に遊ぶ先生が大好きです。時には、大人気なく全力で子供たちと遊んでみましょう。子供とのつながりも深まり、児童理解も進みますよ。



R7. 9. 9 6年生授業の様子

血となり肉となる

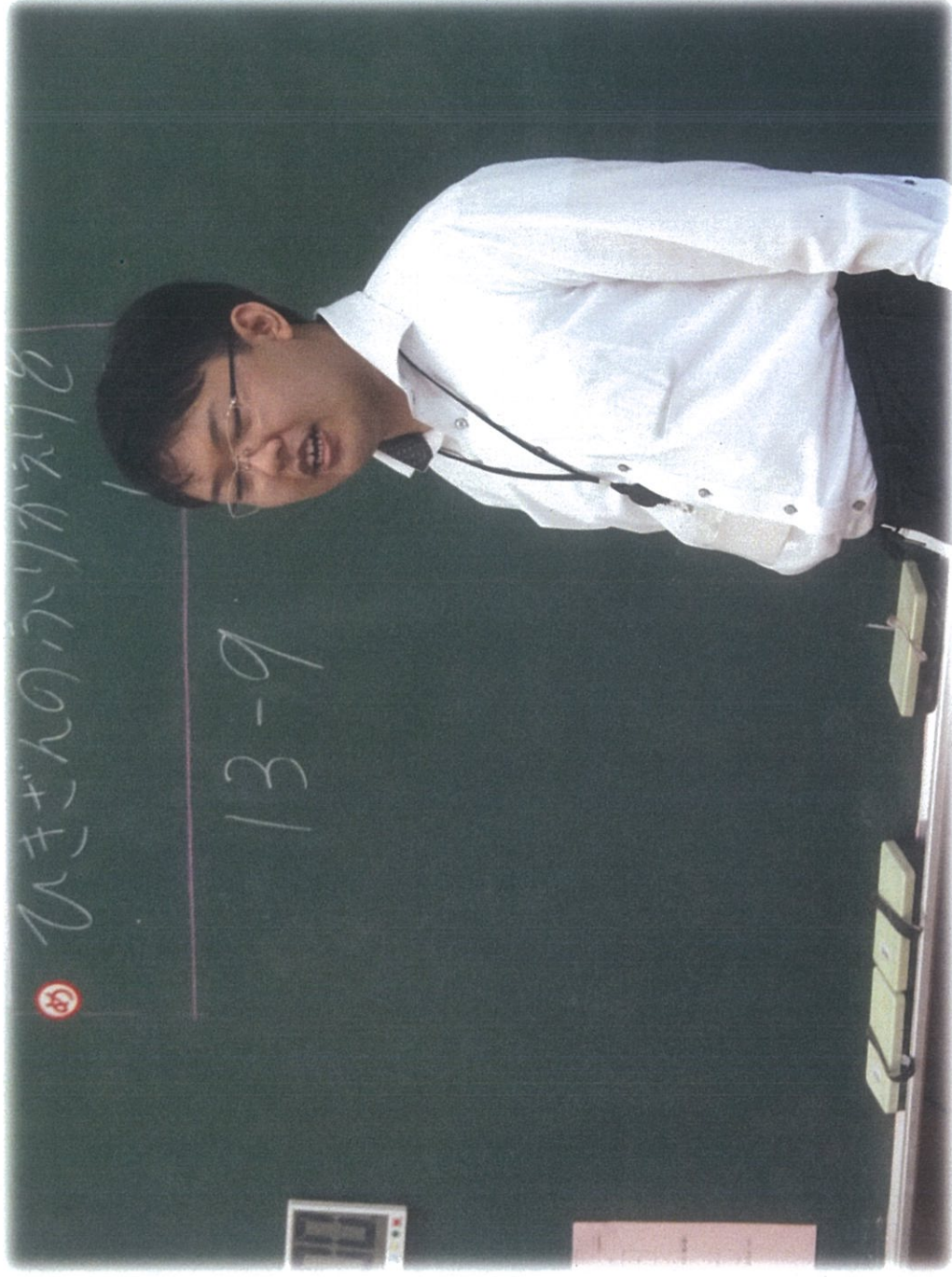
観察実習から本実習へ取り組んできたことが、全て自分の力になっている。成功と失敗を繰り返しながら確実に成長へとつながっている。



R7. 9. 9 3年部学年研の様子

指に残る真剣記録の跡

熱心に毎日、授業記録をとり続ける。気が付けば、手に「タコ」ができている。一生懸命に子供や先生の授業での姿を追っていった証拠が残っている。



R7. 9. 9 | 1年生授業の様子

Iメッセージ

子供たちのよさを認めて価値付ける時に、「先生はうれしい」等、「私」を主語にした「Iメッセージ」で伝えることも、子供を大切にしたコミュニケーション。



R7. 9. 9 4年生休み時間の様子

休み時間こそ児童理解のチャンス

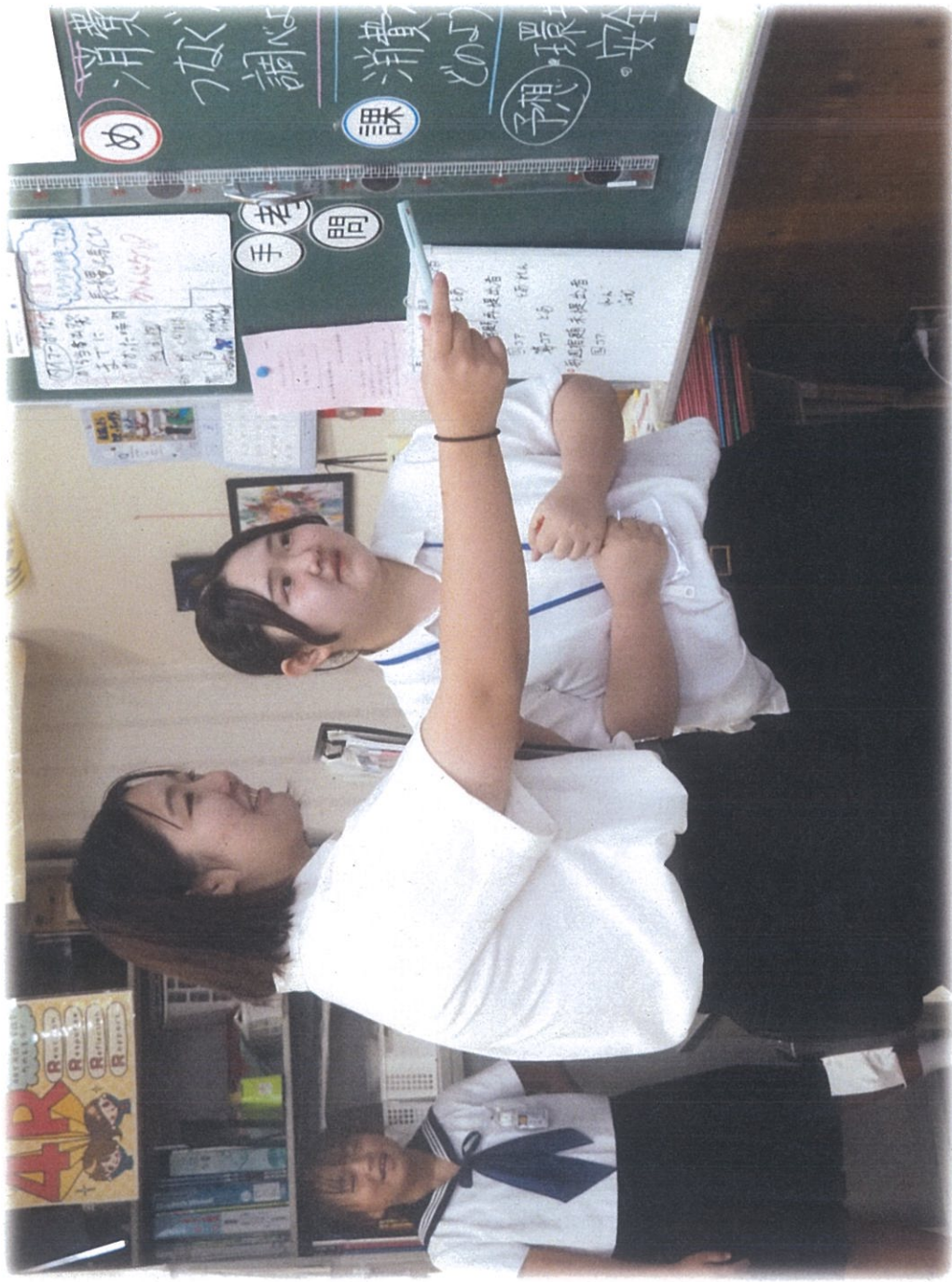
休み時間は、子供たちもリラックスしている。この時間が一番児童理解のチャンス。積極的に関わって、コミュニケーションを楽しもう！



R7. 9. 9 2年生授業の様子

Step by Step

授業観察や教材研究、授業実践を通して、
一步一步、着実に授業力は付いている。焦
らずしっかりと自信を持って、これから
も最後まで挑戦を続けよう。



R7. 9. 10 5年生授業後の様子

Reflection

授業後、すぐに一緒に教材研究をした仲間
間の授業について語り合う。よりよい授
業にしようとするお互いの学びへの意欲
があふれていた。



R7. 9. 10 | 年生授業の様子

しらしんけん

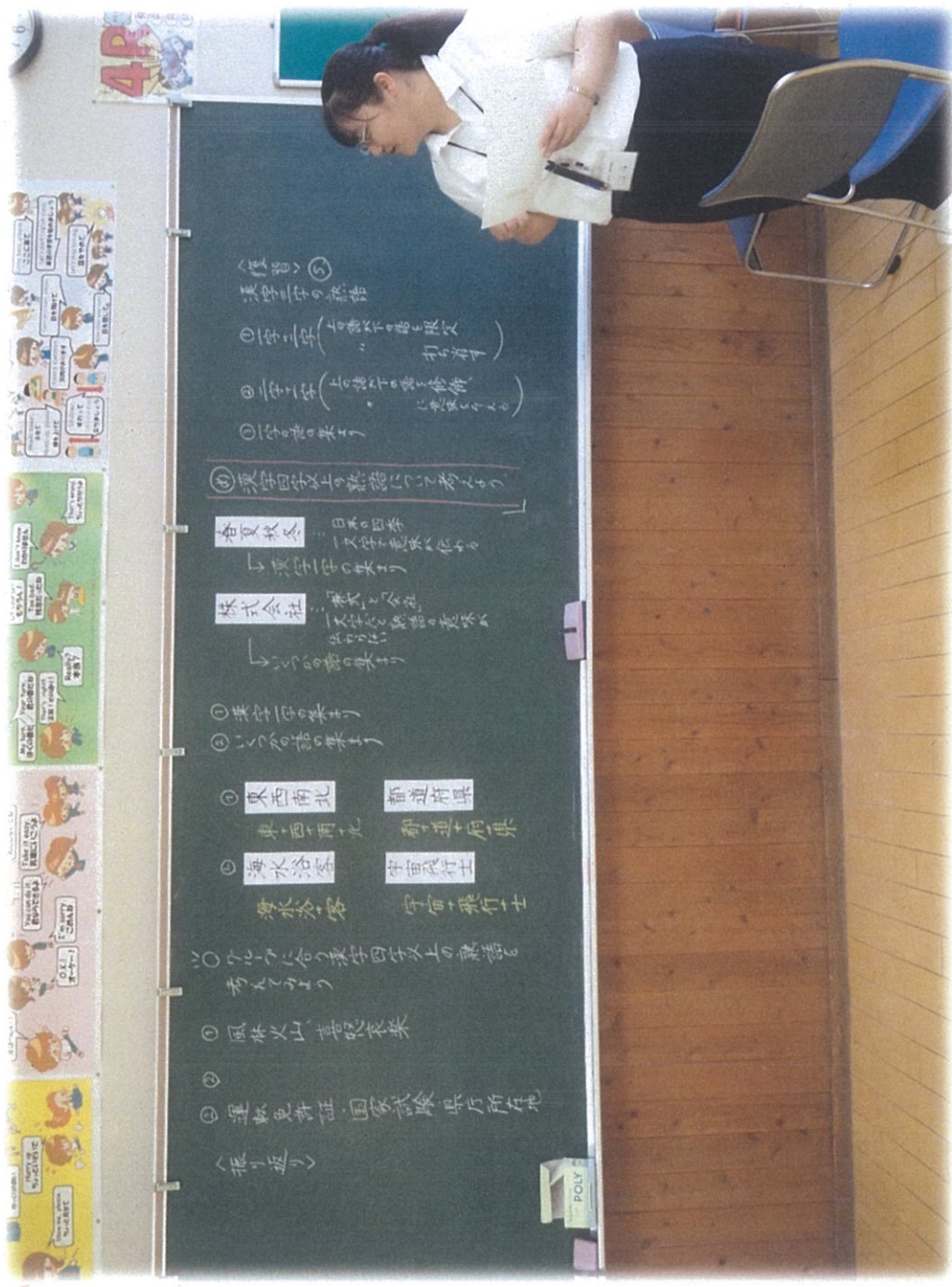
これまでの実習で学んだことを全力で発揮する。子供の側に寄り添い、話を聴いて見取ろうとする姿の、しらしんけんさ。子供を大事にしようとする心の現れです。



R7. 9. 10 2年生授業の様子

非言語で伝える

授業中の子供とのコミュニケーションにジェスチャーを使う。言葉だけでは伝わりにくいことも子供には分かりやすくなる。非言語の力を積極的に活用している。



R7. 9. 10 6年生教材研究

板書計画

授業に向けて、板書練習をする。字の大きさ、色、配置、書く内容を実際の黒板で試す。子供たちが分かりやすいことを意識して準備をしています。



R7. 9. 10

5年生授業の様子

全力授業

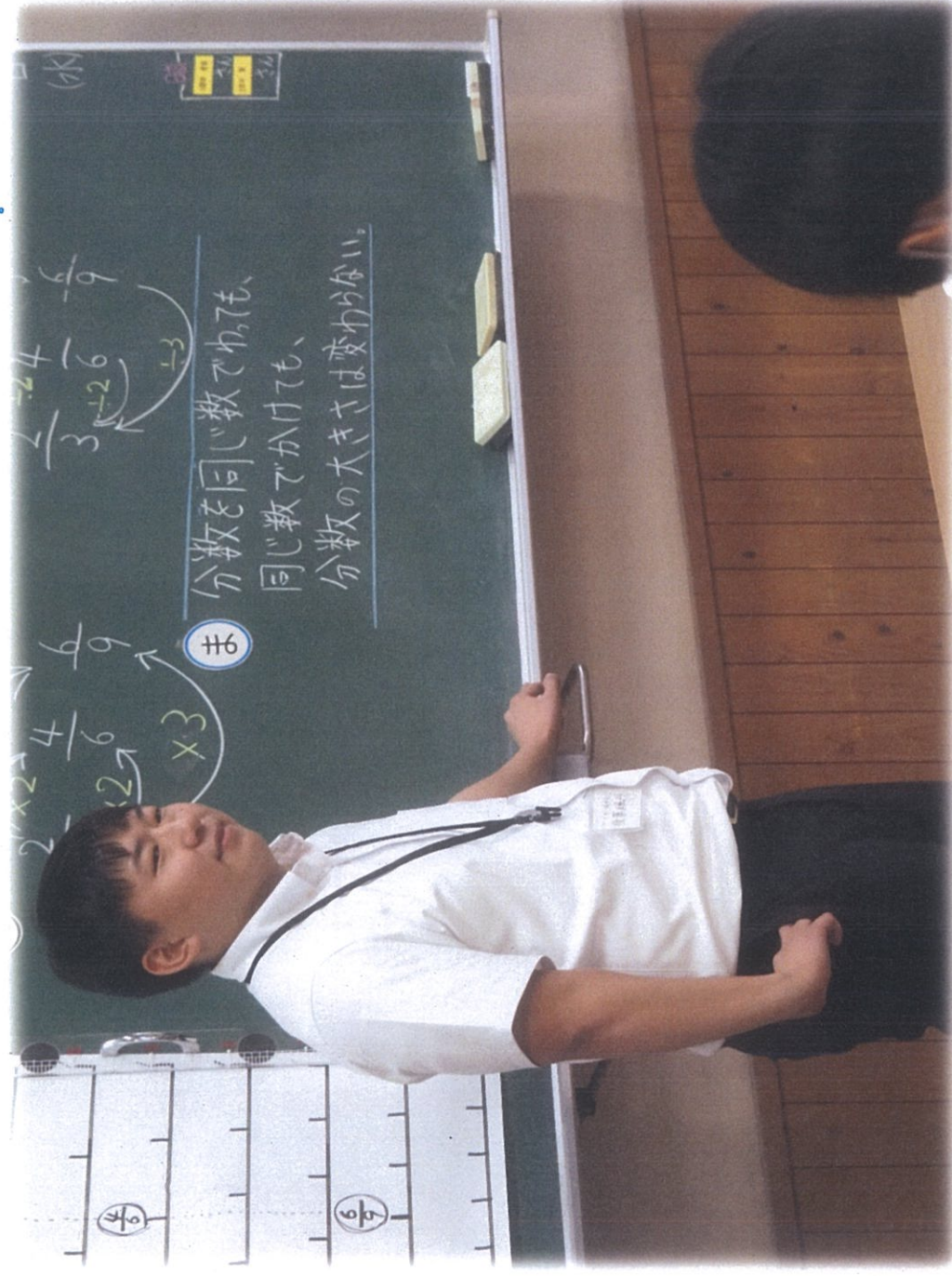
これまでの授業経験を生かし、子供の様子を確認したり子供の発言から授業を進めたりする。今、自分の持てる力を最大限発揮した全力の授業。



R7. 9. 10 6年生授業の様子

既習を生かして

三字以上の漢字を組み合わせた熟語の構成について、前時に学習した三字の熟語の構成を生かして考える。既習の内容とのつながりを意識した授業展開。



R7. 9. 10 5年生授業の様子

成功も失敗も糧に

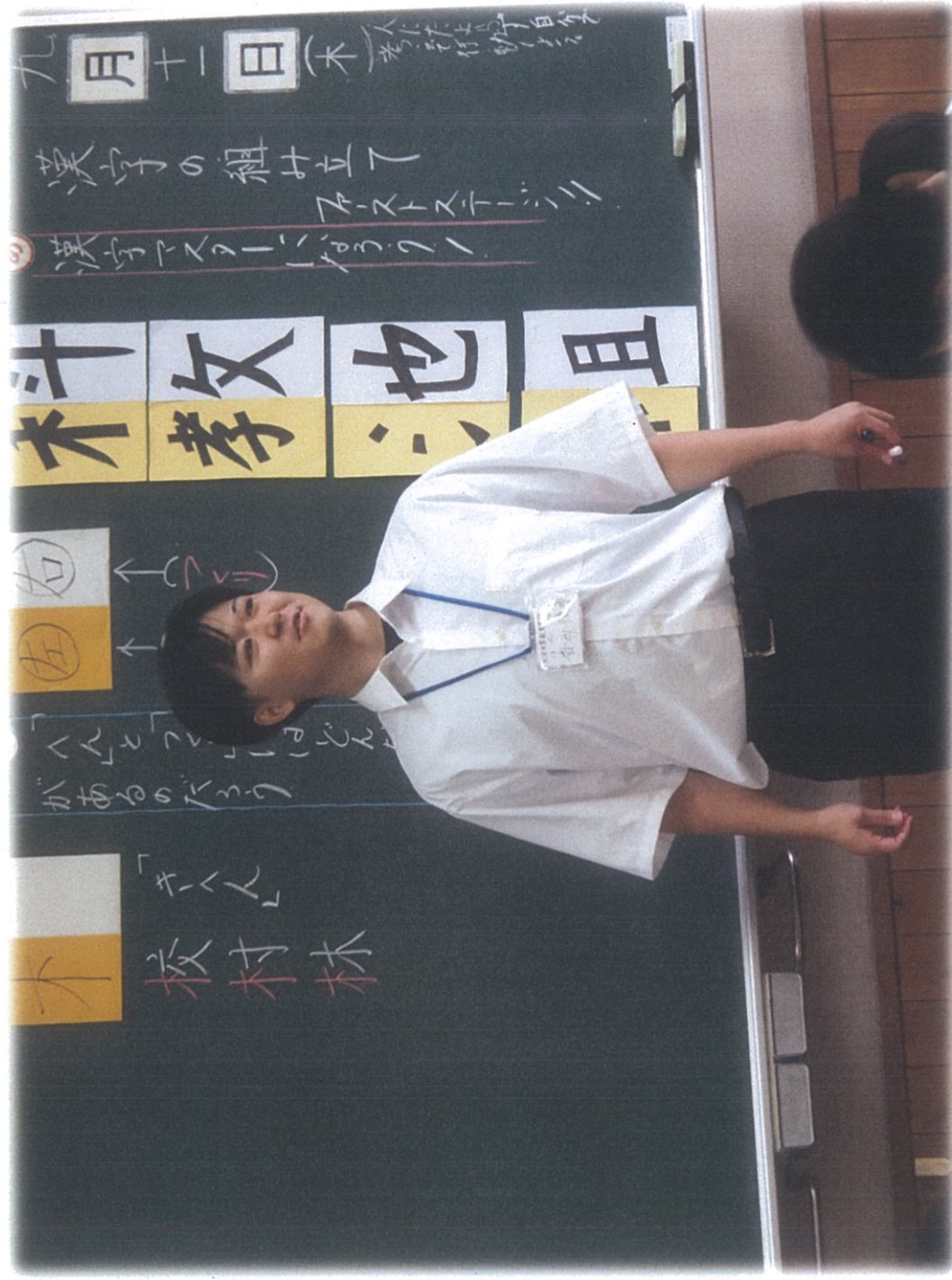
授業をして、うまくいったこと、いかなかったことに自分で気付くことが大切。全てが糧になり、次の授業改善に間違いなく生きてくるでしょう。



R7. 9. 11 予告なし避難訓練

安全を見取る

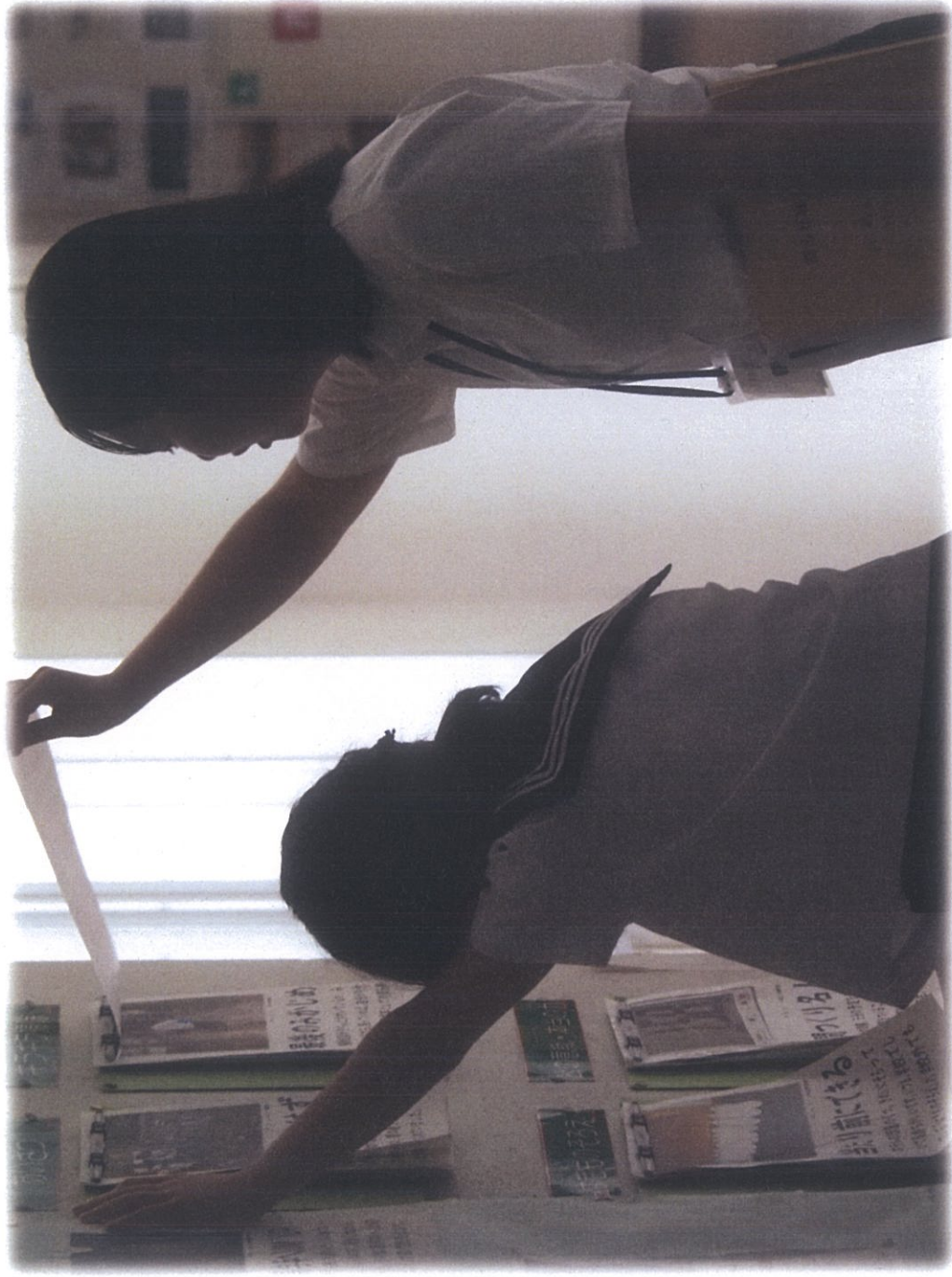
予告なし避難訓練。突然の災害発生に、これまで学習した「命を守る行動」ができて
いるかを見取る。子供の命を守ることを
考えておくことも教師の大切な使命。



R7. 9. 11 3年生授業の様子

Step Up

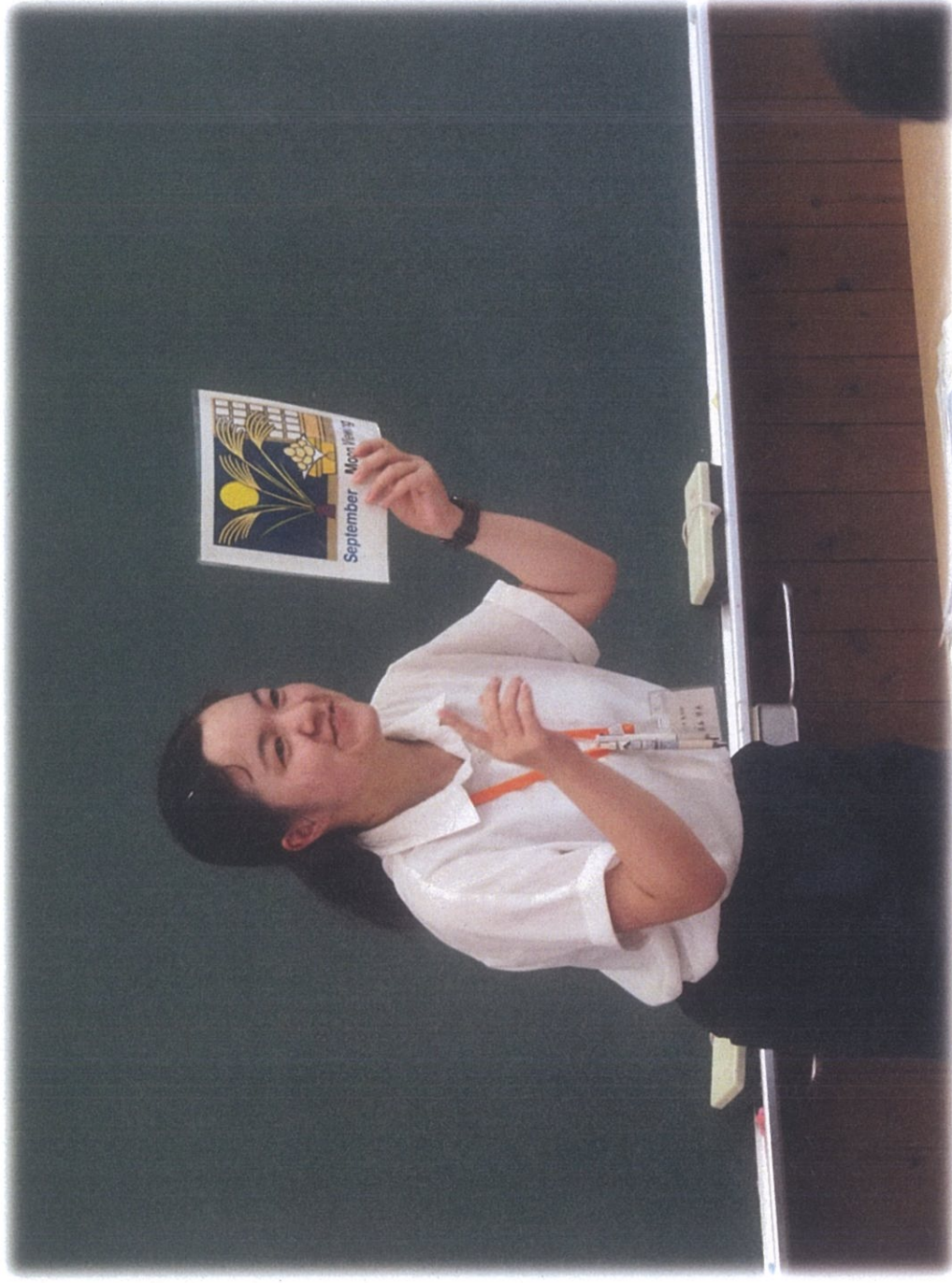
毎日の授業観察や授業実践、教材研究、振り返りを繰り返す中で、授業をすることへの自信を深めていく。教育実習でしかできない大切な経験の積み上げ。



R7. 9. 11 中休みの様子

好奇心ハズ

教室や廊下に貼られている価値語を読む。好奇心を持つことは、学びの意欲の第一歩。価値語を学ぶことは、自分が学級経営をする時の参考に絶対になる。



R7. 9. 11 2年生グローバルタイムの様

専門性を生かす

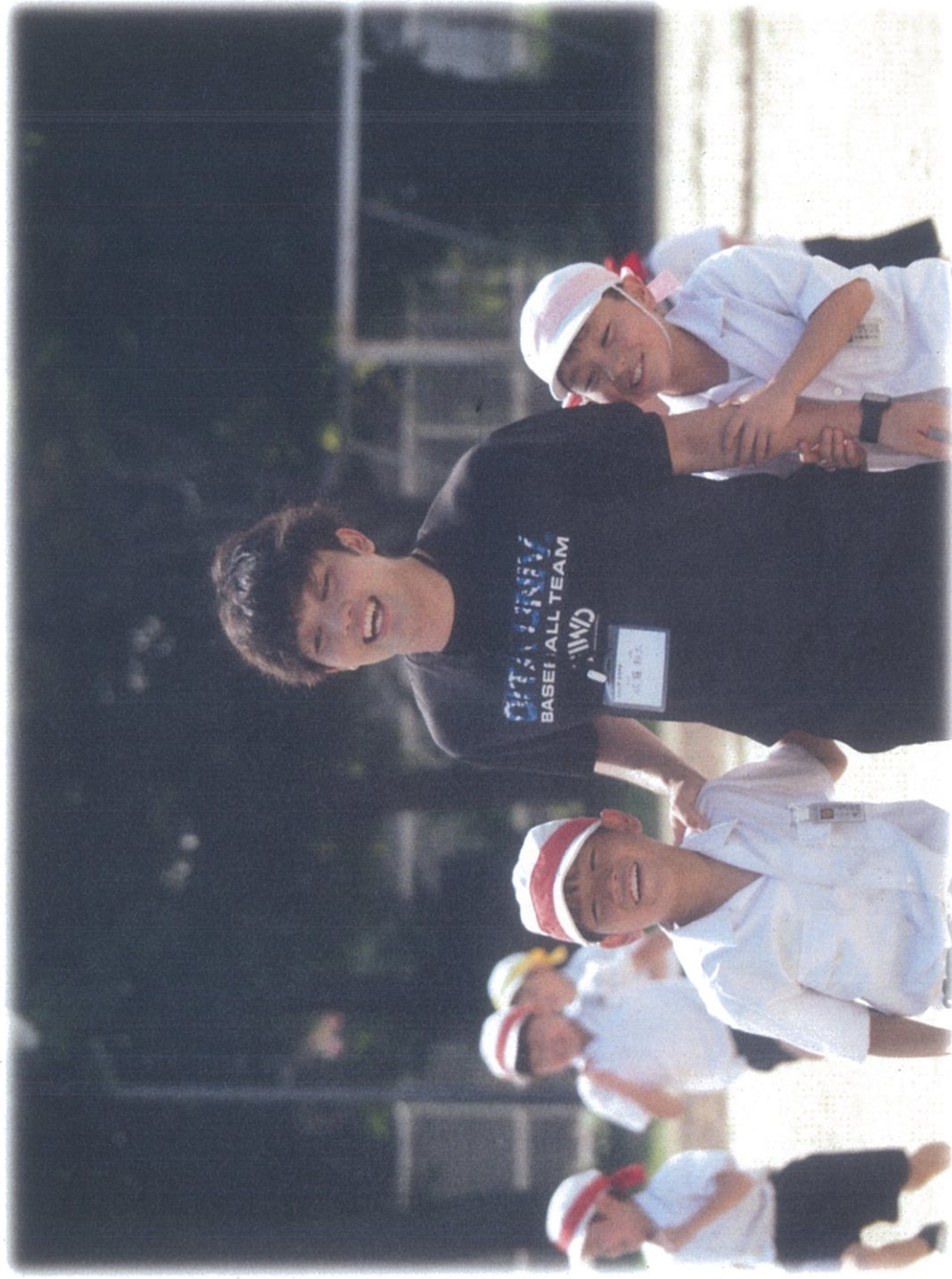
大学で学んできた英語を使って積極的に
グローバルタイムで授業をする。自分の
専門性を発揮するナイスなチャレンジで
す。



R7. 9. 11 2年生朝の会の様子

1枚の写真の力

フリートークでのよかった姿を見童に価値づける。写真をモニターに映すことで、具体的な様子が分かりやすく伝わる。ICTのよさをよく理解できている。



R7. 9. 11 中休みの様子

心の距離を縮める

休み時間、子供たちと一緒に遊ぶ。楽しい時間を共有することで、子供たちとの心の距離はグンと縮まります。積極的にどんどん遊んでいきましょう。

とまりからいくいさんを
いできるよになるう。

$$13-9=4$$

9

こと

①ハニ③

②

とまりから **9** いた
をあわせて **4**



R7. 9. 11 | 1年生授業の様子

Never Give up

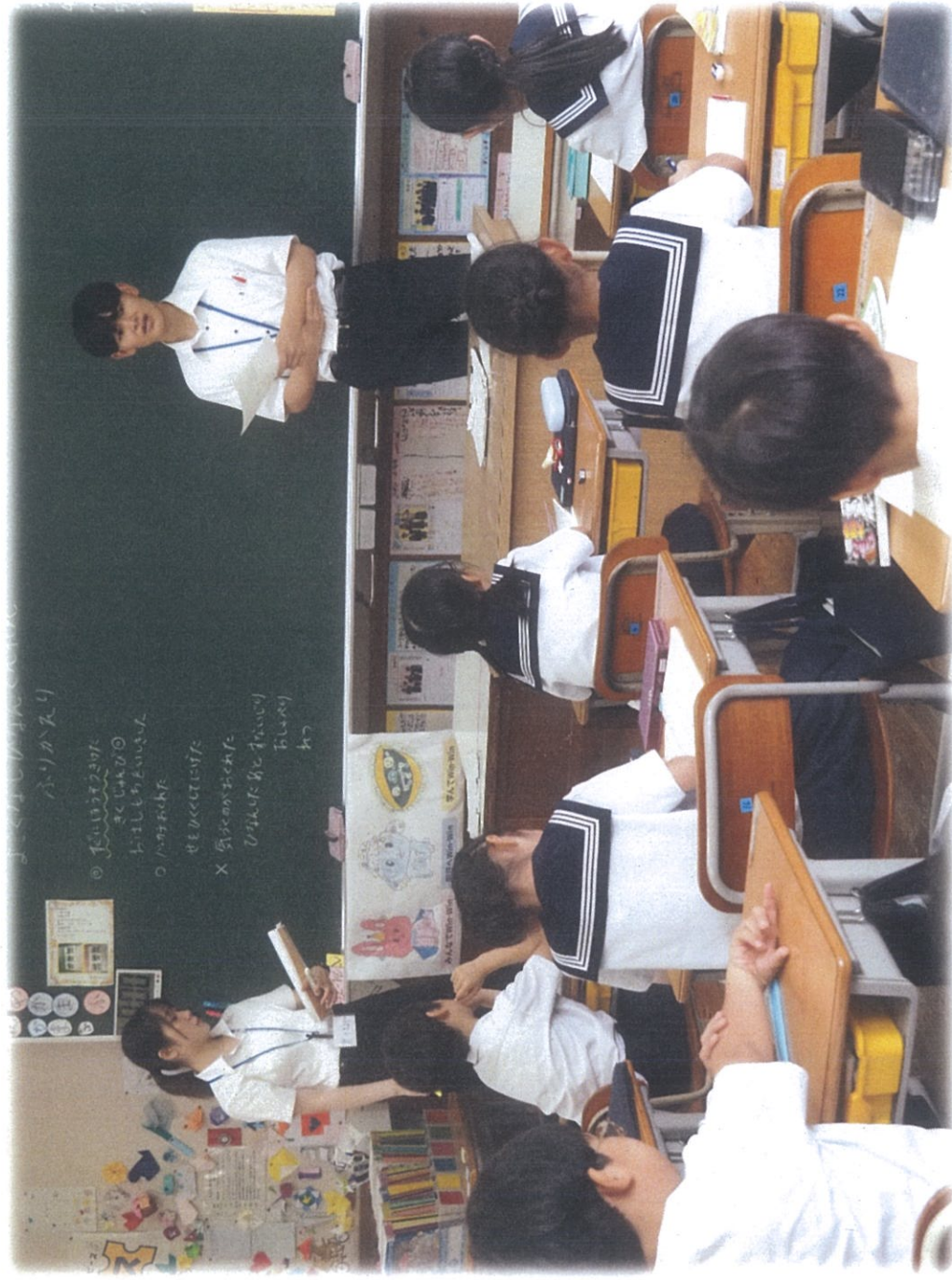
授業がうまくいかなかったと感じた時ど
うするのか？諦めずにすぐに再チャレン
ジの希望を伝えてする。結果でなく過程
が一番大事！今できることを最大限に！



R7. 9. 11 5年生授業の様子

問い、返す

授業中に子供たちに何度も「何で？」と問い返していく。教師が多く説明をしなくても子供たち自身が理由を話してくれらる。授業を進める大切なキーワード。



R7. 9. 11 2年生予告なし避難訓練振り返りの様子

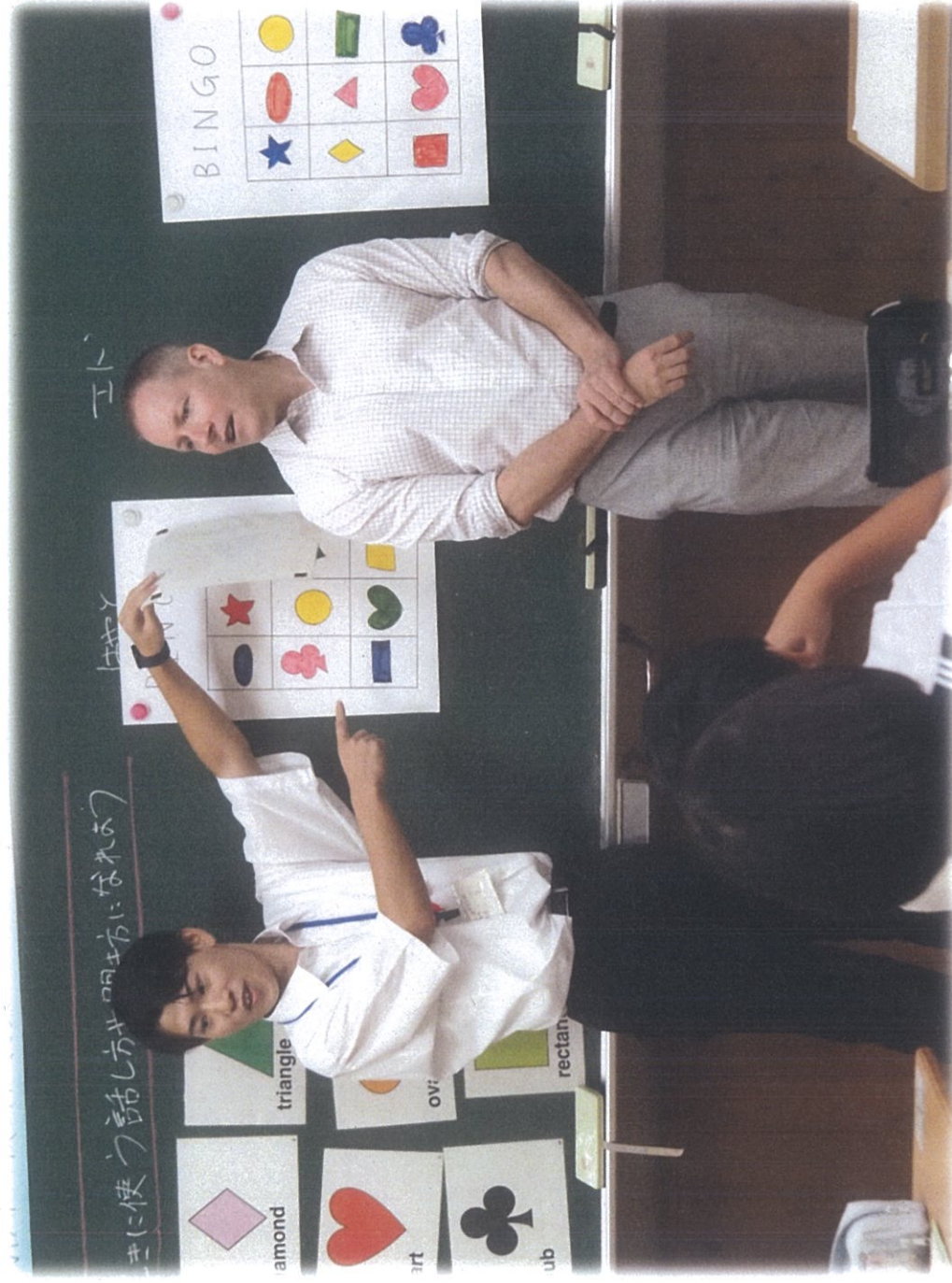
命を守る

子供たちが、自分で命を守るための行動ができたかを確認。命は何よりも大切なもの。日頃から安全に対する意識を高め、指導に生かせるようにしよう。



雙心考之の

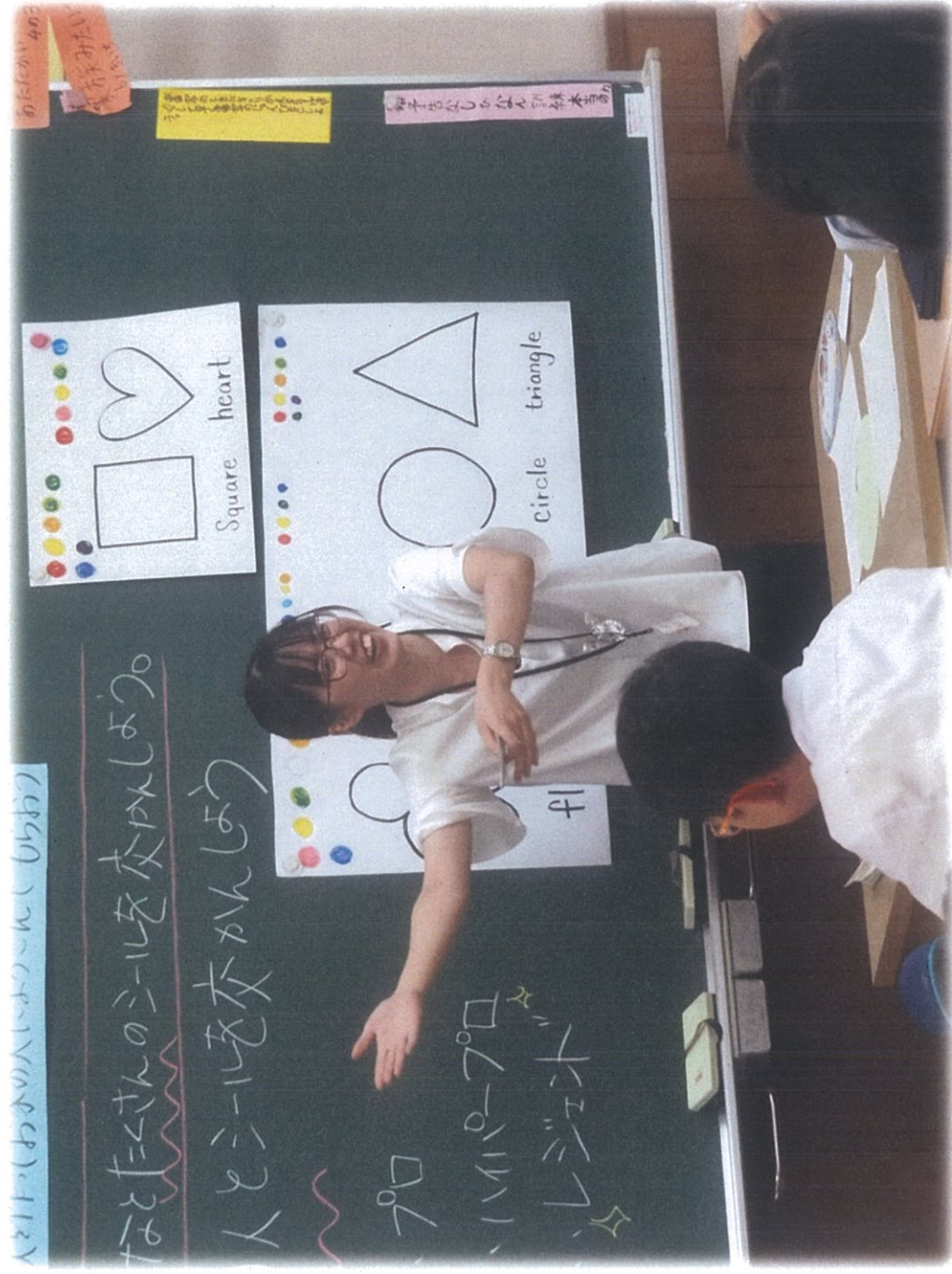
昨日と今日の問題の違いを見つけて、そこからめあてや課題を子供が考えていく。子供が主体的に課題解決に取り組むための重要なポイント。



R7. 9. 11 4年生授業の様子

デモンストレーション

実際にやり取りの様子をALTとやってみせる。目の前でやってみせることで、子供たちも、授業の中で使う Sentence などをつかみ、積極的なやり取りに。



R7. 9. 12 4年生授業の様子

Classroom English

外国語の授業では、積極的に Classroom English を使う。できるだけたくさんの英語に触れる機会を増やす。まずは教師が使って子供たちのお手本になる。



R7. 9. 12 3年生フリートーク

見取り忍者

フリートークでの教室の様子。3人の実習生はどこにいるでしょう？子供の中に完全に入り込んで見取りをしています。忍者のような見事な隠れっぶりですね。



R7. 9. 12 5年生朝の様子

同僚性

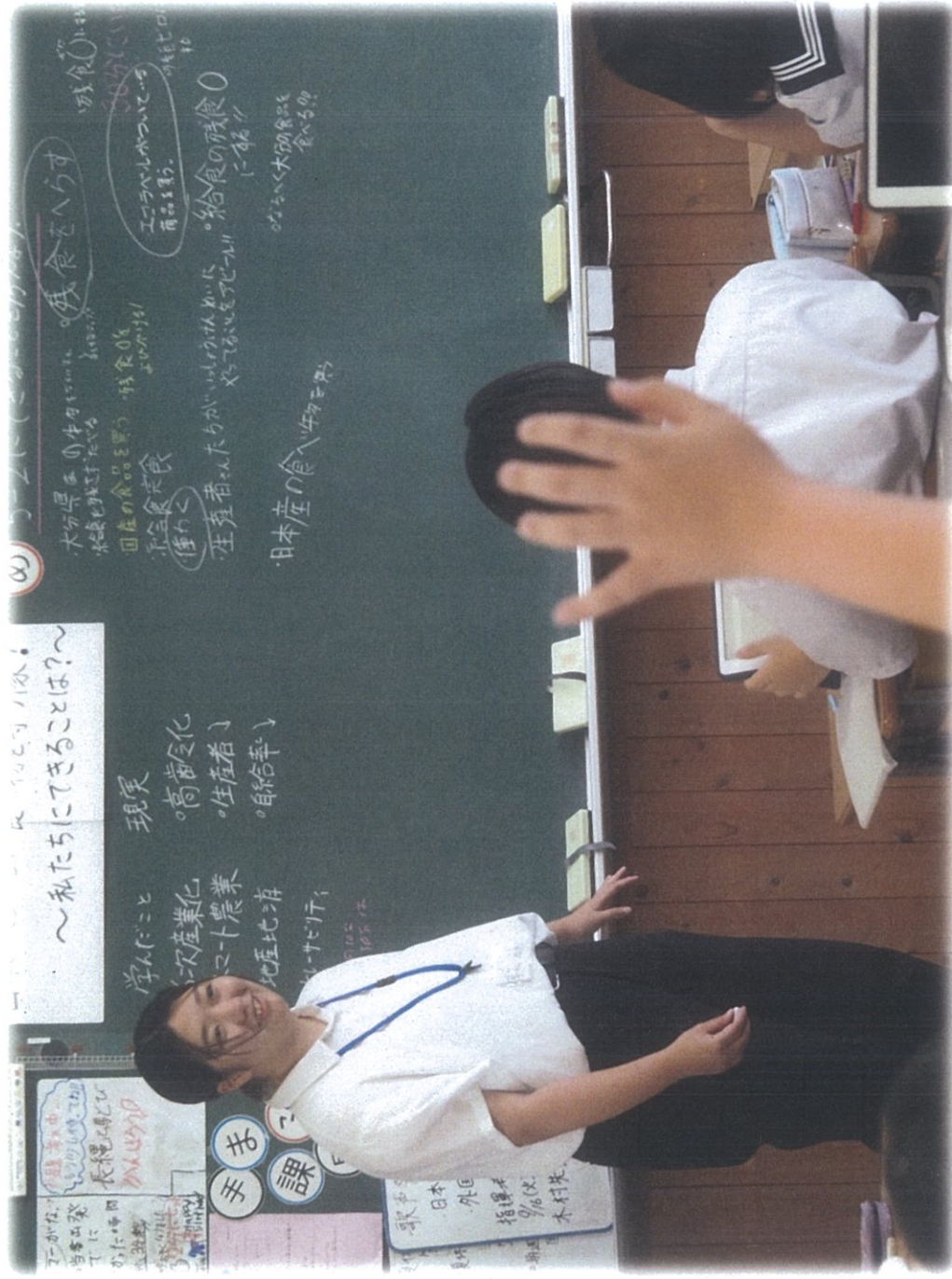
朝、予定や授業について、同じ学級配属の実習生同士で確認をする。実習生同士で相談をする姿に同僚性の高まりを感じる。1人で抱え込まないことが大切。



R7. 9. 12 6年生学年研の様子

発問の有効性

道徳の授業で一番に検討しないといけないのは、中心発問や補助発問、切り返しの発問の有効性や妥当性。子供の意見や姿から、どうだったのかを振り返る。



R7. 9. 12 5年生授業の様子

できることを最大限する

子供の前での授業は、教育実習中にしか出来ない。後悔のないよう、今できることを最大限する。その心意気が素晴らしい。重ねた努力は大きな自信として残る。



R7. 9. 12 1 年部学年会の様子

練り上げる

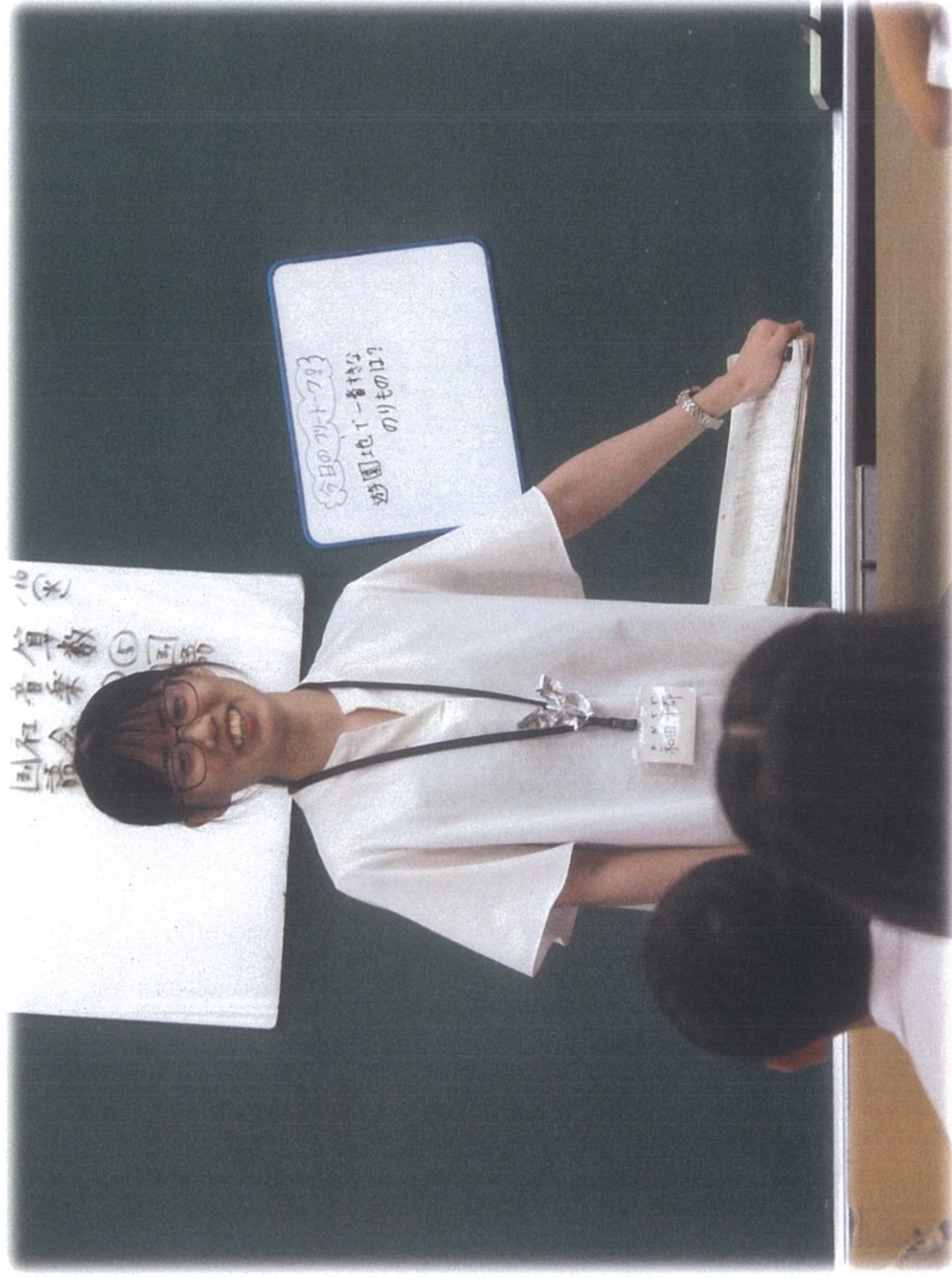
学年研に向けて、これまでのみんなの経験をつるに活用して、授業を練り上げていく。子供たちに付けたい力は何か？ゴールの姿を想像しながら。



R7. 9. 12 5年生授業の様子

みんなで考える

英語での表現方法。ひとりの子供の困りをみんなで考え、解決方法を導き出す。教師が教えるだけでなく、学び合う姿を見ることができました。



R7. 9. 12 4年生朝の会の様子

明朗快活

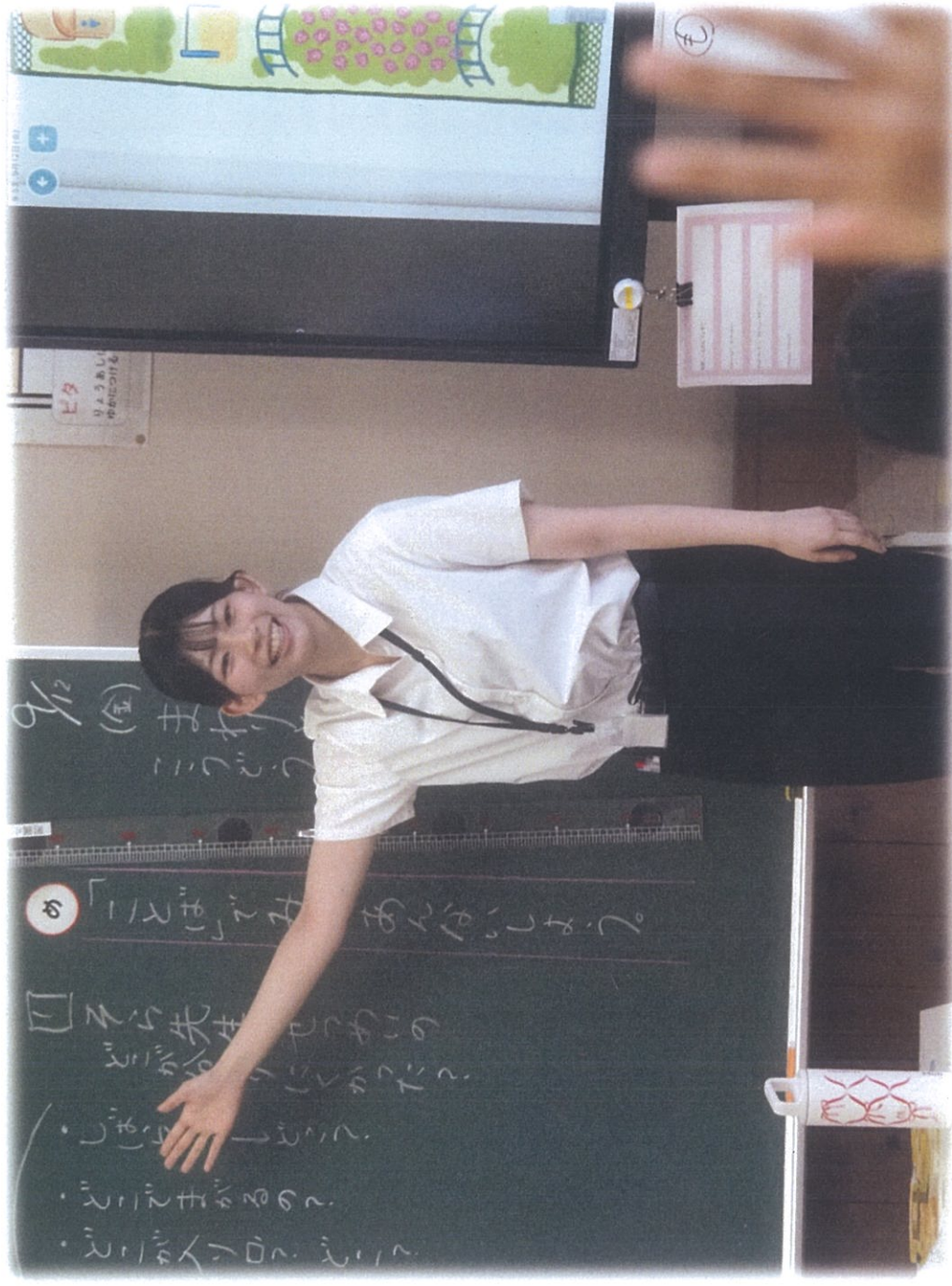
1日担任、朝の会で子供たちへ話をする。
元気いっぱい、に明るい笑顔で語り掛ける
ことで、一日を気持ちよくスタートでき
ます。朝の雰囲気作りは大事です。



R7. 9. 12 5年生授業の様子

具体物の操作

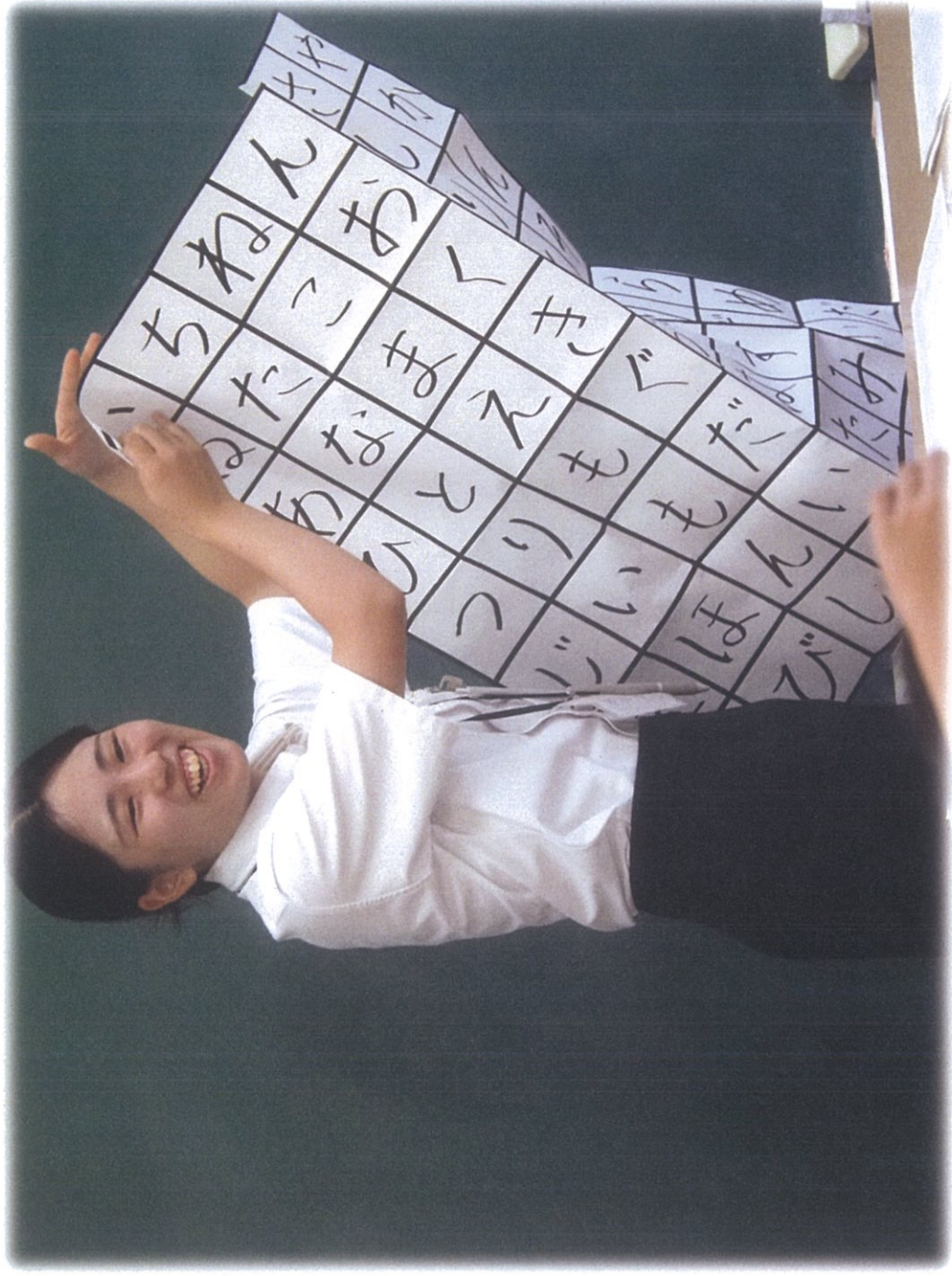
分数の量感をつかむことができるように、実際に具体物を操作して考える。面積図など抽象的な思考につなぐための有効な手立て。



R7. 9. 12 2年生授業の様子

元気な笑顔は潤滑油

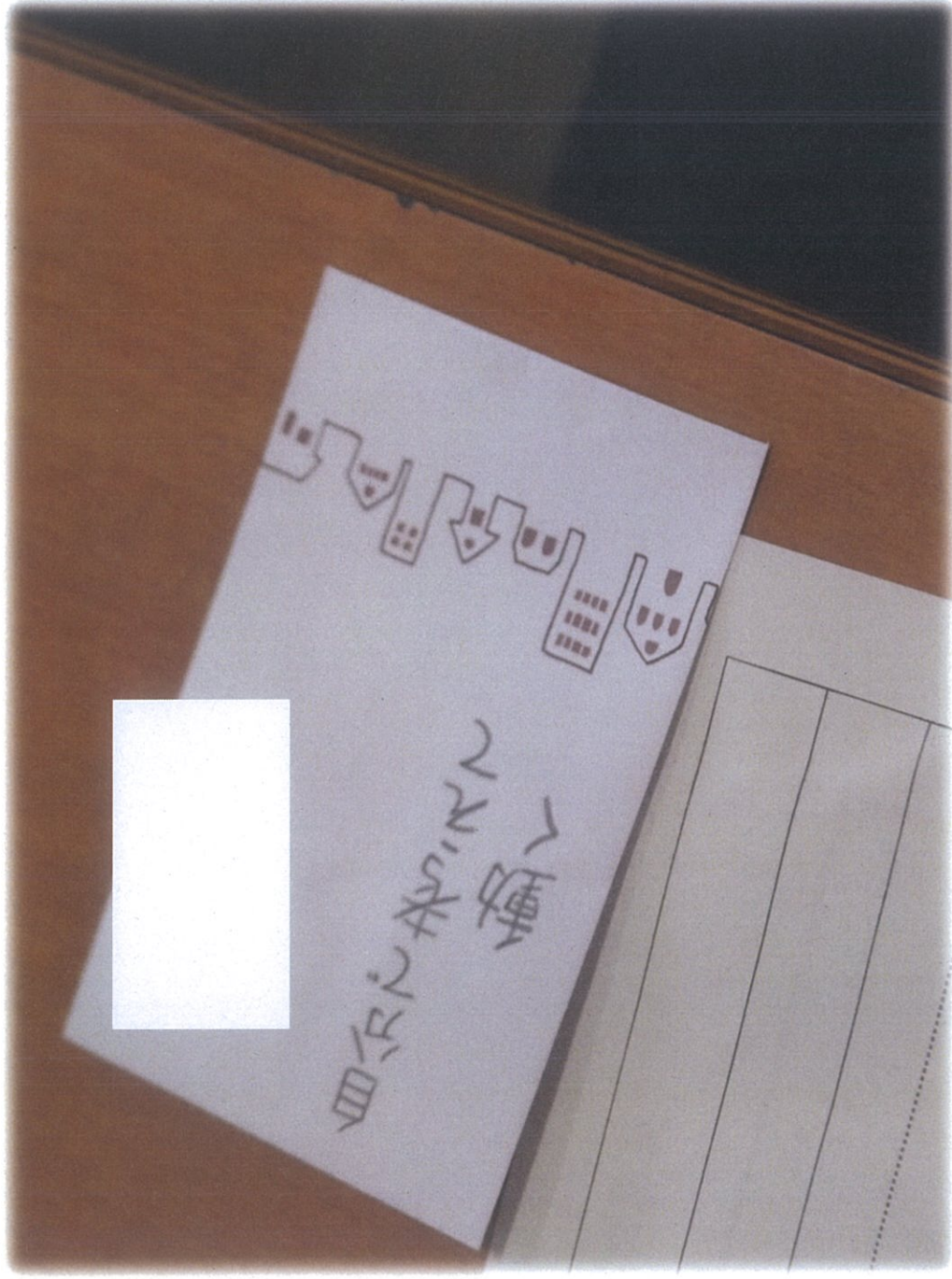
元気いっぱい笑顔で授業をする。先生が、楽しくしているので、子供たちも楽しく授業に取り組んでいました。積極的に問題に挑戦する意欲が湧いていました。



R7. 9. 12 1年生授業の様子

Smile

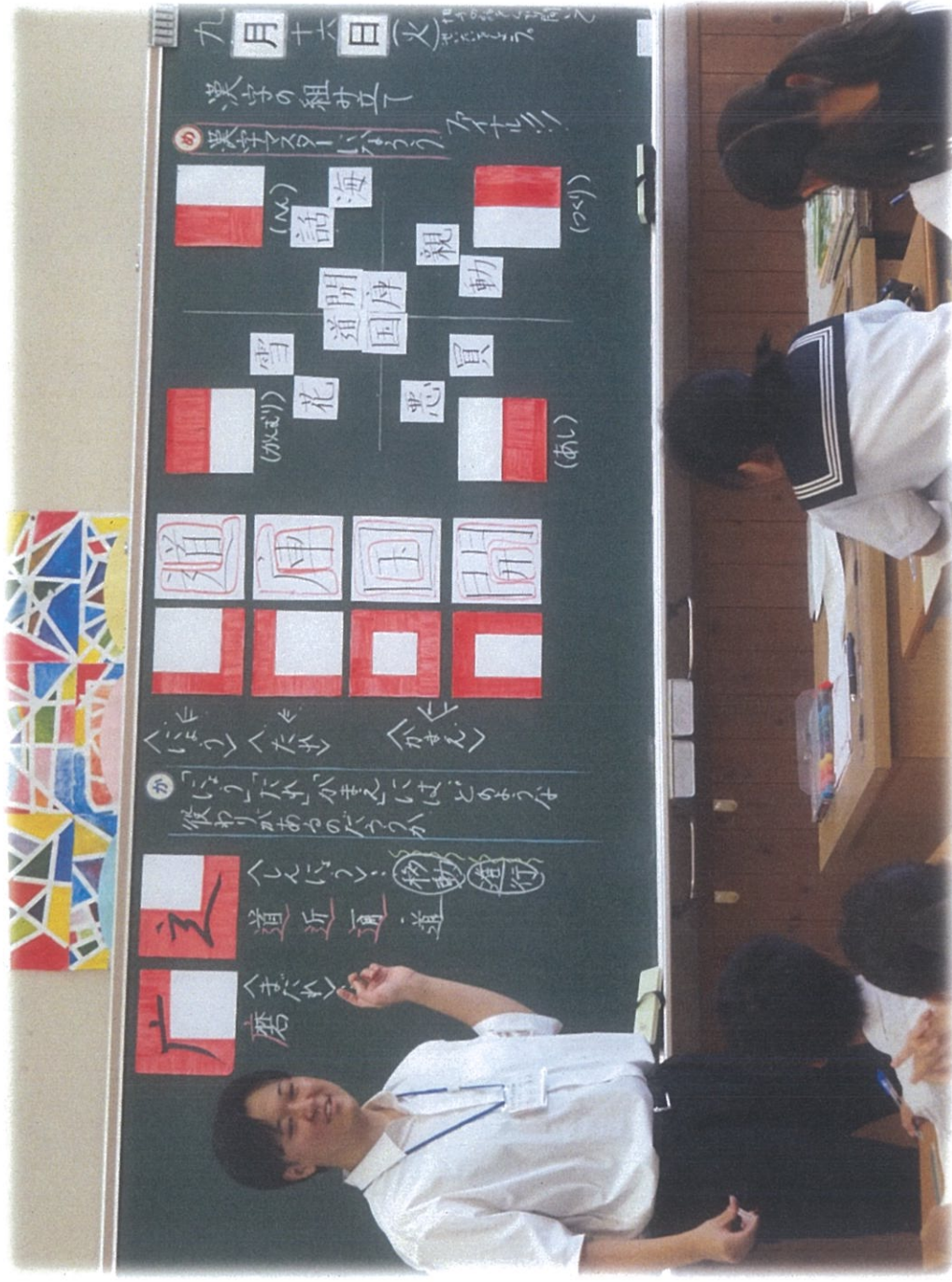
授業する上では、雰囲気づくりも大切。先生が明るく元気よい笑顔は、安心感を与えます。子どもたちの学習意欲のアップにも繋がっていました。



R7. 9. 12 4年生の授業の様子

あたたかい思い

授業では学級経営の視点も大事。朝の会で子供たちに Today's Goal が持てるように手立てを考えて準備する。子供へのあたたかい思いが子供たちの授業の姿



R7. 9. 16 3年部学年授業の様子

積み上げる

観察実習のチャレンジ授業からこれまでの経験を生かして、授業をやってみる。しっかりと振り返りをしたことで、経験を積み上げることができていました。



R7. 9. 16

5年生学年授業研究事後研

切磋琢磨

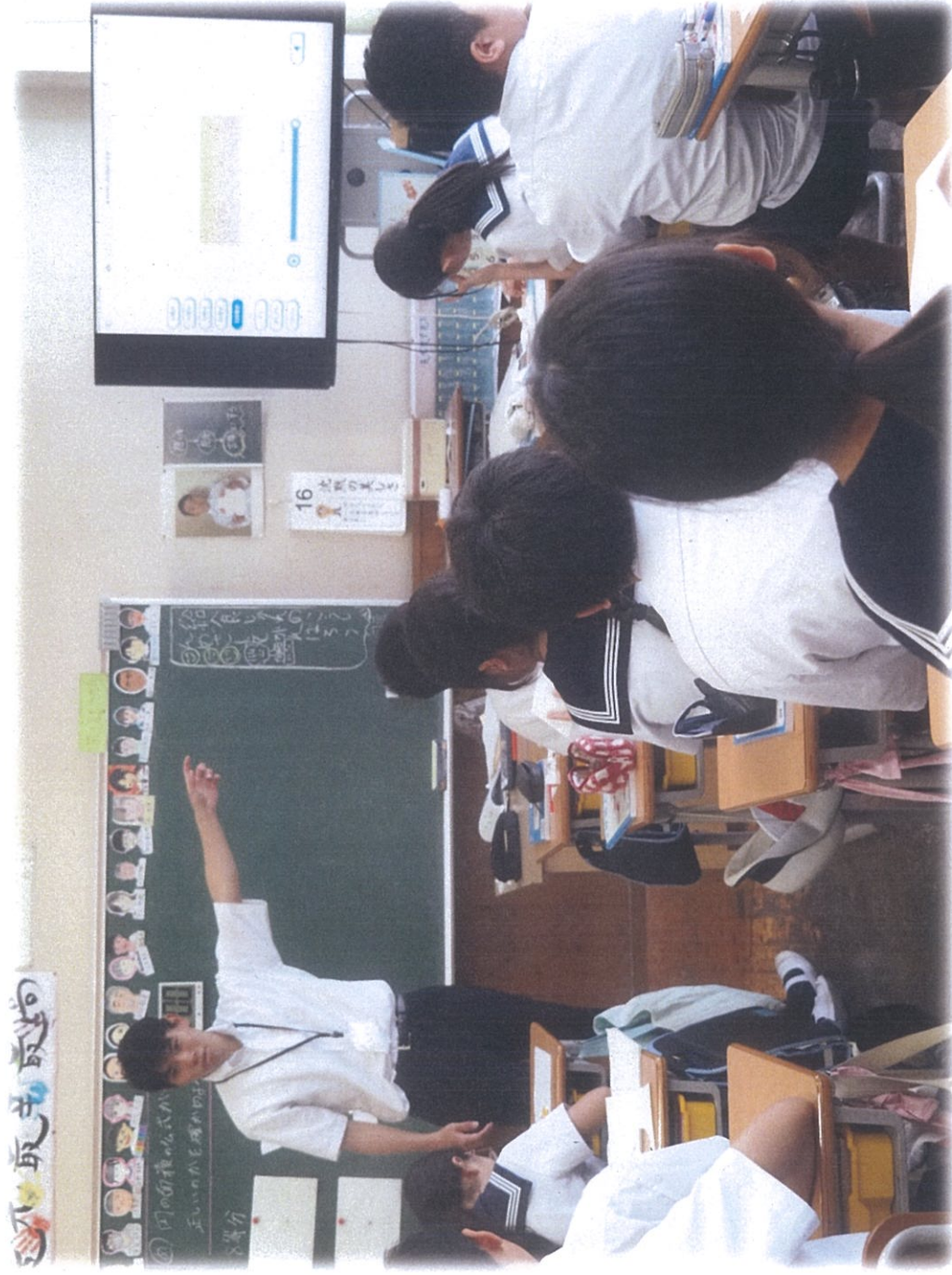
仲間の授業をもとに意見を交換し合う。
一緒に授業づくりに取り組んだからこそ
言えることもある。お互いで磨き合いなが
ら伸びていけるのも実習のよさ。



R7. 9. 16 6年生学年授業研

レベルアップ。

授業を繰り返している中で、できるように
なったことも増え、今まで気が付かなか
ったことにも目が向くようになってしま
した。着実にレベルアップをしています。



R7. 9. 16 6年生授業の様子

デジタル教材

授業の中に積極的にデジタル教材を活用する。視覚的效果に子供たちも釘付け。子供たちの思考を深め広げるために、効果的な活用方法を考えて取り入れよう。



R7. 9. 16

3年部学年授業研 事後研

授業記録で語る

自分が書いた授業記録を見返しながら、
児童の姿で、授業を振り返ってみる。記録
をとっただけで終わるのではなく、アウ
トプットして活用することが大事です。

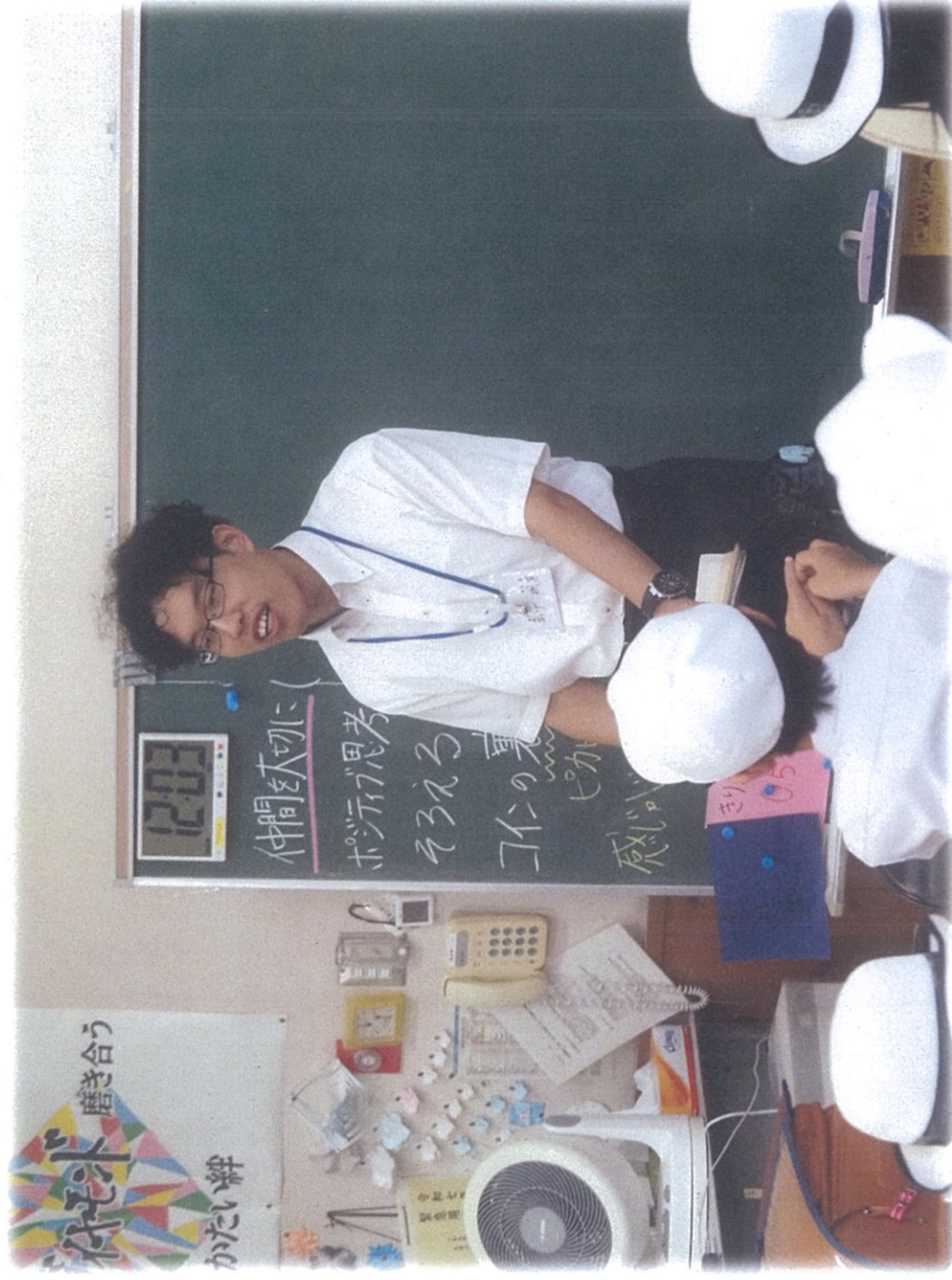


R7. 9. 16

4年生朝の様子

化真耳聴力

話している子供の輝く瞳。先生が話を聴いてくれているうれしさがあふれています。目と目がつながる＝心がつながる。子供の話をたくさん聴いてください。



R7. 9. 16 帰りの会の様子

課題を出しっ放しにしない

朝の会で、子供たちに投げかけた課題を、一日の様子できちんと見取り、できていたことを価値づけている。課題を出しっ放しにしないことが指導の本質。



R7. 9. 16 6年生学年授業研究事後研

子供の姿で語る

授業内容について、子供の発言を取り上げて意見を言う。授業で子供の様子を丁寧に見取っていたからこそできることです。授業で一番大切なのは子供です。



R7. 9. 16

5年生学年授業研

ベストを尽くす

これまでの学びと学年の仲間と練ってきたことを生かして授業をする。今持っている力を思いっきり発揮することが、さらなる大きな学びに繋がります。



R6. 9. 17

2年生授業の様子

Hop! Step! Jump!

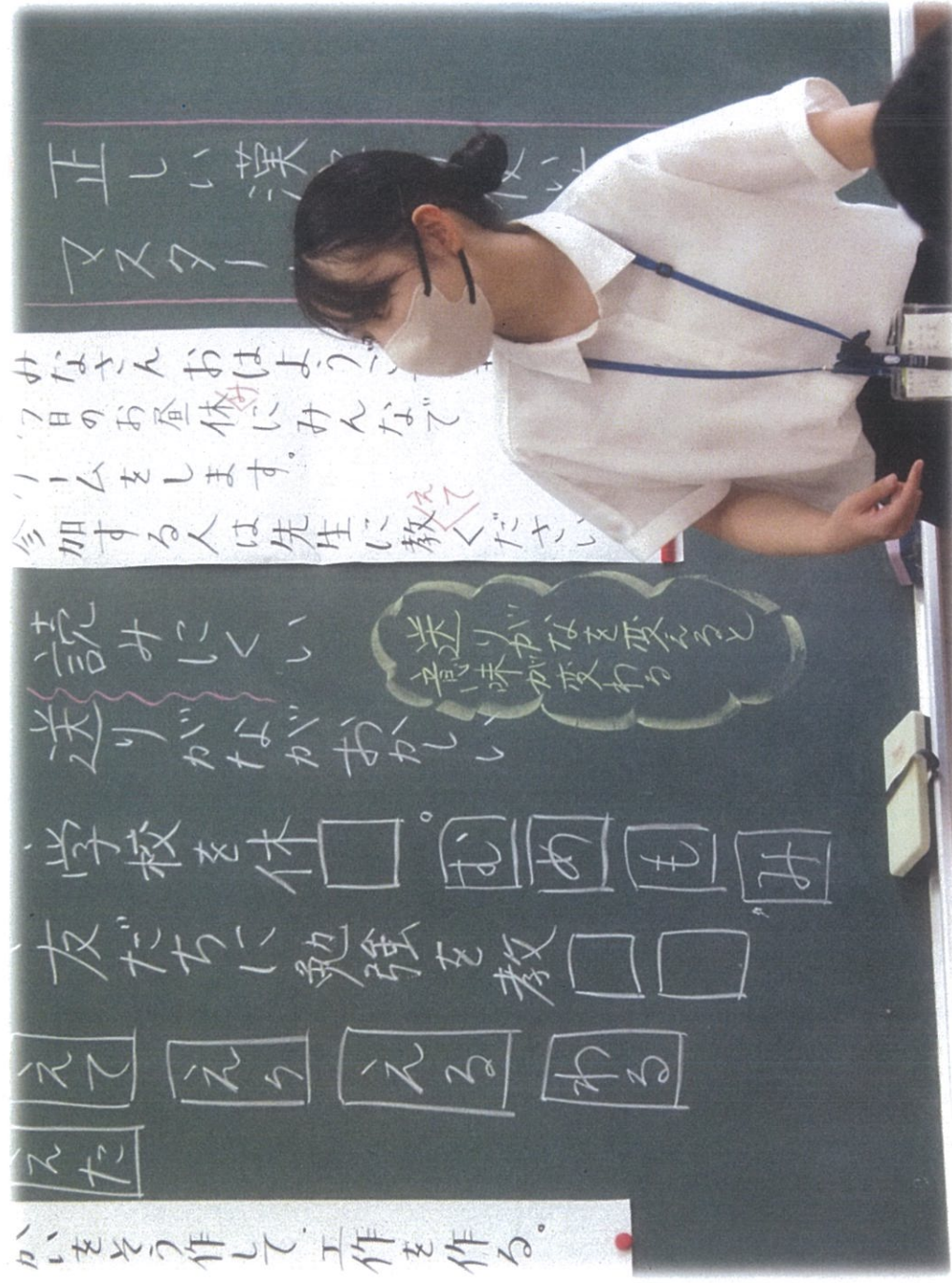
観察実習から一生懸命に取り組んできた
 学びを生かして授業をする。子供の意見
 をもとに進める姿に、しっかりとした4
 週間の成長が感じられました。



R7. 9. 17 5年生授業の様子

説明は子供に

算数の異分母の足し算の方法を考える。
通分して計算する方法を子供が説明をする。子供が主体の授業を展開しようとする姿勢が表れています。



R7. 9. 17 4年生授業の様子

子供の発想力

教師が予想していた以上の答えが子供から出る。子供の発想力は柔軟で、大人の思考を越えることも。子供たちの発想豊かな考えは楽しいですね。

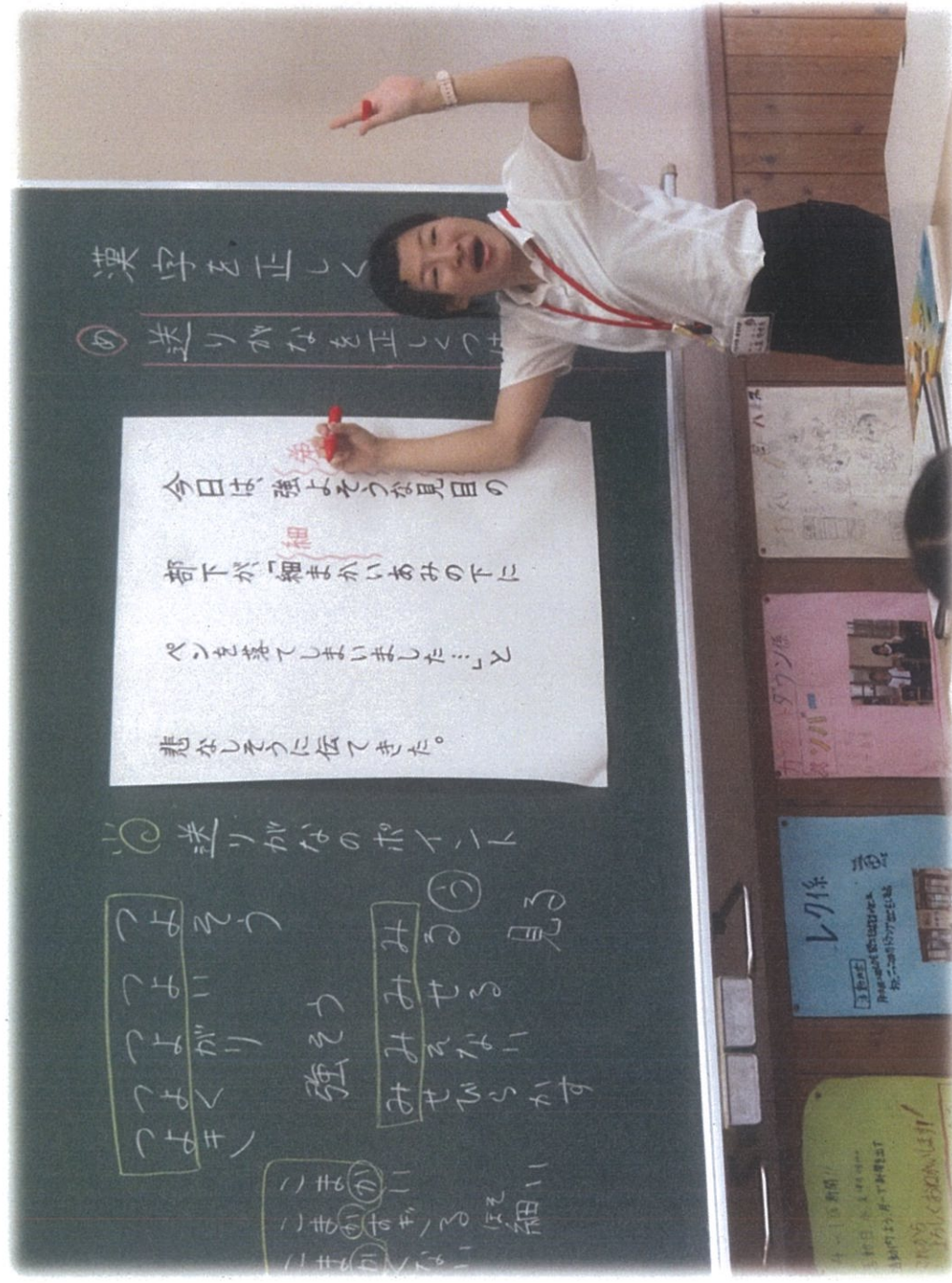


R7. 9. 17

3年生授業の様子

「見取る」と「見る」の違い

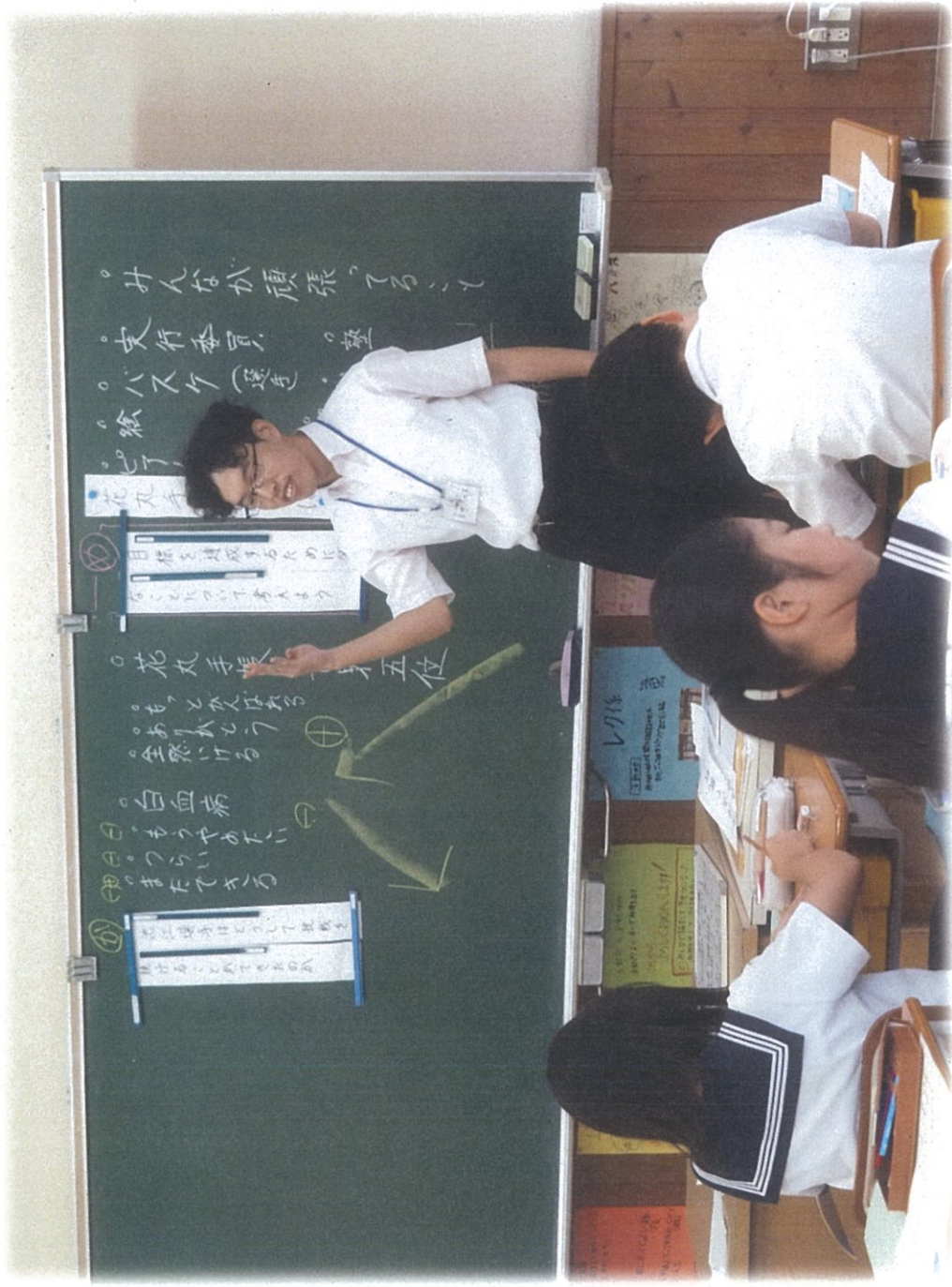
「見取る」と「見る」の違いはどこだろう？4週間の教育実習によって、「見取る力」は、大きくアップしている。ぜひ、これからに生かしていきましょう。



R7. 9. 12 4年生授業の様子

ノンバーバルコミュニケーション

授業では、言語だけでなく、ジェスチャ
一、声のトーンや速さ・大きさ、表情など、
ノンバーバル(非言語)コミュニケーション
も大切な要素です。



R7. 9. 17

4年生授業の様子

心情グラフ

国語や道德の読み物教材の登場人物の心の動きを可視化するために、心情グラフや心情曲線を使う。思いや考えの変容をもとに考えるきっかけにする。

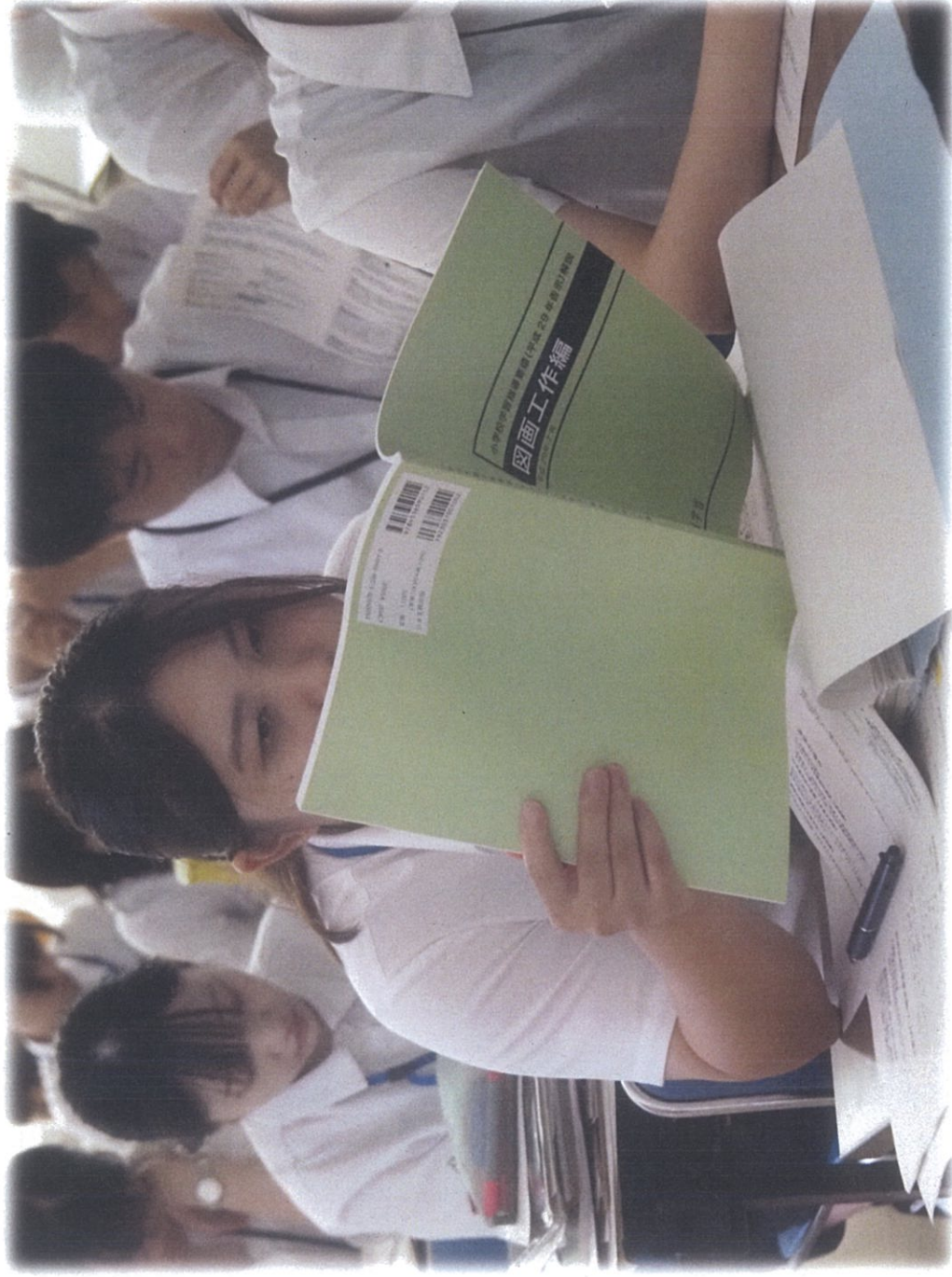


R7. 9. 17

1年生授業の様子

ICT活用

授業の中に積極的に1人1台端末を活用する。子供たちの思考を深めたり、広げたりするために、効果的な活用方法を考え、どんどん取り入れていきましょう。



R7. 9. 18

指導案作成講義

学習指導要領

授業の地図である学習指導案を作成する。教材観を書くために、必ず学習指導要領で、その教材の価値や子供に付けさせたい資質・能力を確認する。



R7. 9. 18 2年生授業の様子

最後まで

本実習も残りわずかの中、最後までがんばり抜く姿に、できるだけ多くの得られるものを持って終えようとする思いが伝わってきます。



R7. 9. 18

終末反省会

元氣、勇氣、根氣

終末反省会での校長先生から、実習中の
取組の様子や今後必要なことなどの話が
ありました。「元氣、勇氣、根氣」を持っ
て、これからも学び続けて下さい。



R7. 9. 19 キラキラ掃除の様子

集大成

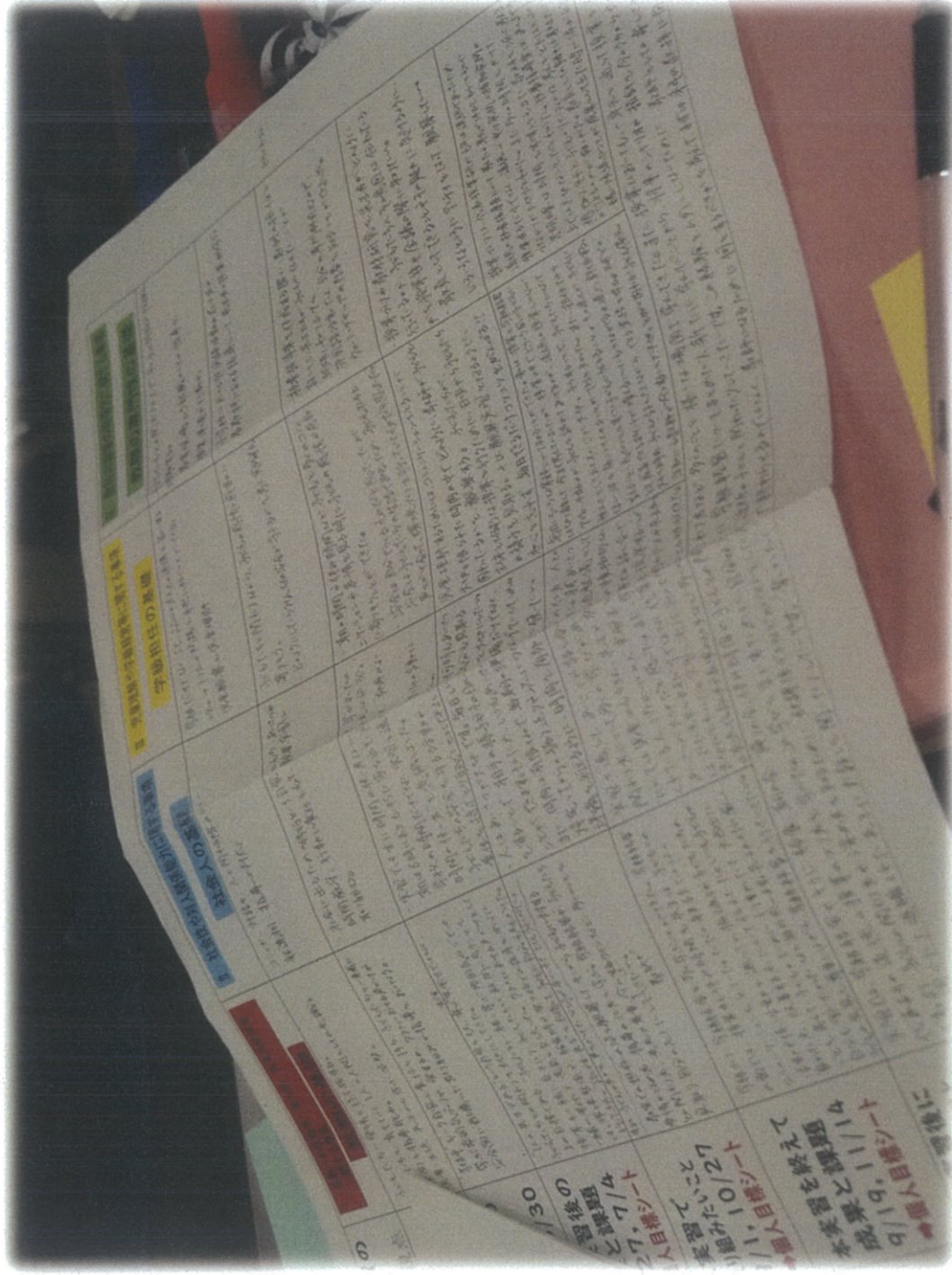
キラキラ掃除の見取り・価値付けも最後です。一人一人のことをていねいに見てよさや課題を伝える。これまでの学びを感じる集大成の姿でした。



R7. 9. 19 終末反省会

GPS

Good/Problem/Solutionシートを活用
してまとめた4週間のふり返りを交流す
る。小学校教員として必要な資質・能力に
ついて、今の自分たちを見つめ直す。



R7. 9. 19 終末反省会

学びの足跡

事前実習から書きためてきたシート。ぎ
っちり書き込まれたたくさんの言葉に、
これまでの学びを感じます。一生懸命に
学んできた足跡。教育実習の宝。



R7. 9. 19 休み時間の様子

一期一会

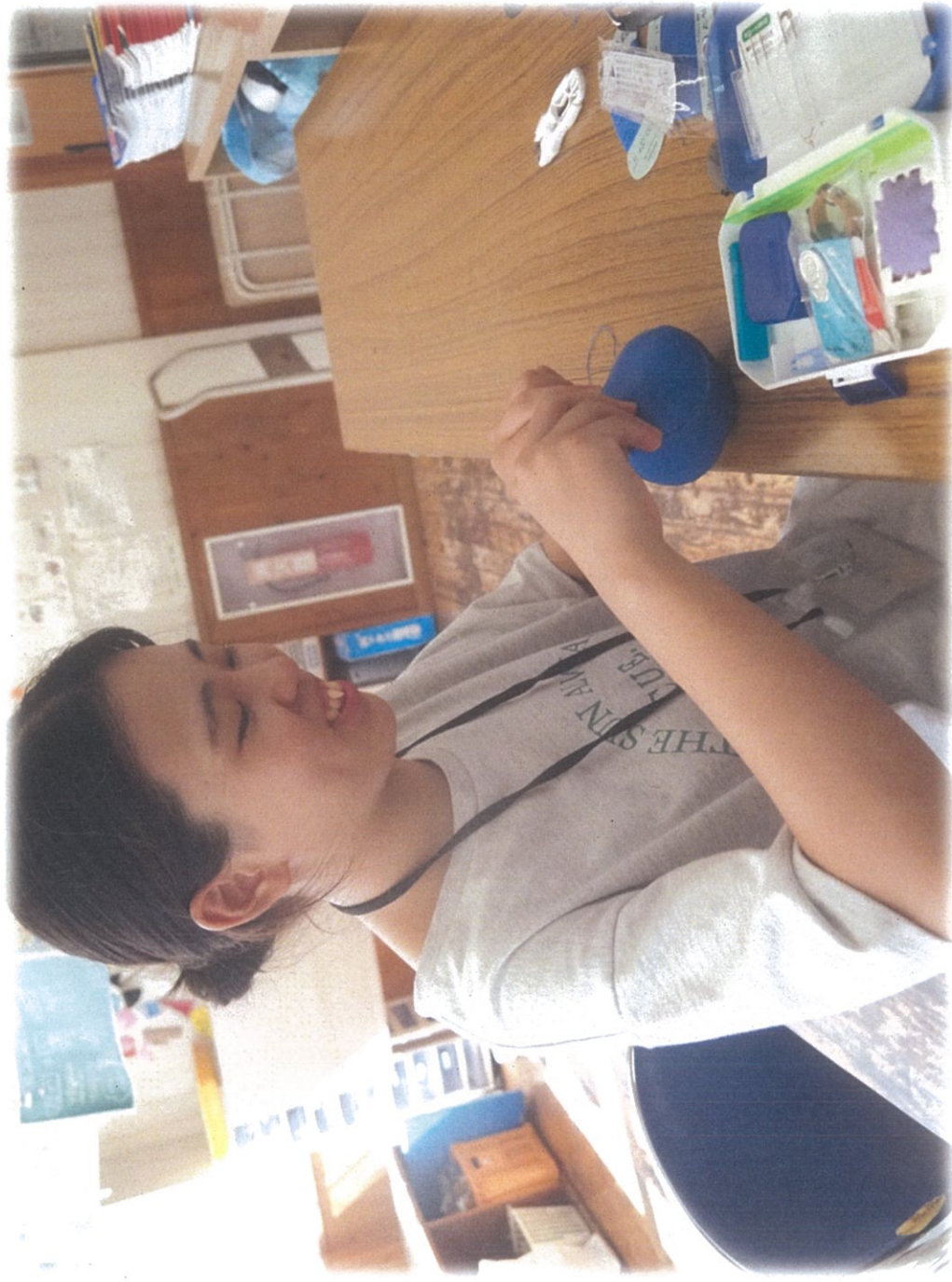
つないだ手の先にある笑顔。実習で、子供たちや先生方、仲間出会えたことは奇跡。実習で学んだ様々なことをこれからの自分の夢の実現につなげていきましょう。



R7. 9. 19 終末反省会

これからが大切

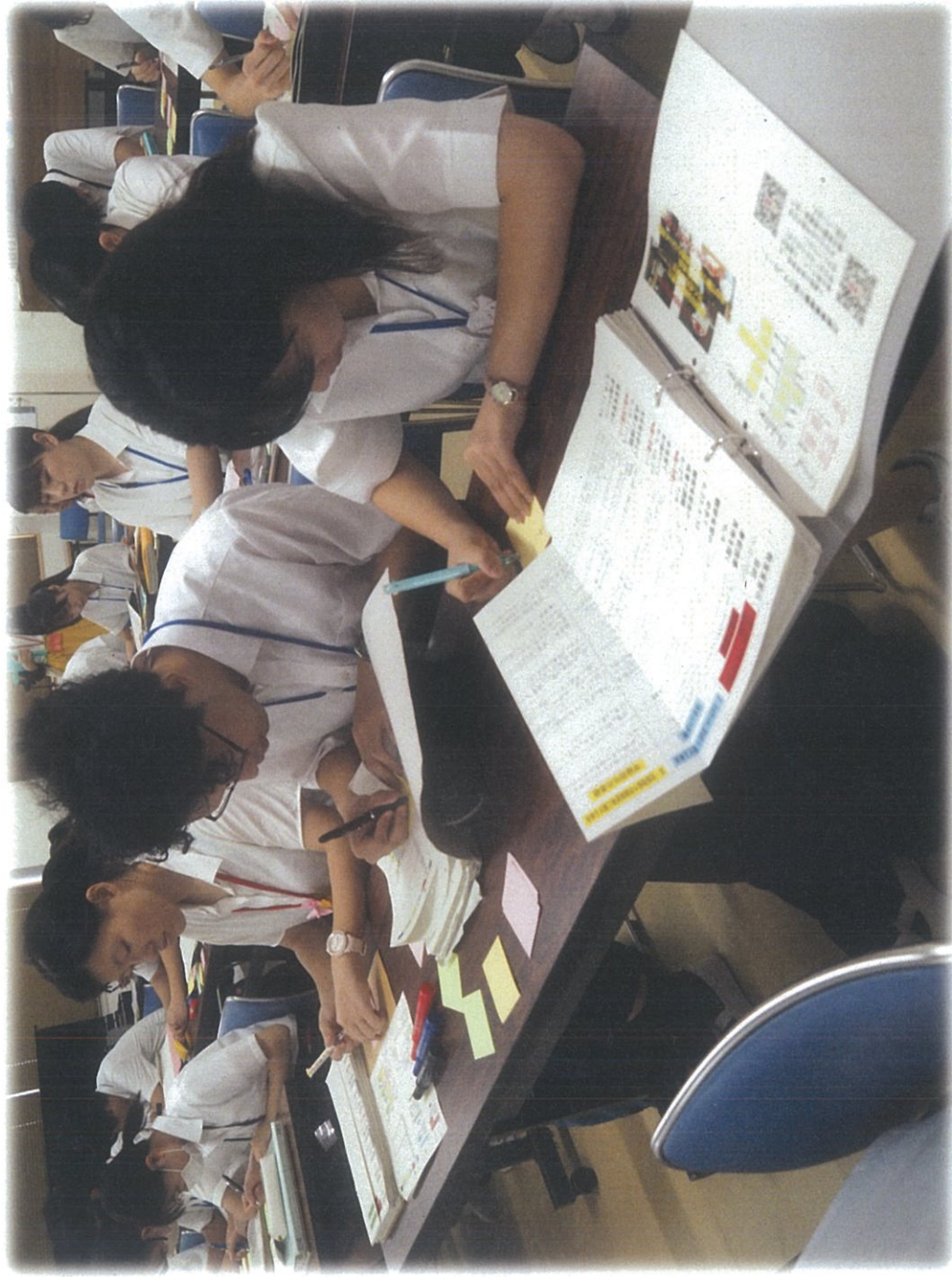
個人目標シートや評価表、GPSシートを使
って振り返ったことを残りの1年半に
生かす。これからできることは何かを考
えて、早速やっいていこう。



R7. 9. 19 | 年生授業後の様子

やりたいです

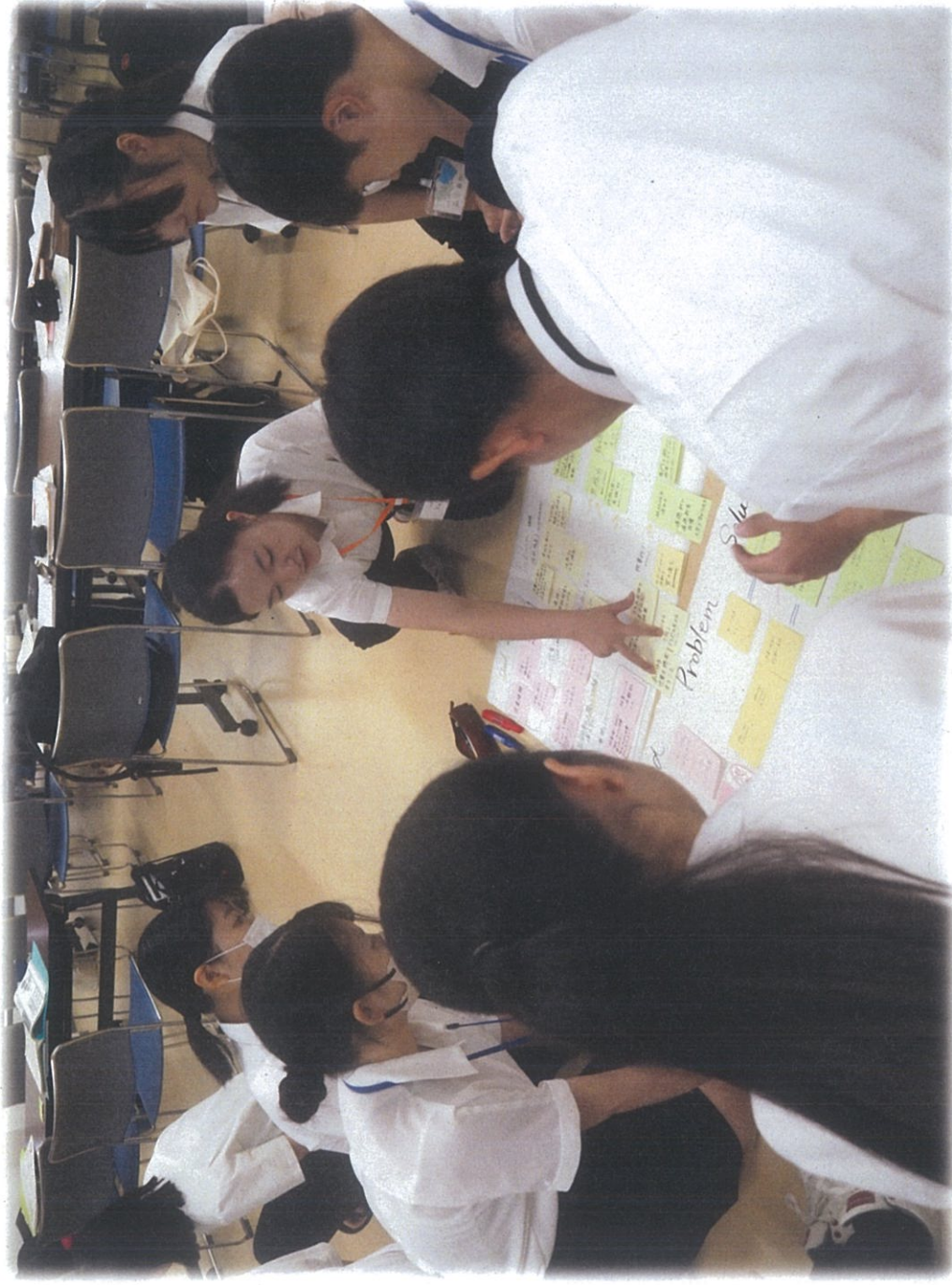
玉入れの玉が、ほつれているのに気付き、補修してくれました。「やりたいです」の言葉に子供のためにできることをする優しさを感じました。



R7. 9. 19 終末反省会

ふりかえる

4週間の学びをふりかえる。様々な体験を経験から学びに。実習期間中の自分たちを見つめ直す。多くの成果・課題があり過ぎてまとめるのに困る程でした。



R7. 9. 19 終末反省会

スタートライン

教育実習終了はゴールではない。次へのスタートライン。夢に向かって、実習での学びを生かして、大きな一歩を踏み出して下さい。